建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY● VOL.52

社団法人　日本建築協会
昭和46年 5 月 25日発行　第52巻第 5 号
毎月 1 回 25日発行
昭和24年 3 月19日第 3 種郵便物認可

特集
企画と設計のプロセス

1971
昭和46年
5



1 総論　設計から企画へのプロセス
2 各論　官公庁における現行の企画設計方式
兵庫県における企画会議方式―委員会について
公団住宅の標準発注方式と団地設計
開発プロジェクトと統合組織―その基本的考え方について
地域経済の展開に対応する開発方式

"鉄をつくり 未来をつくる"住友金属



同じ建て坪なら　倍ぐらいには使えます

事務所・工場・倉庫など、中型構造物の建築をご計画中なら、ぜひ、住友のプレハブ骨組《スミフレームV》をご利用ください。中柱が不要で、間口、屋内スペースが広くとれ、同じ建て坪なら、まず、倍ぐらいに活用でき、合理的です。強靱で耐久性に富み、建築も簡単。　360種以上の標準設計を用意しています。

住友のプレハブ骨組

スミフレームV

住友金属

住友金属工業株式会社

大阪 ― 大阪市東区北浜5の15(新住友ビル) 電(203)2201
東京 ― 東京都千代田区丸の内1の8(新住友ビル) 電(211)0111
営業所 ― 福岡・広島・岡山・高松・名古屋・富山・静岡・新潟・仙台・札幌

◀タカラの名古屋工場と名古屋城その他の見学会

（共催　日本建築協会・同東海支部）

今回は特に東海地方会員のご参加を歓迎します。

去る4月15日（木）午後にはタカラのステンレス流し台を生産している日本エナメル㈱大阪本社工場を見学しましたが，今回は名古屋工場へ参り，ホーロー流し台の製造状況を見学したあとタカラのご案内により特別史跡の名古屋城や徳川美術館の宝物や重文を参観いたします。ついてはタカラよりバス・昼食その他のご提供をうけることになりました。

日　　時　6月5日（土）10.40（集合）→16.40（解散）

集合場所　新幹線「名古屋駅」1階ホール・グラスモザイク壁前・目標会旗

〔参考〕自由行動（運賃は各自負担）

往　9.15　新大阪発こだま120号→10.36　名古屋着（運賃¥1,500）
　　又は 8.00 近鉄なんば発特急→10.16　〃　（〃 ¥1,060）

復　16.57　名古屋発，こだま149号→18.20新大阪着（〃 ¥1,500）
　　又は　17.00近鉄名古屋発特急→19.31 上本町着（〃 ¥1,060）

行　　程　10.50 名古屋駅発　貸切バス　東区矢田町2-53
日本エナメル㈱名古屋工場へ
11.20←13.30　同工場見学・昼食〔TEL(052)721-2321〕
13.40→14.30　東区徳川町2-27　徳川美術館参観
14.50→16.20　中区本丸1　名古屋城参観
16.40　新幹線名古屋駅着・解散

定　　員　30名

申　　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上5月23日（日）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。本見学会は日本エナメル株式会社のご厚意とご歓待をうけて催すことになりました。ついては同業の方は申込をうけても参加をご遠慮願うことがありますから，あらかじめご了承おき下さい。

◀大阪ガストレーニングセンターの見学会

日　　時　6月11日（金）15.00（集合）→17.00（解散）

集合場所　大阪市西区千代崎町3丁目5－1　岩崎構内
大阪瓦斯株式会社トレーニングセンター正面玄関・目標会旗
（TEL　582—0476・0477）

〔参考〕国鉄環状線「大正駅」下車，北に向って約400m・又は
市バスの「大正橋」下車，北に向って約100m
（岩崎のガスタンクが見える。）

トレーニングセンターの概要

トレーニングセンターはサービスチェーン，工事会社などガスグループの従業員全員が日常業務を行う上で必要な知識・技能を練摩する場として設立されたものです。優秀なガスマン・誇りある職業人になるために基礎・資格・専門の3つのコースに分けて完備した視聴覚設備・各種実習設備があり，実習を中心とした実践的の訓練が行われていますので，大阪瓦斯株式会社のご厚意により見学させていただくことになります。

建物の概要

建築位置	大阪市西区千代崎町3丁目
工事期間	起工　昭和43年1月23日
	竣工　昭和43年9月25日
敷地面積	13,360㎡（4,060坪）
本　　館	鉄筋コンクリート3階建・塔屋2階
建築面積	2,570㎡（　780坪）
延面積	7,780㎡（2,350坪）
特需実習場	鉄骨平家建
建築面積	860㎡（　260坪）
延面積	930㎡（　280坪）
工場実習場	鉄骨平家建
建築面積	860㎡（　260坪）
延面積	1,000㎡（　300坪）
設備機器実習場・溶接実習場	鉄骨平家建
建築面積	1,160㎡（　351坪）
延面積	1,500㎡（　454坪）

定　　員　50名

申　　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上5月29日（土）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

◀日本ハウジング堺工場の見学会

日　　時　6月18日（金）14.30（集合）→16.30（解散）

集合場所　南海電車「堺駅」南出口前（海側）・目標会旗

〔参考〕自由行動（運賃各自負担・電車賃難波より往復140円）
14.15　難波発羽倉崎行急行乗車→14.25堺着下車

見　　学　14.40　堺駅発　徒歩約15分
15.00　工場着見学→16.30現地にて解散

会社・堺工場の概要

会社事務所　大阪市東区北久太郎町4—68—3　伊藤忠ビル13階
〔TEL　(06) 251—9129〕

堺　工　場　堺市戎島町5丁43—1〔TEL（0722）21—4345〜6〕

日本ハウジング株式会社は竹中工務店・近畿コンクリート工業・関電産業の3社で住宅生産を工場化し，安くて住みよいゆたかな住宅の提供を目的として，昭和44年8月1日に設立されました。会社では中高層住宅の建設に必要なプレキヤストコンクリート版の製造販売および，住宅建設全般の業務を担当されています。堺工場では企画—計画—設計—施工につながるシステムの効果的運営，優秀な製造技術，高度な機械設備によって「均質製品の量産」が実施されています。今回会社のご厚意により堺工場を見学させていただきます。

定　　員　40名

申　　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上6月5日(土)までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

◀阪急南茨木ハイタウン〈美沢高層分譲住宅〉の建設工事見学会

日　時　6月25日（金）14.30（集合）→16.30（解散）
集合場所　阪急電車南茨木駅2階出口前・目標会旗
〔参考〕自由行動（運賃は各自負担）
片道　阪急……60円（梅田より）・地下鉄……90円（北浜より）
14.02 阪急梅田発京都行急行乗車・淡路で普通に乗替え→
14.22 南茨木着下車，または
13.57 地下鉄堺筋線北浜発高槻行乗車→14.22 南茨木着下車
見　学　14.30 南茨木駅発徒歩6分→ハイタウンの集会所へ
14.40→16.30 工事中のD・E棟を見学して現地解散
〔連絡電話・竹中工務店作業所（0276）23−2945〕
定　員　50名
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし，氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入して6月12日（土）までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知します。

高層住宅新築工事概要
所在地　茨木市美沢町80
施主　京都神急行電鉄株式会社
監理・経営　阪急電車土地経営部
設計・施工　株式会社　竹中工務店
構造・規模　鉄骨鉄筋コンクリート造（I・C・S工法）
11階建，塔屋付　各棟100戸宛
高さ　+30.5m
外装　ビニロック吹付
見学時状況　A・B・C3棟は完成入居ずみ
D棟は内部仕上中・E棟は鉄骨建方を終り，床壁
PC版組立中

○第1期工事……A・B　2棟
敷地面積　4,263.35㎡（1,289.66坪）
建築面積　853.43㎡（258.16坪）
延面積　9,517.10㎡（2,878.90坪）
工期　44.4.15→45.2.28　10.5ケ月

○第2期工事　C・D　2棟
敷地面積　3,750.49㎡（1,134.52坪）
建築面積　933.34㎡（282.33坪）
延面積　1,037.87㎡（3,137.14坪）
工期　45.5.1→46.3.31　10.5ケ月

○第3期工事　E　1棟（建築規模は第2期に同じ）
工期　46.2.20→46.12.31　10ケ月余

東海支部

違反建築を追放することを建築関係6団体で申し合わせた

去る2月17日に建築関係6団体が集まって，従来ザル法といわれた建築基準法を民間ベースによる自主規制のもとに，私たちの手で違反建築を追放しようという申し合わせが行われた。

当協会もその6団体のうちの1人であるが，今回の機会をのがしたら再び建築基準法の正常なる運営はできないという見通しのもとに，正直者が損をしないように，また外部からの圧力に屈しないようにしようと宣言し，実行しようというねらいであるが，6団体に関係のない人達の範囲について心配もあり，行政御当局の御協力をいただいて是非実行したいとして，6団体の長が2月24日県の建築部長に協力を要請し，主旨は大賛成であるとのお言葉をいただいた。

その内容は次の通りである。

愛知県建築行政推進団体協議会
要　綱

1. 目　的
この会は，建築基準法，都市計画法における開発行為および宅地造成等規制等の適法な実施が行われることを期するため，民間ベースによる自主規制により，建築行政に協力し，県民の生命と健康および財産の保護を図りもって広く社会に貢献することを目的とする。

2. 名　称
この会を，愛知県建築行政推進団体協議会（以下協議会という）と称す。

3. 事務所
この会の事務所は名古屋市内に置く。

4. 支　部
この会に支部を置くことができる。支部に関する規定は別にこれを定める。

5. 事　業
(1) 建築行政協力に対するPR
a．違反追放宣言
b．地区規制内容の標識設置
c．違反防止キャンペーン
d．特別企画による展覧会の開催
(2) 違反予防
a．行政協力連絡員を設置し，適法措置がとられるよう協議会と建築行為者との連絡調整にあたる。
b．行政指導員を設置し，建築物等の質の向上を図るため建築行為者の相談指導にあたる。
(3) その他
この会の目的を達成するに必要な事業

6. 協議会の構成
この会の構成員は次のとおりとする
社団法人　日本建築学会東海支部
〃　日本建築家協会東海支部
〃　日本建築協会東海支部
〃　愛知県建設業協会
財団法人　東海建築文化センター
その他協議会において承認を得た団体

7. 建築行政連絡会議の連けい
建築行政機関により設置される連絡会議と連けいをとり，建築行政推進協議会を設置し，円滑な行政推進を期する。　以上

◀定時評議員会決議お知らせ

昭和46年3月29日開催の定時評議員会におきまして，下記のとおり夫々承認可決されましたので，ここに会告いたします。

1. 議長・副議長の選任

議長　小川　正氏（竹中工務店）
副議長　星　広文氏（平和建設）

2. 役員の選任

会長，副会長2名，理事20名，常務理事1名が選任されました。

昭和46年度理事氏名

	新・（重）任	留任
会長	塚本　猛次氏（日建設計）	
副会長	松村　雄吉氏（松村組） 福田　朝生氏（双星社竹腰建築事務所）	横尾　義貫氏（京都大学工学部）
理事（技術）	井上　滉氏（大阪建築事務所） 岩下　久哉氏（鹿島建設） 奥島　正一氏（大阪大学工学部） 小林　清氏（新住宅社） 谷口　尚武氏（大林組） 寺田　徳重氏（大成建設） 西田　康治氏（日本住宅公団） 堀内　三郎氏（京都大学工学部） 山田　義行氏（竹中工務店）	岡橋作太郎氏（日建設計） 北垣　智造氏（大阪市建築部） 宮脇　和正氏（大阪府建築部） 佐野　正一氏（安井建築設計事務所） 鳥田　家弘氏（神戸大学工学部） 西嶋徳太郎氏（大阪建築事務所）
（総合）	大林　芳郎氏（大林組） 白井　周二氏（清水建設） 銭高　輝之氏（銭高組） 竹中　錬一氏（竹中工務店） 宮武伊三郎氏（建設業協会）	浅沼猪之吉氏（浅沼組） 鴻池　藤一氏（鴻池組）
（電気）	今元　康彦氏（近畿電気工事）	小林　四郎氏（太陽工藤工事） 山本　憲三氏（ヤマト電気）
（管工）	尾亀清四郎氏（三晃空調） 清水　愛明氏（清水工業所）	知見　義夫氏（斎藤省三商店）
（建材）	井上　浄夫氏（井上浄夫商店）	田中　政二氏（大島応用化学工業） 安田　誠一氏（安田㈱）
（京都）	佐藤　四郎氏（大仏）	
（兵庫）	山田　勝成氏（兵庫県営繕課）	
常務理事	福中定三郎氏（協会事務局長）	

◀昭和46～7年度支部選出評議員の選任

各支部選出の新評議員に下記の方々が当選せられました。

（京都）

鈴木覚也氏（大朝組社長）
小滝慶太郎氏（富士電気工業社長）

（兵庫）

佐川俊吉氏（創建設計事務所）
宮川吉夫氏（兵庫県営繕課係長）
森岡武夫氏（神戸市都市整備公社）

（和歌山）

児島政信氏（児島建築事務所）
北野誠造氏（工和建設社長）

（中国）

清田幸夫氏（清田工務店社長）
野村香随氏（野村建築設計事務所）

◀近畿建築会館建設資金借入金の一部償還当選お知らせ

先年会館設置に際し，建設資金として借用いたしましたものに就て，これの一部償還の抽せんを3月29日定時評議員会席上において執り行ないましたところ，下記のとおり償還が決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。尚償還金のお支払は6月1日より行ないます。

記

㈱石田建材店殿	10,000円
㈱奥村重兵衛商店殿	50,000円
㈱清水工業所殿	20,000円
田中工業㈱大阪出張所殿	10,000円
田中照雄殿	50,000円
田村商会殿	30,000円
㈱大末組殿	20,000円
観音建設㈱殿	20,000円
第一工業㈱大阪支店殿	50,000円
広瀬鋼材産業㈱殿	20,000円
㈱福井外吉商店殿	30,000円
㈱福川組殿	5,000円
万年スレート㈱殿	50,000円
三菱電機㈱大阪出張所殿	70,000円
三舟窯業大阪営業所殿	30,000円
浪速建材工業㈱殿	50,000円
㈱山田組殿	5,000円
計	520,000円

◀日本建築協会昭和46年度収支予算 ——去る3月29日開催の定時評議員会において承認されました。——

一般勘定

収入の部

科目	費目	金額
会費収入	正会員	15,900,000円
	地方会員	720,000
	団体会員	8,000,000
	准会員	1,260,000
	計	25,880,000
事業収入	雑誌収入	18,150,000
	講演講習会収入	3,540,000
	集会収入	2,350,000
	契約々款売上収入	1,800,000
	図書出版収入	17,675,000
	建築データシート収入	6,700,000
	住宅相談所収入	4,300,000
	雑	870,000
	(会員名簿収入)	0
	計	55,385,000
雑収入	雑収入	50,000
	計	50,000
合計		81,315,000

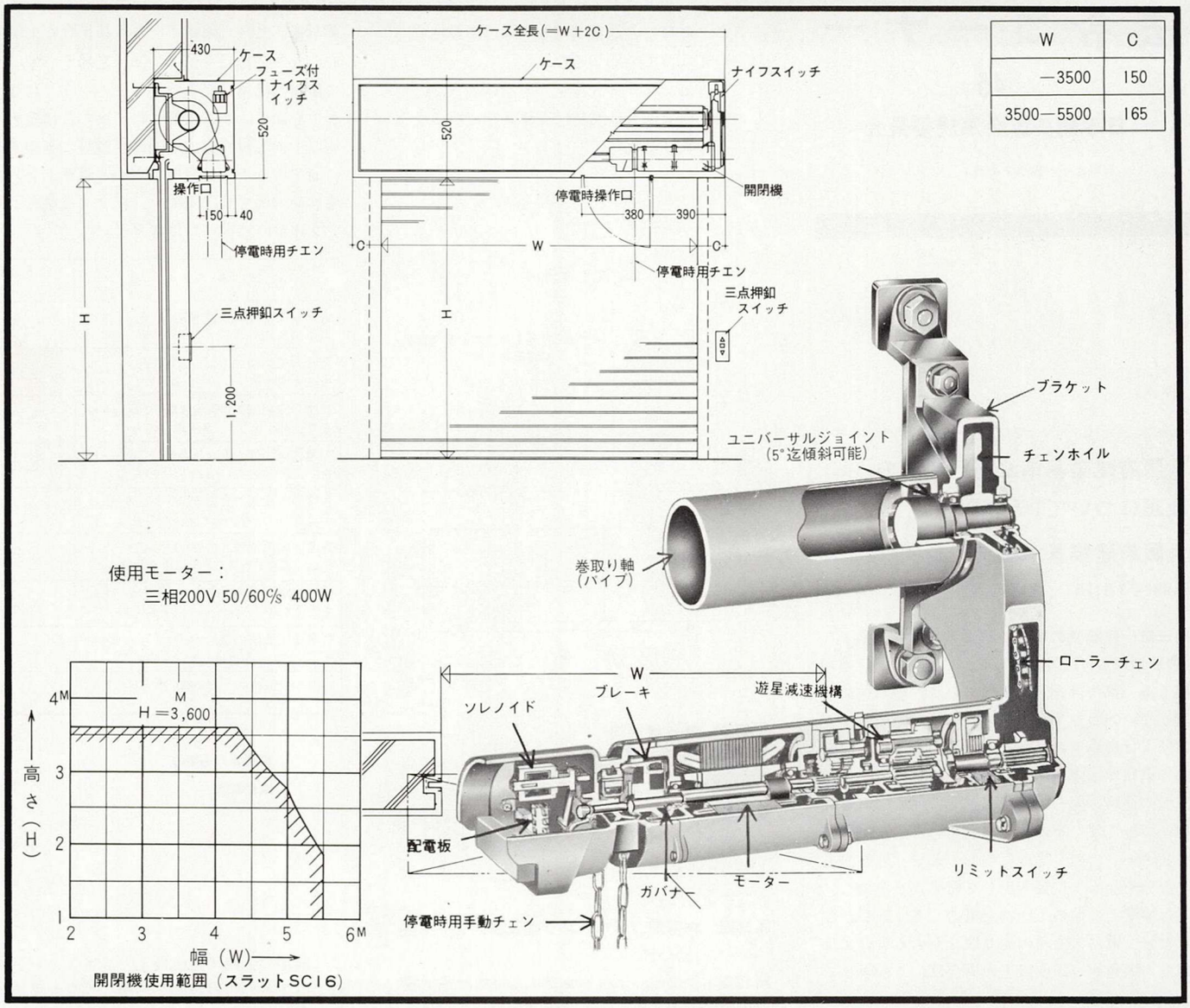
支出の部

科目	費目	金額
事業費	雑誌費	22,170,000円
	講演講習会費	2,670,000
	集会費	2,850,000
	図書出版費	14,550,000
	建築データシート発行費	6,150,000
	調査費	200,000
	住宅相談所費	4,000,000
	雑	2,310,000
	(会員名簿発行費)	0
	計	54,900,000
会議費	総会評議員会費	200,000
	理事会費	80,000
	部会費	50,000
	常設委員会費	420,000
	特別委員会費	50,000
	計	800,000
支部費	支部交付金	800,000
	支部補助金	120,000
	計	920,000
事務費	電話料	480,000
	通信費	30,000
	旅費交通費	540,000
	集金費	1,170,000
	印刷物費	240,000
	文房具費	240,000
	雑費	180,000
	計	2,880,000
給与	本給	10,876,000
	家族手当	60,000
	役職手当	624,000
	超勤手当	100,000
	賞与	4,077,000
	計	15,737,000
厚生費	健康保険料	384,000
	厚生年金保険料	324,000
	失業保険料	96,000
	労災保険料	35,000
	福利厚生費	180,000
	計	1,019,000
賦課金	賦課金	100,000
	計	100,000
会館勘定繰入金	会館勘定繰入金	2,800,000
	計	2,800,000
退職金引当金	退職金引当金	1,000,000
	計	1,000,000
償却費	什器償却費	50,000
	計	50,000
予備費	予備費	1,109,000
	計	1,109,000
合計		81,315,000

会館特別勘定

科目	費目	金額
収入の部		
繰入金	第2繰入金	2,800,000円
貸室料	貸室料	300,000
雑収入	雑収入	20,000
合計		3,120,000
支出の部		
支払利息	借入金利子	132,000円
経費	電気料	150,000
	瓦斯料	156,000
	水道料	24,000
	借地料	725,000
	火災保険料	11,000
	公課	169,000
	修理費	100,000
	給与	650,000
	雑費	240,000
	計	2,225,000
償却費	建物償却費	587,000
	什器償却費	167,000
	計	754,000
合計		3,111,000
差引剰余金見込		9,000

日本のシャッター界をリードする画期的新製品!!



W	C
—3500	150
3500—5500	165

使用モーター：
三相200V 50/60% 400W

開閉機使用範囲（スラットSC16）

L型 電動開閉機

出願中　特許　リミットスイッチ ガバナー機構 手動機構　実用新案　巻取り軸との連結機構およびL型機構 チエン収納箱

L型電動開閉機は、日本シャッター技術研究所において、長年にわたり、国立大学精密機械工学部諸教授の指導をあおぎつつ、当社技術陣が総力をあげて研究開発し、遂に従来の開閉機の概念を破って完成した画期的な新製品です。

この開閉機には独創に満ちた新機構が数多く取り入れられており(特許3件、実用新案2件を出願中)、減速機、モーター、ブレーキ機構、停電時用手動装置はもとより、リミットスイッチ、配電板に至るまで、すべてを一つの円筒内にコンパクトに納めてあります。

従って、建築設計上の納りが非常に簡単で、しかも、取付やその後の保守点検等も楽にできるよう考案されております。

これらの点から見て、従来の製品に比べ総ゆる点に秀れており、シャッター開閉機の決定版といえるでしょう。

●特長●

1. 開閉機を設ける場所の心配がいりません。
2. 凸部のない真直なシャッターケース。
3. 袖壁は不用です。
4. 減速機構はすべて完全密閉式です。
5. 小型で耐久力に富む減速機構。
6. 給油の必要がありません。
7. エンドレス強力ローラーチエンの内造。
8. リミット・スイッチを完全に内造。
9. 手動操作をひとつにしました。
10. ヒューズ装置の取付けが可能。
11. 一斉・両面・遠隔操作いづれも可能です。

株式会社 日本シャッター製作所

本　　社　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話代(301)3656
枚方工場　枚方市大字招提　大阪府中小企業団地内　電話(0720)(57)4535～6
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話代中原(41)6325
名古屋工場　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　電話代(361)7441
九州工場　福岡市粕屋町仲原釜屋2727番地　電話代(65)6131

営業所　仙台・東部・城西・横浜
静岡・北陸・神戸・岡山
高松・広島・北九州・大分
宮崎・鹿児島

法令コーナー

45

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております

大阪府建築基準法施行条例の改正について（その２）

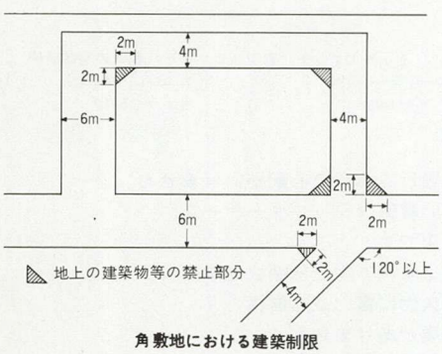
大阪府建築基準法施行条例（抄）

昭和46年３月11日　大阪府条例第４号

第三章　建築物の敷地、構造及び建築設備

（角敷地における建築制限）

第５条　都市計画区域内において、歩車道の区別がない幅員６メートル未満の道路が屈曲する箇所又は歩車道の区別がない幅員６メートル未満の道路が歩車道の区別がない幅員10メートル未満の道路と同一平面で交差する箇所にある敷地にあっては、その角地の隅角をはさむ辺の長さ２メートルの二等辺三角形の部分（地盤面下の部分を除く。）に突き出して建築物を建築し、又は擁壁その他の工作物を築造してはならない。ただし、道路に街角の切り取りがある場合又は角地の隅角が 120度以上の場合は、この限りでない。



角敷地における建築制限

（長屋）

第６条　都市計画区域内の長屋は、次の各号に定めるところによらなければならない。

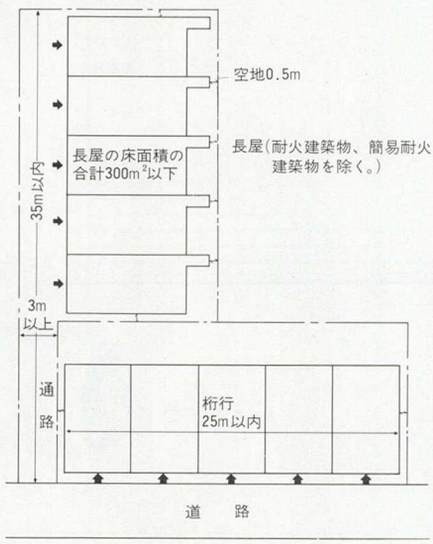
１．各戸の主要な出入口は、道路に面すること。ただし、長屋及びその敷地が次のイ又はロに該当し、かつ、各戸の主要な出入口が道路に通ずる幅員３メートル以上の敷地内の通路に面する場合は、この限りでない。

イ　敷地の奥行が35メートル以内であり、かつ、床面積の合計が 300平方メートル以下のもの

ロ　耐火建築物又は簡易耐火建築物であるもの

２．外壁（道路、公園、広場その他これらに類するものに面する部分を除く。）と隣地境界線との間に、幅50センチメートル以上の空地を設けること。ただし、近隣商業地域又は商業地域内においては、この限りでない。

３．桁行は、25メートルをこえないこと。ただし、耐火建築物又は簡易耐火建築物である場合は、この限りでない。



第四章　特殊建築物

第二節　学校

（教室等の設置の制限）

第９条　小学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教室その他の児童又は生徒を収容する室は、４階（小学校にあっては、６階）以上の階に設けてはならない。

第三節　体育館、ボーリング場及びスケート場

（屋外への出口）

第12条　体育館、ボーリング場及びスケート場の用途に供する建築物の避難階における屋外への出口は、次の各号に定めるところによらなければならない。ただし、耐火建築物又は簡易耐火建築物で当該用途に供する部分の床面積の合計が250平方メートル以下の建築物の避難階における屋外への出口については、この限りでない。

１．２以上設けること。

２．幅は、90センチメートル以上とすること。

３．戸は、内開きとしないこと。

４．令第 125条第１項の屋外への出口以外の屋外への出口にあっては、道（都市計画区域内においては、法第42条に規定する道路をいう。以下同じ。）又は公園、広場、その他の空地に通ずる幅員が90センチメートル（２以上の屋外への出口が共用する場合にあっては、1.5メートル）以上の通路に面すること。

第四節　病院及び診療所

（木造の診療所の外壁等）

第13条　法第22条第１項の規定により指定された区域内にある診療所の用途に供する木造の建築物で、階数が２以上であり、かつ、その用途に供する部分の床面積の合計が200平方メートルをこえるものは、その外壁及び軒裏で延焼のおそれのある部分を防火構造としなければならない。

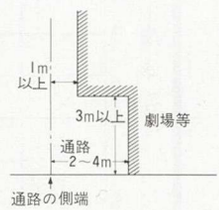
第五節　劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂及び集会場

（通路等）

第18条　主階が避難階にある劇場等の主階の周囲のうち、出口（道、公園、広場その他これらに類する場所（以下「道等」という。）に面するものを除く。）がある側には、次の表に定める数値以上の幅員を有する通路で道等に避難上有効に通ずるもの又は規則で定める避難上有効な構造及び設備を有する廊下（以下「避難廊下」という。）を設けなければならない。

劇場等の種別	通路等の幅員（単位メートル）
客席の床面積の合計が200平方メートル以下のもの	2
客席の床面積の合計が200平方メートルをこえ300平方メートル以下のもの	2.25
客席の床面積の合計が300平方メートルをこえ400平方メートル以下のもの	2.5
客席の床面積の合計が400平方メートルをこえ500平方メートル以下のもの	2.75
客席の床面積の合計が500平方メートルをこえ600平方メートル以下のもの	3
客席の床面積の合計が600平方メートルをこえ700平方メートル以下のもの	3.25
客席の床面積の合計が700平方メートルをこえ800平方メートル以下のもの	3.5
客席の床面積の合計が800平方メートルをこえ900平方メートル以下のもの	3.75
客席の床面積の合計が900平方メートルをこえるもの	4

劇場等の通路の建築制限



(2)　前項の通路の地盤面上で高さ３メートル未満の位置及び当該通路の側端（当該劇場等の用途に供する建築物に接しない側の側端をいう。）から１メートル未満の距離にある位置には、建築物を突き出して建築してはならない。

（バルコニー等）

第19条　主階が２階以上の階にある劇場等の主階の周囲のうち、出口がある側には、規則で定める構造及び設備を有するバルコニー又は避難廊下を設けなければならない。

（空堀等）

第20条　主階が地階にある劇場等の主階の周囲のうち、出口のある側には、規則で定める構造及び設備を有する空堀又は避難廊下を設けなければならない。

（通路等への出口）

第21条　劇場等から第18条第１項の通路、避難廊下、道等、第19条のバルコニー又は前条の空堀（以下「通路等」という。）への出口は、次の各号に定めるところにより、４以上設けなければならない。

１．同一の側に片寄らないこと。

２．通路等と客席との間に廊下を設けた場合における１の側にある通路等への出口の幅の合計は、当該側の客席の出口の幅の合計以上とすること。

３．通路等への主たる出口の幅及び通路等への

その他の出口の幅の合計は、それぞれ次条第4号の規定による客席の出口の最低合計幅の2分の1以上とすること。

4．通路等への出口の戸は、外開きとし、避難上の障害とならないものとすること。

（客席の出口）

第22条　劇場等における客席の出口は、次の各号に定めるところにより、4以上設けなければならない。

1．同一の側に片寄らないこと。

2．縦通路及び横通路に通ずること。

3．幅は1.2メートル以上1.8メートル以下とし、高さは2メートル以上とすること。

4．幅の合計は、客席の床面積10平方メートルにつき、20センチメートル（耐火建築物にあっては、17センチメートル）以上とすること。

5．出口の戸は、外開きとし、避難上の障害とならないものとすること。

第六節　展示場

（階段の数及び構造）

第33条　避難階以外の階を展示場の用途に供する建築物には、その用途に供する階から避難階又は地上に通ずる直通階段を2以上設けなければならない。ただし、当該用途に供する階の当該用途に供する部分の床面積の合計が100平方メートル以下の建築物又は当該用途に供する部分の主要構造部が耐火構造であるか若しくは不燃材料で造られている建築物については、この限りでない。

第七節　物品販売業を営む店舗

（屋外への出口等）

第35条　第12条及び第33条の規定は、物品販売業を営む店舗の用途に供する建築物について準用する。

第九節　公衆浴場

（浴室及び蒸室の構造）

第39条　公衆浴場の浴室の構造は、次の各号に定めるところによらなければならない。

1．周囲の壁は、耐火構造とすること。

2．天井は、耐水材料で造り、又はおおうこと。

3．床面積は、男用女用それぞれ22平方メートル（副浴槽を有するときは、26平方メートル）以上とすること。

(2)　公衆浴場蒸室の構造は、次の各号に定めるところによらなければならない。

1．天井及び蒸室を区画する主要構造部は、耐火構造とし、又は不燃材料で造ること。

2．床面積が15平方メートルをこえる蒸室には、2以上の出口を設けること。

(3)　建築物の2階に公衆浴場の浴室又は蒸室を設ける場合は、当該建築物を耐火建築物又は簡易耐火建築物としなければならない。

(4)　建築物の地階に公衆浴場の浴室又は蒸室を設ける場合は、その直上階の床を耐火構造としなければならない。

第十一節　共同住宅、寄宿舎、下宿及び養老院

（2階に設ける場合の構造）

第45条　工場、倉庫又は第7条各号（第10号を除く。）の用途に供する建築物の2階を共同住宅、寄宿舎、下宿又は養老院の用途に供する場合で、その用途に供する部分の床面積の合計が150平方メートルをこえるときは、当該建築物は、耐火建築物又は簡易耐火建築物としなければならない。

（廊下の幅）

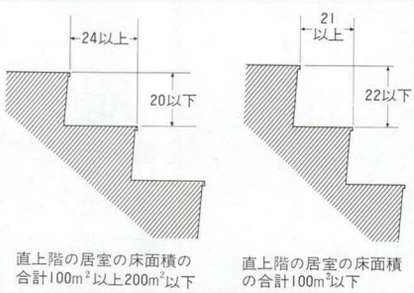
第46条　共同住宅、寄宿舎、下宿又は養老院における共用の廊下（令第119条の規定の適用を受けるものを除く。）の幅は、それぞれ次の表に掲げる数値以上としなければならない。

廊下の種別	廊下の配置	両側に居室がある廊下における場合（単位センチメートル）	その他の廊下における場合（単位センチメートル）
共同住宅	住戸又は住室の床面積の合計が50平方メートル以下の階におけるもの	90	90
	住戸又は住室の床面積の合計が50平方メートルをこえ100平方メートル以下の階におけるもの	120	90
寄宿舎下宿又は養老院	居室の床面積の合計が100平方メートル以下の階におけるもの	90	90
	居室の床面積の合計が100平方メートルをこえ200平方メートル以下の階におけるもの	120	90

（屋内階段及びその踊場の幅並びにその階段のけあげ及び踏面の寸法）

第47条　共同住宅、寄宿舎、下宿又は養老院における共用の屋内階段で次の表の階段の種別欄に掲げるものの階段及びその踏場の幅並びにその階段のけあげ及び踏面の寸法は、令第23条第1項の表第4号の規定にかかわらず、次の表によらなければならない。

階段の種別	階段及びその踊場の幅（単位センチメートル）	けあげの寸法（単位センチメートル）	踏面の寸法（単位センチメートル）
直上階の居室の床面積の合計が100平方メートル以下の地上階におけるもの	90以上	22以下	21以上
直上階の居室の床面積の合計が100平方メートルをこえ200平方メートル以下の地上階におけるもの	120以上	20以下	24以上



屋内階段のけあげ及び踏面の寸法

（屋外への出口等）

第48条　第12条及び第33条の規定は、共同住宅、寄宿舎、下宿又は養老院の用途に供する建築物について準用する。

（木造の下宿等の外壁等）

第49条　第13条の規定は、下宿又は養老院の用途に供する建築物について準用する。

第十二節　自動車車庫及び自動車修理工場

（自動車の出入口）

第50条　自動車車庫又は自動車修理工場（以下「自動車車庫等」という。）の用途に供する建築物の敷地の次の各号の1に該当する部分には、自動車の出入口を設けてはならない。

1．幅員6メートル（自動車車庫等の用途に供する部分の床面積の合計が150平方メートル以下の場合は、幅員5.4メートル）未満の道に接する部分

2．勾配17パーセント以上の道に接する部分

3．道が交差し、又は屈曲する箇所から5メートル以内の部分

4．路面電車の停留場、バス停留所、安全地帯、横断歩道橋（地下横断歩道を含む。）、踏切又は橋から10メートル以内の部分

5．公園、小学校、養護学校又は幼稚園その他これらに類するものの出入口から10メートル以内の部分

(2)　自動車車庫等の敷地から道に通ずる自動車の出入口と門又は自動車車庫等の用途に供する建築物の出入口との間には、前面の道の通行を見通すことができるように、幅1メートル以上の空地又は空間を設けなければならない。

（耐火建築物としなければならない自動車車庫等）

第51条　2階を自動車車庫等の用途に供する建築物で、その用途に供する部分の床面積の合計が150平方メートル以上のものは、耐火建築物としなければならない。

第五章　都市計画区域内の建築物又はその敷地と道路との関係

（物品販売業を営む店舗の敷地と道路との関係）

第57条　物品販売業を営む店舗の用途に供する建築物で当該用途に供する部分の床面積の合計（同一敷地内に物品販売業を営む店舗の用途に供する2以上の建築物がある場合においては、当該用途に供する部分の床面積の合計）が3,000平方メートル以上のものの敷地は、第55条の規定にかかわらず、2以上の道路（そのうちの1の道路は、幅員6メートル以上のものとする。）にそれぞれ4メートル以上接しなければならない。ただし、当該敷地が幅員6メートル以上の道路にその周囲の長さの3分の1以上接している場合は、この限りでない。

（自動車車庫等の敷地と道路との関係）

第58条　自動車車庫等の用途に供する建築物（当該用途に供する部分の床面積の合計が50平方メートル以下のものを除く。）の敷地は、幅員6メートル（当該用途に供する部分の床面積の合計が150平方メートル以下の建築物にあっては、5.4メートル）以上の道路に接しなければならない。

附　則

この条例は、昭和46年5月1日から施行する。

（大阪府建築部建築指導課　木田照之）

ここにも生きている
ビニロイド防水



屋根と室内にビニロイド防水を施工した霞ヶ関ビル

どんな地域でも　どんな構造の建物をつくっても完全な防水ができたら——それを実用化してすでに 250 万 m^2 の施工実績を示しているのが**〈ビニロイド２号〉**です

防水下地にキレツができても破れず　寒冷地の冬にも丈夫で　どんな場所に使っても腐りません　それは弊社が合成繊維による不織布の独特な方法で加工した　技術の成果です　霞ヶ関ビルにも **ビニロイド２号** による防水工事をご採用いただきました

営業品目

●ビニロイド防水工事　●アスファルト防水工事
●三星ソフトンタイル貼工事　●保温・保冷工事
●三星プラスオール　●三星コーキン販売・工事
●シポレックス工事

三星産業株式会社

東京都千代田区岩本町３－11－13
ＴＥＬ〈866〉0271～６・6121～９
出張所／札幌〈72〉6031　仙台〈21〉5366－7　名古屋〈941〉3751
〈971〉4574　大阪〈443〉9721－３　福岡〈76〉2076〈75〉0298

読者の頁

□新刊紹介

●「建築照明」

松浦邦男著　　A５判　256ページ　￥1,500

発行所：共立出版株式会社

本書は昼光照明を含めた建築照明の大学建築学科における教科書、あるいは建築および照明技術者向きの参考書として刊行された。

元来建築照明は、その光源により昼光照明と人工照明(ほとんど電灯照明)とに大別されて取り扱われてきたが、建築内部の光環境をつくりあげるという目的のためには、昼光・人工両照明の両方を含めた総合的設計が重要にして必要である。こうした点について、本書は、論を進めている。

１章・光に関する基本事項、２章・設計目標、３章・光源、４章・室に生ずる物理量の計算、５章・採光窓の計画、６章・照明器具と照明方式、７章・用途別の特殊性、８章・調査法の８つのテーマに分け、著者の建築照明設計に対する基本的な方針に沿って各々が論じられている。

●「Systems Approach to Architecture」

A BENJAMIN HANDLER 著

発行所：ELSEVIER PUBLISHING CO. LTD.

今日、建築デザインと建設産業に関する混乱が社会に内在している。これはこの産業の役割に対する理解の欠落や誤謬、なかんづくこの産業がはたす経済的な基盤に対する認識の無さに起因する。

この「建築へのシステムアプローチ」の中で、著者ハンドラー教授は、建築デザインの開発と、その機能の重要性をふまえたシステムアプローチを論じることで始め、何のシステムが、どのように建築のプロセスに関係するか明らかにする。また、構成された概念ーいかに各々の要素、成分、空間を作り上げるかを決定することーによって、建築物の基準を確立する方法を論じている。彼はそこで建築のすべてのシステムと、各々の部分の様々な作業を明らかにする。

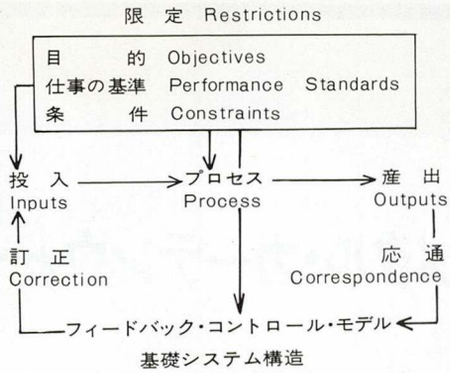
第二部では、無視されがちではあるが、建築のプロセスを理解する要因となる建設産業の経済的基盤の論評を明確に準備している。

この本の目的は２つある。

(1)建築のデザインとプロセスを構成する種々の要素の合理的な規則を通して、建築のすべてを理解するための基礎の供給。

(2)経済的行為を判断し、理解し、改善してゆくための基礎の供給。

この本は、建築のプロセスのシステムやサブシステムを論理的に説明し、分析することによって、種々の誤謬を追い払い、この分野に価値のある貢献をしている。



基礎システム構造

●「Dictionary of Refrigeration and Air Conditioning」

K. M. BOOTH編集・著

発行所：ELSEVIER PUBLISHING CO. LTD.

「冷房と空気調節」に関する専門用語事典で、この分野の従事者には貴重な参考書として、また他分野の人にとっても、必須のハンドブックとしておおいに手助けとなろう。

□建築技能のあり方　現在のままで良いのであろうか

最近、技能者の表彰、叙勲、国定の技能テスト、建築労働プール、建築技能者の養成など幾多の問題が、世論にのるようになって参りました。これは大変に結構なことで、遅いぐらいではないだろうか。戦前は建築科の分科として、大工科、左官科、家具科、塗装科など少ないながら技能教育は実施されていたのが、戦後は建築科１本化になり、全く大学そのままになってしまい、遂に技能は教育から落され、訓練でよいと労働省に移管されて現在に到っています。

◉現在の建築技能に対する問題は次のごとく分けて考えられます。

(1)技能者の不足

(2)技能の低下に対する不安

(3)革新技能に対する技能者の意欲の皆無さ

(1)を主として取上げてきたのは、建築業者、請負業者のなかから発せられたもの。

(2)は技能者の年輩の方であり、親方、棟梁が心配しだしてきたものである。

(3)は革新的な新建材メーカー、または革新的な作業機械メーカーの中から発せられたものである。在来の技能者は、これらの新しい技能に興味も研究意欲も持たないからであろう。また現実に、苦労して研究しなくても仕事は十分にあるし、またやっても、それだけ労銀が倍加するわけでもない点からかも知れない。

◉建築とは

これは生活空間を創る、作ると一般に認められている。これを分析して見ると、生活空間をどうするかを主体とするものと、創る、作るを主体とするかで、大きく変化する。後者は建築工学であろう。恐らく建築技能の分野に入るものなのであると思う。

工・たくみ、これには物を生産する。作るということは、解り易くすれば物をつける方法をとることと、物をはなす方法をなすこと、要は接着と分離を考えるほかにはないわけであるが、建築接着論も建築分離、分化論もあまり取上げられてはいません。要は根本的な建築理論がないことになると思う。

これを具体的にいえば、部材、構材、ユニットを接着することで、形を組立てたり、組織したりして作り上げる。原料を分離したり、削ったり、切ったりして部材を作ることになる。接着は、在来は仕口とか継手、補強金物で実施されてきている。切削のやり方も、動力付の丸鋸、帯鋸で切り、プレーナーで削り、突き板機で一層精巧なる鉋削りをやる。

接着工法でも、強力な接着材の発見、または鉄鋼における溶接は、在来の技能に大きな革新的な技能を要求しつつあるし、将来さらに進化せんとしていることは、誰にも納得いくことなのである。これは全く建築技能者の開拓と研究に期待しなくて ・らないものでもある。だがその技術技能に実際するのは、技能者であるのだから、技能者に研究、開発の執念がなければ、これはやむなく新しい職種を誕生させるほかはないことになるわけです。そのいきがかりの上から、メーカーの責任施工、協力体勢をとることになってしまい、在来の技能者の職域は、その分だけ狭くなっていくことにもなると考えられるわけです。

◉技能者不足への対策

これは作業機械の発明開発に期待される。すなわち省力化であって、建築のユニット化、プレハブ化もその例であろう。しかし建築物は固定されるもので、流れ作業にはのせられない。機械の固定はできないから作業機械を反対に移動させないと、建築作業にはなりません。そこに難しさがあるわけです。

◉技能の低下対策

これも技能の低下が全くないとはいえませんが、建設を不可能にするまでに到ってはいないと思う。技能に対する考え方の差異、技能の簡易化、一面合理化の面もあろう。技能格差をなくするところに、現代技能があるともいわれている。もちろん、訓練、トレーニング不足もあるであろう。だが、果して技能者の古老の心配されるほどひどいであろうか。

私としては、訓練だけによる在来の技能だけの完成よりは、革新的の技能を早く身につけて、技能の尖端を開発できる新しい型の技能者の出現を希望するものである。

◉新建材と新技能に対する方策

革新建材が開発されると、それに適した新しい技術作業、技能が誕生してくるものであると述べた。だから新建材メーカーと技能者との協力体勢をとってもらいたい。技能者がついてこないから、素人から養成する対策はどうかと思う。また技能者も、新建材に興味を持ち、ファイトをわかせてもらいたい。

これが自分の技能を末永く保持できる秘訣ではないであろうか。

要は、技能は現在まであまり尊重もされなかったし、生涯の研究対象にする建築研究者もなかった。またあまり年輩まで、技能１本に捧げたものは、成功者とも見られなかったし、したがって偏屈者、すね者、頑固者として遠ざけられてきた傾向さえ少なくなかった。これから、技能の人間国宝として、叙勲、その他の栄誉で社会的に報いられることを念願して、ペンをおくことにする。

（鈴木　忠五郎）

論文懸賞募集

テーマ

都市構成における**メタル・カーテンウォール**技術の発展

趣　旨　都市における建築生産の効率を高め工期を短縮することは、単に建築生産の要求であるばかりでなく、建築業者の要望でもあり、また工事に伴う公害を軽減する上からも、今や社会的要請になっているといえましょう。

したがって、都市の主要な構成要素である一般中低層建築(10階建程度以下の建築)に対して建築の工業化と現場の省力化に大きな威力を発揮するメタル・カーテンウォールをはじめとする金属外壁プレハブ技術を普及し、メタル・カーテンウォール建築の建設を促進することは上述の趣旨から特に緊要であると考えられるのであります。

そこで、上記の目的を達成するためには、どのような方策が考えられるか、どのような方策が有効であるか、あるいはどのような技術が考えられるべきであるか等、これらについて優れたアイデアを求めるため上記のテーマで論文を募集することになりました。どうぞ多数のご応募を期待いたします。

応募資格　特に制限はありません。どなたでも応募できます。

締　切　**昭和46年 7 月31日(土)**（必ず書留郵送とし、当日消印有効）

入選発表　昭和46年10月中旬の予定

賞

1 等	1 点	**50万円**
2 等	2 点	各**30万円**
佳作	3 点	各**10万円**

審　査　審査委員長：池辺　陽(東大生研教授)

審査委員(50音順、敬称略)

足立 孝(阪大教授)　内田祥哉(東大教授)　太田 実(北大教授)　片山光生(建設省官庁営繕部建築課長)　金子勇次郎(建設省建築生産企画室長)　川添 登(建築評論家)　倉部行雄(通商産業省窯業建材課長)　清家 清(東工大教授)　巽 和夫(京大教授)　広瀬鎌二(武蔵工大教授)　前川喜寛(建設省住宅局建築指導課長)　松谷蒼一郎(建設省建築生産企画室建設専門官)　吉阪隆正(早大教授)

応募連絡先・論文送り先　（詳しくは下記にお問合せ下さい。）

東京都港区西新橋 1 － 6 －21　大和銀行ビル内（郵便番号 105）

社団法人　日本カーテンウォール工業会論文募集係（電話　501－2642～3　503－0431内線274）

主　催　社団法人　日本カーテンウォール工業会

協　賛　軽金属製錬会・鋼材倶楽部・板硝子協会

後　援　建設省・通商産業省・日本住宅公団・住宅金融公庫

日本建築センター・日本建築学会・日本建築協会・日本建築士会連合・日本建築家協会・全国建築士事務所協会連合会・営繕協会・建築業協会・全国建設業協会・全国市街地再開発協会・不動産協会・日本高層住宅協会・日本ビルディング協会連合会

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

■連棟住宅販売へ—積水ハウス—

土地価格の大幅な上昇が新規住宅需要の大きな壁になっているが、積水ハウスは宅地の有効利用をねらった新しいタイプの集合住宅、連棟（れんとう）式独立住宅の生産、販売にことし夏から乗り出す。

この連棟式独立住宅は大きな仕切り壁をさかいにして、まったく違ったタイプのプレハブ住宅数戸を一列に並べるというもの。この方式を採用すれば宅地の効果的な活用とともに、共同の基礎工事が可能なことや、同社が現在生産しているプレハブ住宅の部材をそのまま転用して数戸まとめた現場施工ができるため、住宅自体の大幅なコストダウンも可能になる。

同様な発想によるものに長屋や集合住宅などがあるが、この連棟式独立住宅は防火性の強い仕切り壁（鉄骨に硅酸カルシウムで耐火被膜したもの）によって各戸の完全なプライバシーが保たれるとともに面積、間取り、外観などすべての面で異なった仕様を持つ住宅になっているのが大きな特徴。しかも平面配置も一直線でなく各戸を互い違いに配列するなどの配慮をしているので居住者は１戸建住宅と同じふん囲気を味わえるという。

同社の基本計画によるとこの連棟式独立住宅はすべて２階建で一応６戸を１ユニットとし、それぞれ64～100平方㍍程度の延べ建て面積とその半分程度の庭を持っている。１戸当たりの分譲価格は 3.3平方㍍当たり15万円程度の住宅地で平均 700万円と同規模の１戸建プレハブ住宅に比べかなり割安になる。

■「建築材料展」開催される

日本建築材料協会等の主催による「新建築基準法による建築材料展」が、3月6日から10日まで、大阪マーチャンダイズマートビル２階会場で開催された。本年１月から施工された新建築基準法に呼応して、70数社が、防火材料、耐火構造材等を出品したが、たとえば近年相次いだ新建材による火災禍が問題化しているおりから、今後ともより人命尊重に重点をおいた、これら新建材の開発が望まれよう。



会場風景

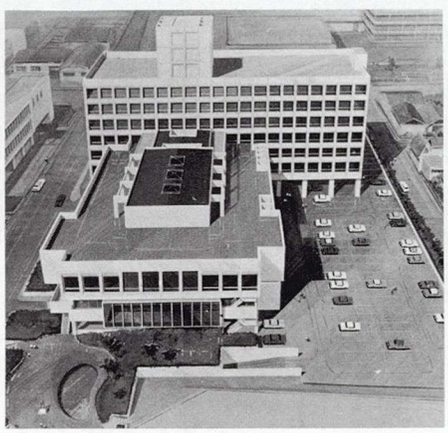
■池田市に「府・市合同庁舎」

地方事務所など府の機関と池田市役所がいっしょにはいる合同庁舎が建てられることになり、３月末池田市から青写真が発表された。設計業者５社による設計競技によって決めたもので府、市、専門家らの審査で安井建築設計事務所の作品に決まった。

新庁舎は、現市役所の東側にある公会堂、府地方事務所の敷地跡に建設するもので46年末着工、48年春完成の予定である。

設計概要によると、敷地面積約10,000平方㍍、建築面積約 3,700平方㍍。鉄筋地下１階地上７階建で、延べ床面積は府使用分が約6,000平方㍍、市使用分が約13,500平方㍍、計画では、西側に正面玄関をつくり、北側に約230台収容の駐車場を、南側につき出した部分には市議会議場ができる。工費は約17億円で使用面積に応じて府、市が工事費を負担する。

府、市合同の新庁舎建設は府下で初めて。


完成予想図

■山村の民俗資料館完成する

江戸時代から山村に伝わる民俗資料を住民たちが持寄って、町ぐるみで建設を進めていた民俗資料館が、兵庫県佐用郡上月町にこのほど完成した。同町の郷土史家、老人クラブ、婦人会、青年団などの代表が昨年４月民俗資料保存会（会長中川町長）を結成、町内800戸の協力を得て、各戸から家宝の紙すき用具一式や養蚕、農耕、畜産などの生産用具をはじめ、かぶりもの、はきものなどの生活用具、民芸品、おもちゃ類、冠婚葬祭用具、古文書など、祖先が築いた貴重な資料千余点を、１年がかりで収集した。

この話に賛同した同県赤穂郡上郡町の木村虎一氏は、生家である江戸時代末期のカヤぶき農家を提供、町では総工費 900万円をかけて移築して主家館（130㎡）とし、農機具などをいれる納屋館（43㎡）と古文書などの収蔵庫（34㎡）を新築した。主家館には、いろりがきられ、座敷にはあんどん、ランプ、床の間には郷土おもちゃ、台所には日常生活用具一式が。同地方独特の紙すき場もある。納屋館には、和田邦平甲南大教授が現地保存を強く訴えた同町に古くから伝わる「海田紙」の紙すき用具や農耕に使う木製のクワ、スキ、織機などを展示。収蔵庫には町の旧家に残されていた系図や古文書などを納め、火事でも燃えないように、厚さ30cm以上の壁でおおった。

■「都市構成におけるメタル・カーテンウォール技術の発展」の懸賞論文

社団法人・日本カーテンウォール工業会主催による標記論文懸賞募集が下記要領で開催される。

募集の趣旨：都市の主要な構成要素である中低層建築に対し、メタル・カーテンウォールをはじめとする金属外壁プレハブ技術の普及を促進し、もって建築生産の工業化と建築現場の省力化に寄与するとともに、都市の構成におけるその意義を探るため。

課題：中低層建築の機能と工法に適切と思われる新提案を含め、中低層メタル・カーテンウォール建築の普及促進に関する方策の提案など。

賞金：１等　１点　　50万円
　　２等　２点　各30万円
　　佳作　３点　各10万円

応募要領：論文はA4版横書き400字詰原稿用紙に30～50枚程度とし、これに２枚程度の概要を添えること。

提出期限：昭和46年７月31日

審査委員：池辺　陽（委員長）・足立　孝・内田祥哉・太田　実・片山光生・金子勇次郎・川添　登・倉部行雄・清家　清・巽　和夫・前川喜寛・広瀬鎌二・松谷蒼一郎・吉阪隆正

後援：建設省　通商産業省　日本建築協会ほか

提出方法その他詳細は下記へ問合わせのこと。

東京都港区西新橋１－６－21　大和銀行ビル内
社団法人　日本カーテンウォール工業会論文募集係

■—呉服座—明治村へ

本誌昭和44年３月号のニュース欄に紹介されたように、存亡の危機にあった芝居小屋・呉服座は、このたび、所有者および「呉服座を守る会」の努力により、無事、名古屋の明治村への移築を終え、永久保存されることになった。

■日本最古の農家復元

日本最古の民家といわれ、国の重要文化財に指定された兵庫県宍粟郡安富町の「皆河（みながわ）の千年家」が、解体復元工事を終り、26日午前10時半から完工式をあげた。揖保川上流の流れに沿った山深い村落に、室町時代の農家がよみがえった。

「皆河の千年家」は農業古井徳治さん（70）の住家。同家が代々住み、同家保存の天保７年（1836年）の古文書「播州皆河邨（むら）千年家之記」で、天正９年（1581年）羽柴秀吉が姫路城を築いたとき、縁起をかついで同家の角材を献上させ、天守閣の一部に使ったといわれるなど、由緒ある家。屋横の柱やはりの構造、技法から 400年昔の室町末期の建築と推定され、神戸市兵庫区山田町の「山田の千年家」とともに、わが国最古の農家とされている。

木造かやぶき平家建約91平方㍍。間取りは「広間型３間取」。板張りの「おもて」、竹のすのこ張りの「なんど」「ちゃのま」に仕切られている。昨年１月から文化庁が工事をしていたもので、総工費 1,290万円。

（朝日新聞 S46. 3. 27より）

防水は建築技術とともに進歩しています。



新工法・省力化・工期の短縮などを
可能にしたまったく新しい防水仕様です。

現代建築の技術革新にはめざましいものがあります。たとえば超高層ビル一階層の工期――霞が関ビルでは28日だったものが、２年後の世界貿易センターでは22日、そして新宿の京王プラザビルではたった17日と短縮されています。こうした建築技術の発展とともに防水は進歩するものです。今までにも、たくさんの防水材料・工法が開発されてきました。

そして東西アス協組では、画期的な防水材料と防水工法の開発成功を期して、この４月、防水仕様が大きくかわりました。まもなく、みなさまのお手もとに、この「新防水仕様」を、お届けいたします。
ご期待ください！
なお、お問合せは資料請求券をそえて下記宛お申し込みください。

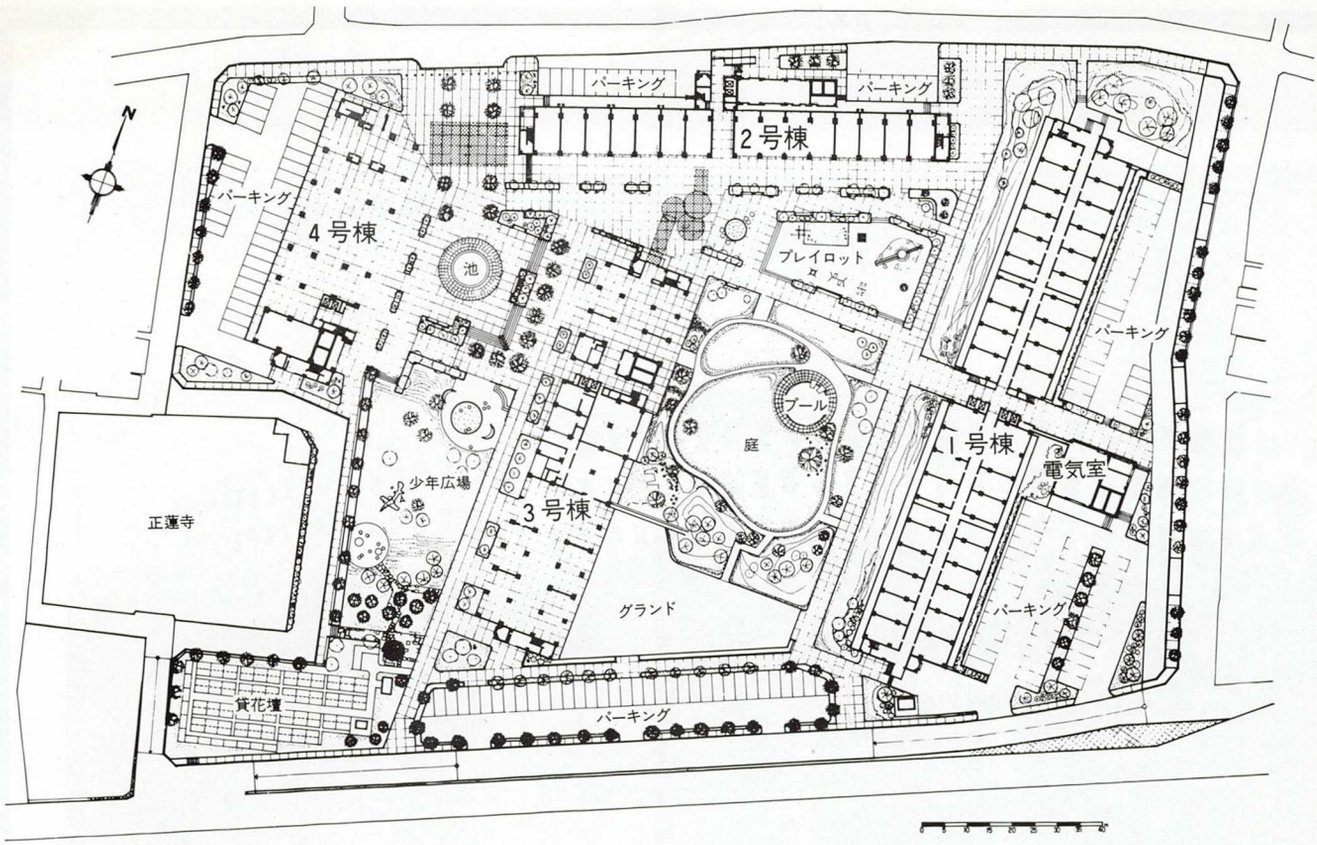
田島ルーフィング株式会社
本　　社　東京都足立区小台1・3・1　電話(03)912-1131(代)
神田営業所　東京都千代田区岩本町3・11・13　電話(03)862-8531(代)

田島応用化工株式会社
東京営業所　東京都千代田区岩本町3・11・13　電話(03)866-6101(代)
大阪営業所　大阪市西区京町堀１・74　電話(06)441-5951(代)

東日本アスファルト事業協同組合
東京都千代田区岩本町３・11・13　電話(03)866-6101(代)

西日本アスファルト事業協同組合
大阪事務所　大阪市西区京町堀１・74　電話(06)441-5951(代)
名古屋事務所　名古屋市西区桜木町3・8　電話(052)571-6361
広島事務所　広島市鉄砲町５番の16号　電話(0822)21-0266
福岡事務所　福岡市冷泉町５番７号　電話(092) 28-2807

請求券
建築と社会
5月号



■伝法面開発市街地住宅完成

住宅公団によって森の宮、住吉につづく面開発市街地住宅伝法団地が完成した。

住宅公団の面開発制度は工場跡地などを全面的に買収し高層住棟による高密度居住地区を開発し、あわせて公園、店舗、幼稚園、医療施設、集会所などの公共公益施設を整備して都市再開発の一環となるものであるが、この伝法団地ではよりよい住環境を生むために、計画・設計・管理にわたって種々な努力と試みがなされている。

住宅建設計画は10階と11階建の高層住棟4棟で（1DK 318戸、2DK 754戸）うち3棟は中廊下型式である。約1万坪の敷地は工場跡地であり周辺は4m道路程度であったものを、特定街区の適用によって全周6m以上の道路事情の改良が行なわれた。

施設計画は団地居住者のための公団管理事務所、集会所、管理作業員詰所のほか、周辺地域への利便性も考慮した戸割店舗（飲食店、電気器具店、クリーニング店、歯科、内科医院など）14店を配し、スーパーマーケットと幼稚園が今後予定されている。

住戸ユニットはバルコニーに替えてこれを広縁ルームとし、幼児のサンルーム、児童の勉強部屋、主婦の家事室、主人の書斎などに使用しうるようにし、窓建具はKJ規格以上のアルミサッシとしガラスは6.8㎜のプレートワイヤー（パラフィン）を使っている。西面住戸についてはベネシアンブラインド装備である。住棟設計では中廊下の通風・換気・採光のために桁行スパンの一部で風道スリットを取り、防災上の配慮としては妻側階設室には排煙前室を設けた。E・V台数は約100戸/台の割で配置されている。

外装仕上げは25角の窯変モザイクタイルで美観と汚れ、剝離の問題に対処し、E・Vホール窓外側には縦方向の各階プラント・ボックス、3号棟の2階庇にプラント・ベース（いずれも自動灌水装置付）によってアクセントと色どりを添えている。

高層化によって得られた屋外オープンスペースは十分な緑と自由な空間を実現するため、ひろばは全面芝貼の柵のない樹林である。また子供の水遊びにプールを、園芸のために無償自主運営方式の貸花壇もある。

家賃対策としては傾斜家賃制度が採用された。これはこれまでは70年原価償却均等割月額であったものを入居開始時には低くおさえ、以後5年にわたって漸次的に家賃をあげて、募集時における申込資格と当初の生活費負担の軽減を計るものである。あわせて職住近接の観点から通勤区分制度をもうけて此花区、西淀川区、福島区などに勤務先を有する居住者に対しては5倍の当選確率となるように配慮された。

大阪市此花区伝法町南3丁目
工業地域　準防火地区
敷地面積　34,654㎡

建築概要		建築面積	延床面積	1DK 2DK 計	施設
1号棟	10F R.C	㎡ 2,539	㎡ 23,649	40 360 400	
2号棟	11F SRC R.C	1,329	11,114	160 160	1F 戸割店舗14店
3号棟	10F R.C	1,869	16,444	18 234 252	1F 管理事務室 集会室 幼稚園(予定)
4号棟	11F SRC R.C	1,240	11,867	260 260	1F スーパーマーケット(予定)
計		6,977	63,074	318 754 1072	

住宅面積（ネット）　1DK　30.37㎡～32.88㎡
2DK　44.55㎡～47.06㎡
建ぺい率　21.5％　容積率　194％
計画人口　3,700人　人口密度1,100人／ha

設計・監理　日本住宅公団大阪支所
安井建築設計事務所
施工　㈱鴻池組
工期　昭和44年4月～46年2月
家賃　1DK　16,000～17,600
2DK　23,800～26,700

■新刊紹介

●「顔」
徳永正三著
発行所：徳永興産株式会社

「建写陶家」として自他ともに許す著者が、陶画の習作としてはじめた墨書きの顔や自然の画集で、新聞の学芸欄のカットなどでつかわれ、注目をあびていたもの。自然と人間が混然一体となり、線の肥瘦をともなって独得のリズムとユーモラスをかもしだしている。

花の娘





倉敷レイヨン中央研究所

●特許建築用内装・外装化粧材
砂粒状陶磁器の吹付

セラスキン

●建造物の内外部に!!
粉状陶磁器の吹付

セラコート

●粗粒状陶磁器の吹付

セラカット

セラスキンとは陶磁器の皮（CERAMIC SKIN）と云う意味で砂粒状の有色陶磁器と結合剤とを混合、液状としたもので、これをスプレー（コンプレッサー使用）ガンにて建造物の内・外、壁面、天井etc に吹付け、防水性と装飾を目的とする建材です。

特　徴

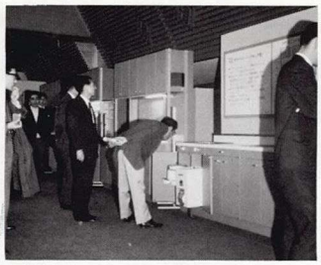
- ●色　彩　高熱焼成（1250℃－1350℃）にて発色した陶磁器を主材料にして顔料、色素を使用しない為雨風、太陽光線による色彩の変化は起りません。
- ●防水性　通気性、防水皮膜を形成します。
- ●耐薬品性　弱酸、弱アルカリに対しては変化を起しません。
- ●耐寒性　－20℃に4時間冷凍しても亀裂その他の異常は認めません。
- ●下　地　コンクリート打放し、モルタル、ベニヤ板、和壁、ブロック、スレート、テックス類etc.
  鉄類の場合は錆止塗料を塗って下さい。

山本窯業化工株式会社

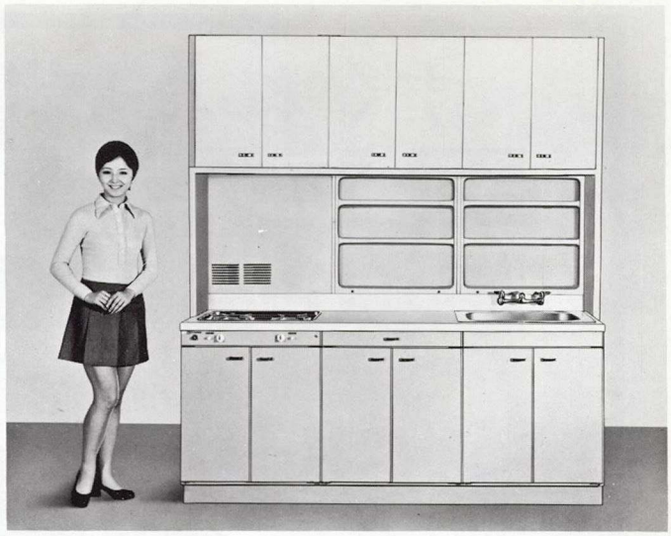
本社・工場／大阪府摂津市別府３６５　☎(06) 381－9131～5
東京営業所／東京都千代田区麹町３－６（藤井第２ビル）　☎(03) 265－8888～9
名古屋営業所／名古屋市中区栄３－２３－１４（山市ビル）　☎(052)262－6774～5
福岡営業所／福岡市博多駅前４－３－１４（菅原ビル）　☎(092) 43－６９４０
広島営業所／広島市中広町２－２０－９（みのるビル）　☎(0822)91－６２００
仙台出張所／仙台市上杉２－４－４６（森林会館ビル）　☎(0222)22－１２９９

新製品紹介

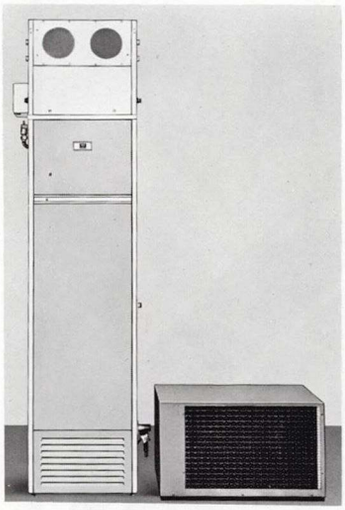
大阪ガス住宅設備機器



大阪瓦斯㈱は、4月13日、東洋ホテルで、新しいガス住宅設備機器の発表会を行った。（写真・会場の一コマ）



■ガスセントラルヒーティング〈温風式〉44−590型（写真）



機器本体と冷房ユニット〈室内側〉・〈室外側〉のセットで、暖房・冷房・給湯ができる画期的なシステム。機器本体（44-590型）の上に冷房ユニット〈室内側をセットし、屋外に冷房ユニット〈室外側〉を設置、両ユニットを冷媒配管する。

- ダクト式なので、ダクト配管さえしておけば、暖冷房する部屋を自由に選択できる。
- 暖房のときは、自動加湿器が働き、冷房時の除湿能力も抜群。
- 給・排気はバランスド・フルー方式。

	給湯暖房器 44− 570型	暖房器 44− 580型	給湯暖房器 44− 590型
暖房能力 同時暖房,暖房可能面積	10,000Kcal／時 5室、約67m²	12,000Kcal／時 6室、約80m²	8,000Kcal／時 4室、約53m²
冷房能力 同時冷房,冷房可能面積			4,500Kcal／時 2室、約30m²
給湯能力 貯湯量	13,000Kcal／時 70ℓ		13,000Kcal／時 70ℓ
高さ,幅,奥行き㎜	1870,500,570	1750,410,720	1870,500,570
価格(予定)	本体26～27万円	本体20万円前後	498,000円
発売(予定)	今秋	今秋	46年7月

■キチンユニット〈ブロック型〉

独自のブロック方式の採用により、各種キャビネット、調理天板、棚パネル、バックパネルなどを自由に組み合わせて、ユニットを構成でき、建築条件や使用条件に的確に合わせることができる。ガス機器から収納部まで、台所に必要な設備はすべて集約している。

〈寸法〉高さ 2,200㎜、幅 2,000㎜、奥行き 720㎜、調理台高さ 850㎜
〈価格〉標準ユニットで20万円前後〈発売〉今秋予定



■洗面付きバスユニット

バスユニットのなかにバランス型外だき釜〈シャワー付き〉を設置し、風呂の釜だきはもちろん、そこからシャワー、洗面への給湯ができるようにしたもの。

- 水まわりの設備を1ヵ所にまとめているため、使いやすく、快適。
- 完全防水構造で、防水工事は不要。

〈寸法〉高さ 2,000㎜、幅 1,800㎜、奥行き 1,200㎜、
〈価格〉ユニット一式で28～29万円
〈発売〉46年7月予定

■住民本位の都市づくりをめざして ―「革新大阪府政実現にあたって建築家・技術者の会」―

「大阪にも、住民本位の都市づくりを」と言う府民の願いが高まり、長年にわたって大企業優先,住民不在の都市政策を続けてきた府政にかわって、住民本位の都市づくりをめざす革新府政が、大阪にはじめて誕生したことは、住民の立場から建築をつくり、都市をつくろうとしている私達建築家・技術者にとって最大の喜びです。

私達は、この4月5日に,300名以上の参加者、支持者をもって、「革新大阪府政を考える建築家・技術者の会」を設立し、また。設立の集いには「堺から公害をなくす会」などの地域住民の代表から、交通騒音、住宅問題、大気汚染の生々しい報告があり、住田昌一氏より「革新府政を考える」講演がありました。そして,住民本位の都市づくりをめざす「革新大阪府政」の実現へむけて、建築家・技術者の立場から、大阪の都市政策を考える連続小集会を数回にわたって開くなど、積極的に発言し、行動してきました。

私達は「革新大阪府政を考える建築家・技術者の会」設立宣言の中で次のような態度を明確にしております。

「生活環境をよくしようとする住民の意志と行動をただしくたすけ、発展させて、環境を豊かに住みよくしていくことが、地方自治体の本来のありかたである以上、それを大阪でもっともよく生かすものが住民本位の民主的な『革新大阪府政』であります。憲法をくらしの中に生かすと同時に、環境破壊から大阪を守り、大阪湾から生駒山まで、緑と青空をとりもどし、水の都をよみがえらせるためにも、住民本位の都市づくりをめざす『革新大阪府政』の推進は必要であります」

革新府政が実現された今、「住民本位の都市づくりをする」という、私達、建築家・技術者の社会的な責任と義務を果せる条件が急速にととのいつつあります。私達は革新府政の実現を心から喜ぶと同時に、これまでのよびかけをより強め、各分野の専門家とも協同連帯しながら住民のための住みよい豊かな生活空間、都市環境づくりに積極的に参画してゆく決算を、あらたにしたいと思います。そして、大阪を本当に府民の誇りとする都市にするため「革新大阪府政を考える建築家・技術者の会」への参加を、いっそう多くの建築家・技術者によびかけるとともに、叡智と総力を総集して,住民のための都市づくりを推進させる方法を考え、建築家・技術者の立場から、革新府政を強力におしすすめていくことをここに表明いたします。

1971年4月12日　革新大阪府政を考える建築家・技術者の会（事務局T）

建築技術者の会設立の集い（1971.4.5）



すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス

SIPOREX



軽量

比重0.5

コンクリート¼の重量

断熱

コンクリートの10倍の断熱性

耐火

法定耐火材料

ダイキン工業(株)滋賀工場
設計　株式会社　日建設計
施工　(株)大林組、鹿島建設(株)
　　(株)竹中工務店　　JV
使用場所　ヤネ・カベ

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまであらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被覆に使用されますが次の建物には特に最適です。

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

シポレックス販売株式会社

本社・東京支店　東京都千代田区神田司町２－６(平沼ビル)
　電話　東　京　(256)代表３　４　５　１
大　阪　支　店　大阪市西区立売堀北通１－90(第三富士ビル)
　電話　大　阪　(538)代表０　５　２　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３－２(大商ビル)
　電話　名古屋　(581)代表７　４　２　１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



649.　尼崎市立スポーツマン会館

設計：KK　中澤建築事務所
施工：丸　石　工　業
a．尼崎市西長州本通
b．465.79 m²
c．818.20 m²
d．RC造、2F
e．昭和45年3月～昭和45年10月



650.　桜川市街地住宅

設計：KK　中澤建築事務所
日本住宅公団大阪支所
施工：KK　佐　藤　工　業
a．大阪市浪速区桜川3丁目1番地
b．2,532.89 m²
c．15,031.73 m²
d．RC造、10F、PH2、一部SRC造
e．昭和44年3月～昭和45年12月



651.　広島県庁舎北館

設計：KK　日　建　設　計
施工：清　水　建　設　KK
a．広島市基町10番52号
b．1,545.55 m²
c．11,159.93 m²
d．SRC造、B1、6F、PH2
e．昭和44年3月～昭和45年9月



652.　貿　易　ビ　ル

設計：KK　創建設計事務所
施工：KK　熊谷組大阪支店
a．神戸市生田区東町123ノ1
b．1,582.40 m²
c．15,522.17 m²
d．S造、B1、9F、PH3
e．昭和44年6月～昭和45年10月



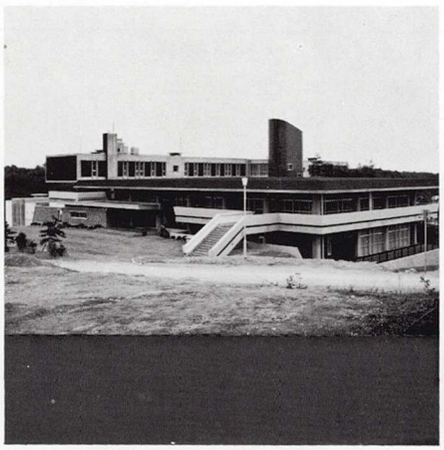
653.　福岡市塩原市街地住宅

設計：山下寿郎設計事務所福岡支社
施工：村　本　建　設
a．福岡市大字塩原字水町911－4
b．2,341.91 m²
c．42,733.26 m²
d．SRC造　10F
e．昭和44年7月～昭和46年2月



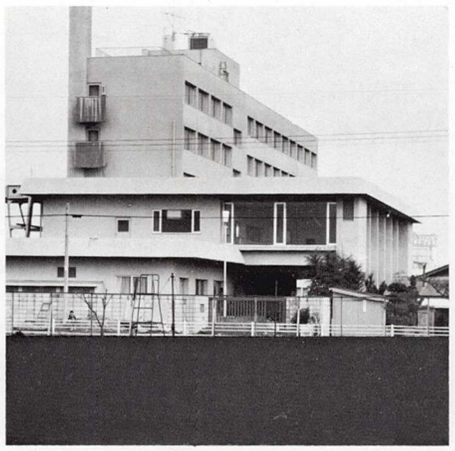
654.　井　筒　屋　新　館

設計：三田建築設計事務所
施工：KK　鴻　池　組
a．兵庫県美方郡湯村温泉
b．912 m²
c．6,878 m²
d．RC造、B1、6F、PH2
e．昭和45年3月～昭和46年3月



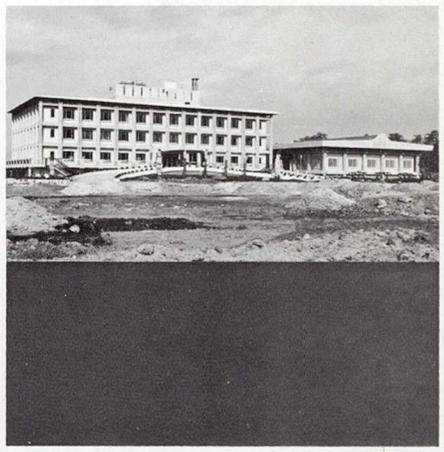
655.　社（やしろ）モーターボート会館

設計：三橋建築設計事務所
施工：KK　鴻　池　組
a．兵庫県加東郡社町上三草字三草山
b．2,081.8 m²
c．4,699.2 m²
d．RC造、B1　3F
e．昭和45年2月～昭和46年1月



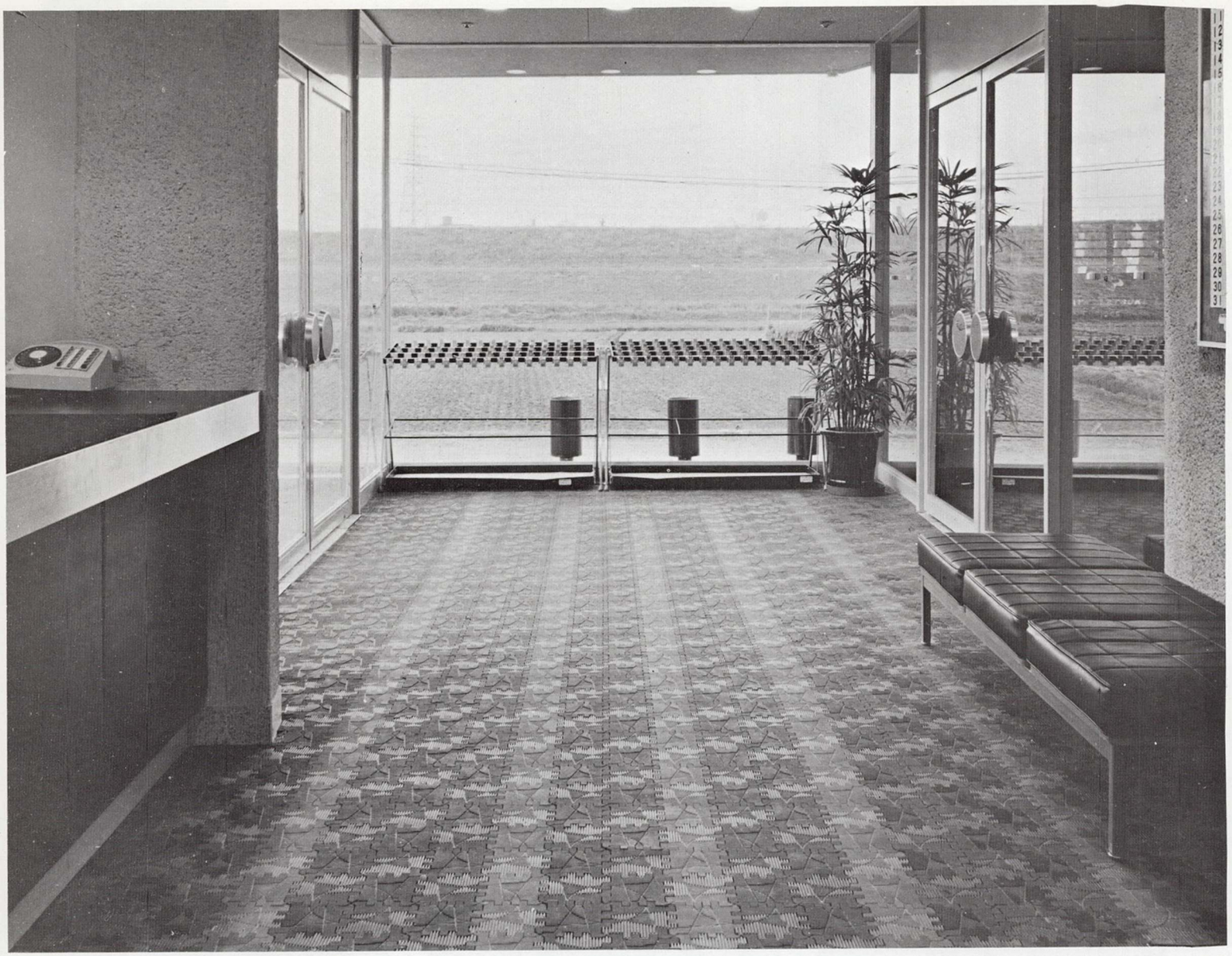
656.　近畿リコー販売株式会社 男子社員独身寮

設計：KK　尾崎建築設計事務所
施工：大都建設工業　KK
a．尼崎市若王寺字大張1番地の10
b．737.00 m²
c．2,152.24 m²
d．RC造、5F
e．昭和45年3月～昭和46年2月



657.　宇　佐　市　庁　舎

設計：KK　藤沢建築設計事務所
施工：東　海　興　業　KK
a．大分県宇佐市大字上田
b．4,330.13 m²
c．8,653.65 m²
d．庁舎棟　RC造、4F、PH1
議会棟　RC造、1F、その他
e．昭和45年3月～昭和46年1月

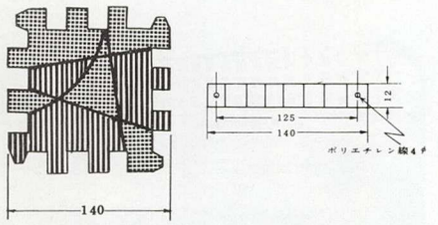


各種玄関マット設計製作　ミヅシマ

ウルトラインマット

（ウルトラセン）

〈詳細図〉



〈規格色〉赤・白・緑・鼠・青

玄関に
ハイセンスを！

マットは
トップメーカーの
ミヅシマ製品を
お選び下さい

ウルトラインマット試験表

- **耐摩耗試験**－摩耗減量 0.0035グラム
  試験条件　テーバー摩耗試験機 荷重 500グラム
  回転速度 57r.p.m.1000回転
- **熱収縮試験（膨張）**
  40℃±1℃3時間変化なし－5℃3時間　縦（－0.10%）　横（－0.17%）
- **耐薬品試験**　浸漬条件30℃×31日間重量変化率
  3%H_2SO_4（≦0.1%）10%NA_0H（≦0.1%）
  植物油（白絞油）（5.2%）（30℃×5日間）
- **耐水試験**　浸漬条件23℃×24時間0.07%

ミヅシマ

おそうじ百貨

ミヅシマ工業株式会社

営業本部／大阪市西区北堀江上通一丁目20　TEL（531）7571～4
本社工場／京都市南区久世築山町 380の2　TEL（921）6361～3

〈営業所〉
東　京／TEL（667）8844（代）
名古屋／TEL（911）4306～7
京都第1／TEL（221）5363・0214
京都第2／TEL（312）6051
大　阪／TEL（531）7571～4
福　岡／TEL（27）2331（代）
北九州／TEL（57）3579



クラスメート

72

〔京都第一工業学校　昭和15年３月卒〕

すわっている人　左より（敬称略）

宮本良吉　（KK宮本組）
永井慎也　（三井建設KK）
小川鶴男　（小川建築設計事務所）
吉田賢次郎　（大昌建設KK）
橋本永三　（清水建設KK）
山中英男　（KK大林組）
池田総一郎　（先生）
真木稔夫　（先生）
沢本建一　（沢本左官工業）

たっている人　左より（敬称略）

石橋一男　（KK石橋工務店）
山本昇一　（大登建設KK）
田中稔也　（大和ハウス工業KK）
田口信夫　（KK恵美須建設）

京都四条・青雲楼にて　昭和46年４月11日

卒業して満30周年を迎えた我々34人中、15人が戦病死などで失ったのは、我々戦中派では珍しくないかも知れない。激動の直前のオールドリベラリズムの、ほんの一端というか、古き良き時代？の匂いを嗅いだのも、今にして想えば懐かしいことである。

「なすの会」という名前のいわれは、英語を教えるよりマルクス・レーニンを話す方が多かった先生のニックネームである。何故建築外の先生の仇名が今でもわいわいと集っている、我々の集いの名前になったか……は、詳らかでない。すべて夢である。

石橋　海軍へ勤務したが陸軍で台湾に出征、彼はこつこつとやる技術屋。口をあけるのは酒を飲む時という武者である。**小川**　勉強組であったが適当にやっていた。早稲田に進学後海軍技術将校となり、現在変化に富む設計をしているが、夜行型でもある。**沢本**　東畑建築事務所に勤務していたが父君の後継ぎで、180度の転換京の町家の優れた左官業を自営。在学中級長であった。**田口**　海軍の関係で南方行き。またこの話がおもしろいが彼独得の親分人情家で我々の会のリーダーである。社長業に忙しい。日曜日登山をするのが欠点？　**田中**　日大へ進みシベリア抑留時代が長かった。彼独得の大人型で悠揚迫らぬところ大したもの。会う者をゆったりした気分にさせる。大和ハウスの幹部。**永井**　苦労した。在学中ラグビーでフォワードをやっていたが、試錬に耐える根性が現れてピチピチ？して安定した。**橋本**　彼に戦中記を書かせたら小説以上。清水建設で暴れているが学校であれだけやんちゃをしたのにまだ不足らしい。戦死した仲間の分までやっていてくれるのだろうナ。**宮本**　竹中工務店を社員番号 900番台で休職入隊後、２代目左官業である。先代に追いつき追い越せムードで上昇せんと現在はマジメ型。**山中**　彼の英語はうまかった。例の巻舌でペラペラやるので一同煙に巻かれること……。大林組の北陸でデンと構えているとは、さすが。**山本**　脱京都業界で大阪に勤住をしている。社長の仕事も多忙だがゴルフも忙しいのと違うかと、彼をひがむ者が多いとか。つらいナ。**吉田**　誰の髪が一番早くバックしたかという論はさておき、神戸高工を出、滋賀県のこれも大人。ロータリークラブ員で尺八の名手であり何であり、とにかく肩書の多い人間だ。一風変って機械体操の名手。

ここにまだ欠席者がいる。色染と建築をまちがえて今染色業をやっている豪の者(中田)数奇屋建築を自他共に誇る10何代目の安井杢工務店社長の(安井)設計やら麻雀などで忙しい(木村)千代田建設の重鎮で忙しすぎる男(樫尾)福井県庁建築課のぬし(藤本)である。

末文で恐れいるが池田総一郎先生。真木稔夫先生もまだ我々の御目付で御出席を得たのはいつもながら嬉しいことである。

（宮本記）



日進式ボード下地天井
日進式遮音パーティション

軽量・強度・耐火・耐震・遮音・合理的施工法

天井・間仕切・アルミニウムのことなら 何でも ご相談下さい

株式会社 奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町60　電話大　阪 (364)4131
福岡市住吉松月町293　電話福　岡 (29)0459
東京都太田区南馬込4－1－18　電話東　京 (772)7856
名古屋市中村区志摩町4の7　電話名古屋 (551)3013

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

福田朝生
KK双星社竹腰建築事務所代表取締役

堯天義久
神戸大学教授・工博

宮脇和正
大阪府建築部長

安田誠一
安田株式会社会長

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

眼 けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ・けんちくのめ

〔一月号より六月号まで上記四氏で担当〕

● 設計と施工

設計と施工とは分離すべきか、または一貫して行なうべきかについては種々議論のあるところである。公共建築物については、たてまえとして分離すべきであることについて恐らく異論はあるまい。それは住民の税金によって建てられる建物であり、税金の使途については常に第三者の監視が必要だからである。それ以外の建物についてはどうか。たとえば10億の費用をかけて造った建築が果して10億の値打ちがあるかどうかは誰かが判断しなければならない。その建築主が直接判断できる場合はともかく、そうでない場合には自分の最も信頼できる人に鑑定してもらうことになろう。その人が建築家である場合は当然設計と施工とは分離されることとなる。またその人がコントラクターである場合には設計施工共一貫して依頼することとなろう。実際の事例ではいずれを選ぶかについてはかなり複雑な条件が絡み合っていて必ずしもフェアな選び方になるとは限らないけれども、要するに誰を最も信頼するかが最後の決め手になることは否定できないのではないか。（F）

● 土木の施設と建築

大学に入った春だった。入学歓迎会の席上、ある恩師の話に、「私が建築に進んだ動機は、橋とか道路はどんな人でも、犬や猫でさえ渡ったり歩いたりできる。こんなに平和で市民的な、博愛的でさえあるものを創る仕事が他の工学の分野にあるであろうか？　そういう仕事をすることができる建築を選んだのだが、諸君は果して如何なる動機で建築学科に進まれたのか？」というのがあった。

クラスの者はいろいろもっともらしい、或はもっともらしくない理由と動機を述べ立てたものだった。そして、その時私は建築と橋や道路とではどうしても異質のものがあることを感じたものだった。建築は人間のあらゆる生活を包むものであるとともに、shelterとして外のものを拒否するといった性格がある。最近は土木の施設にも有料道路など、ある特定のものだけの用に供する施設も多いようであるが、土木の施設に較べ、建築は個性的な性格がある。

しかし、土木の施設がそのcivilの名に相応した市民的な性格に近いとするならば、建築はAristocracyの傾向も強いようだ。

これは、建築の優れた性格でもあるとともに、時にはとんでもない独善に陥り易いことを物語っているのではなかろうか？（G）

● 松下村塾

高名なA氏という建築家は自分の設計が建設されていく現場で、できていく建築を見ながら図面に囚われることなく、しばしば設計を変更されるとか。

請負っている建設会社はとまどうことと思う。

一般の建築の建設としては、設計は設計の際よくよく錬って図面にそれを詳細に記入して置くべきで、大部分の建築はそうである。

しかし、創造としての或は表現としての建築にはA氏のようなやり方の呼吸があってもいいような気もする。創造というものは、深い思い入れののちの、最後の手離れの際に負うところがよくあるからである。徹底した商品としての建築設計、それは組織化された建築事務所のものとして、これまた徹底的にビジネス化した建築現場によって建設される。

A氏のような仕事のしかたは、特殊な建物にしかできなくなりつつある。

教育でいえば、緒方洪庵の適々斎塾や吉田松蔭の松下村塾といったところであろう。

現在のマンモス大学の教育と思いあわすとき、時代というものを感ぜざるを得ない。（M）

● すればできる整理整頓

建築現場によく「整理整頓」の貼紙が出ています。誠に結構なことです。けれども性質というか、習慣というか、人に言われなくてもキチッとする人と、なかなかできにくい人とがあります。私自身後者の方で、誠にお恥しい次第ですが、それだけに人一倍苦にしています。そのかわり、整理整頓ができたときは非常にうれしい、気持ちのよいものです。

大正12年９月１日、東京大震災のときの話です。

当時の東京の取引先にM氏という方がありました。その方が「思いがけない大震災で、物を運び出そうとしても、座ぶとんが、足にからんで困った。」と言うのです。「座ぶとんを片付けてからいっぺんに能率が上がりました。ああいうときは、まず第一に足元を片付けることです。」と体験を話されました。これは、どこにでも通じる真理だと思います。座ぶとんを片付ける手間で一つでも物を運び出せばよいように思うものですが、間違いだと思います。特に建築現場のように乱雑になりやすい仕事場などでは、足元を片付けますと、自然に能率が上がります。ケガもしなくなります。したがってよい仕事ができると思います。針金一本、縄屑一つでも動作にさわります。まず足元を整理しましょう。（Y）

燃えない塗料完成!!

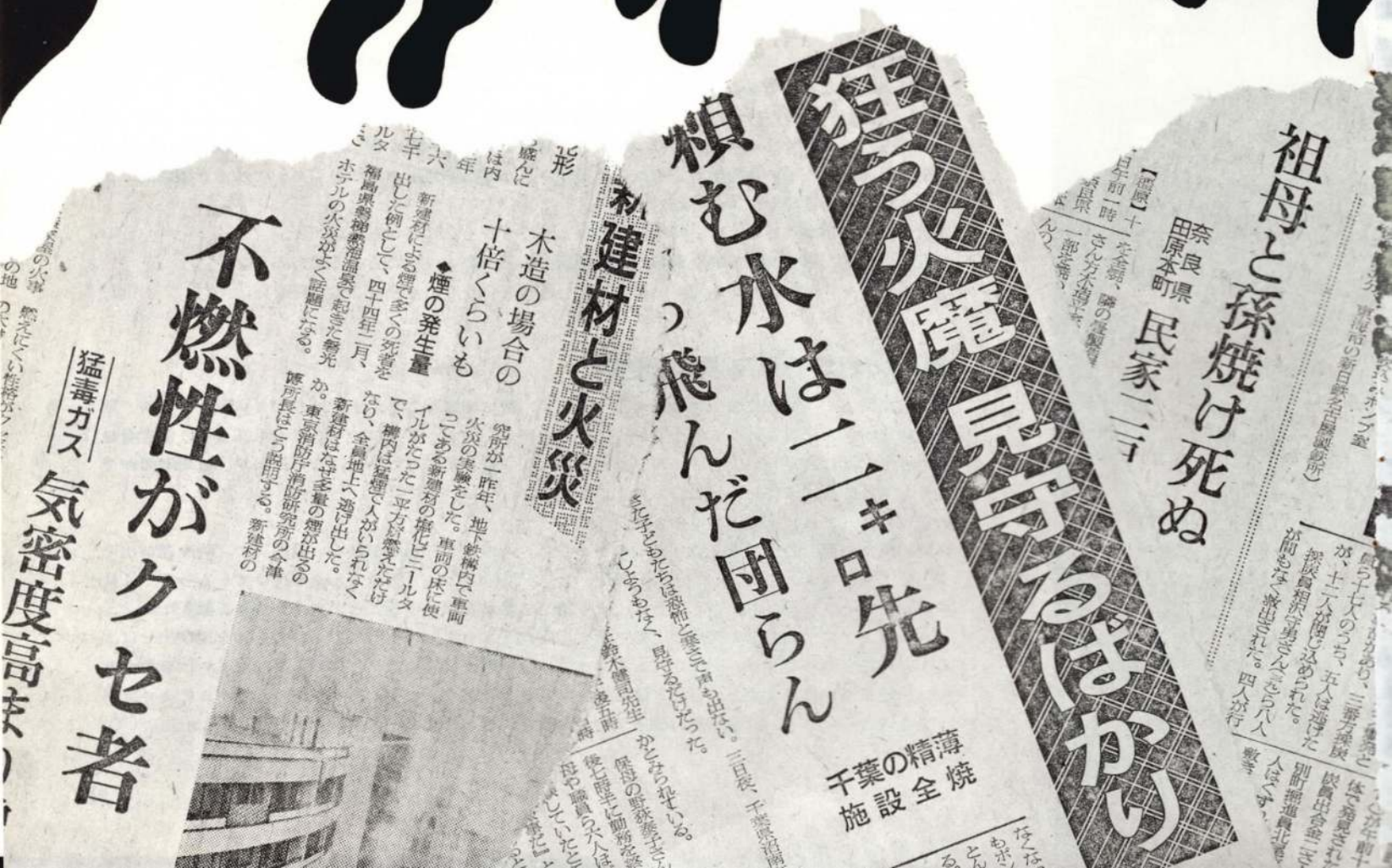
どんな高熱にあっても燃えない、煙もガスも出ない完全無機質の塗料を、関西ペイントがついに完成しました。名づけてバイタル（VITAL）――無機質ですから絶対に燃えず、煙も、ガスも、臭いも出ません。もちろんわが国では初めて、世界でも最先端をゆく画期的な製品で、数多くの特許（出願中を含む）をもっています。人間最優先の時代といわれるいま、バイタル（VITAL）は、尊い人命や財産を火災から守る〝安全の膜〟として建築界の重大な役割りを担おうとしています。

完全無機質塗料

バイタル

関西ペイント株式會社





The Architectural Association of Japan

建築と社会

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山元清重

企画と設計のプロセス

1971年 Vol. 52 5

会　　告　タカラの名古屋工場と名古屋城その他の見学会・大阪ガストレーニングセンターの見学会・日本ハウジング堺工場の見学会・阪急茨木ハイタウン〈美沢高層分譲住宅〉の建設工事見学会・東海支部ニュース―違反建築を追放することを建築関係団体で申し合せた―・定時評議員会決議お知らせ・近畿建築会館建設資金借入金の一部償還当選お知らせ…… 1

法令コーナー45.　大阪府建築基準法施行条例の改正について（その2）大阪府建築基準法施行条例（抄）……大阪府建築部　木田　照之… 6

読者の頁　新刊紹介「建築照明」「Systems Approach to Architecture」「Dictionary of Refrigeration and Air Conditioning」・建築技能のあり方，現在のままでよいのであろうか（鈴木忠五郎）…… 9

建築と社会ニュース　連棟式住宅販売へ・「建築材料展」開催される・池田市に「府市合同庁舎」・山村の民俗資料館完成・メタルカーテンウォール技術の懸賞論文・呉服座・日本最古の農家復元・伝法市街地住宅完成・「顔」徳永正三著・新製品・大阪革新府政を考える建築家技術者の会…… 11

スケッチブック　最近竣工した新建築9点（№649～657）…… 17

クラスメート72.　京都市立第一工業学校　昭和15年3月卒…… 19
（田口信夫，石橋一男，田中稔也，橋本永三，宮本良吉ほか8名）

建築の眼　福田朝生（設計と施工）堯天義久（土木の施設と建築）
宮脇和正（松下村塾）安田誠一（すればできる整理整頓）…… 21

海外写真　ソ連の街と人　5……写真と文・松井　昭光… 25

作品作風　徳島県農協会館……設計：KK東畑建築事務所… 26
施工：西松建設KK
神戸銀行本店事務センター……設計：KK安井建築設計事務所
施工：KK竹中工務店
イトーピア武庫之荘……設計・施工：KK竹中工務店

特集 ＝ 企画と設計のプロセス

1 総　論
設計から企画へのプロセス ……巽　和夫… 34

2 各　論
2―1　官公庁における現行の企画設計方式 ……三品　哲夫… 39
2―2　兵庫県における企画会議方式―委員会について ……光安　義光… 41
2―3　住宅公団の標準発注方式と団地設計 ……青山　克己… 45
2―4　開発プロジェクトと統合組織―その基本的考え方について
……山中　孔… 48
2―5　地域経済の展開に対応する開発方式 ……山下　隆… 50

技術の頁 105.　材料部門　プラスチックサッシュについて
……日本建築協会建材委員会（担当：武藤　倫男）… 55

戦後の建築運動史　本号は休みます。

月　報　日本建築協会月間の動き（昭和46年3月分）…… 53

編集人　松井昭光
印　刷　昭和46年5月20日
発　行　昭和46年5月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3―37
電 大阪231―9648
振替口座 大阪39975

印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361―2091
売　価　1部 300円・送料共

◀ 次号特集予告：解体工学
1 総論　解体工学の現状と課題
2 新しい解体工法
ウォータージェット法・火薬・高圧ガス・火炎・電気的方法・油圧機械・その他による破砕法・各種実施工法の評価
3 解体工事と公害対策
4 万国博におけるコンクリートの破砕実験
5 建設工事にともなう廃棄物処理
◀ 7月号特集予告：都市と港湾

KENTIKU TO SHAKAI

No. 5 Vol. 52, May 1971

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: K. Yamamoto

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan.
Price: *single copy price ¥300*

CONTENTS

Column for Laws & Ordinances about Architecture	6	
Column for Readers	9	
News for Architecture and Society	11	
Column of New Buildings	17	
Class-mates	19	
Essayes ("Kentiku no Me")	21	by *Asao Fukuda, Yoshihisa Gyoten, Kazumasa Miyawaki, & Seiichi Yasuda*
Photograph: Town and people of U.S.S.R	25	Photo: *Akimitsu Matsui*
WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED		
Tokushima Agricultural Cooperative Association Hall	26	Design: *K.TOHHATA & ASSOCIATES, ARCHITECTS.* Construction: *NISHIMATSU CONSTRUCTION Co., LTD.*
Bank of Kobe Administrative Center	30	Design: *Yasui Architectural Office* Construction: *Takenaka Komuten Co., LTD.*
"ITOHPIA" Mukonoso Mansion	32	Design & Construction: *Takenaka Komuten Co., LTD.*
SPECIAL FEATURES ON PLANNING AND DESIGN POLICY		
[1] Introduction		
Process from Design to Planning	34	by *K.Tatsumi*
[2] Particulars		
Present Planning and Design System in Public Officials	39	by *T.Mishina*
Planning Conference System of Hyogo Prefecture——Related to Committee	41	by *Y.Mitsuyasu*
Standard Order System of Japan Housing Corporation and Housing design	45	by *K.Aoyama*
Development Project and Unificational Organization——It's Basical Idea	48	by *T.Yamanaka*
Development System to Comply with the Regional Economic Evolution	50	by *T.Yamashita*
COLUMN OF ENGINEERING		
105 Concerning Plastic Sash	55	by *M.Muto*
BULLETIN	1, 53	

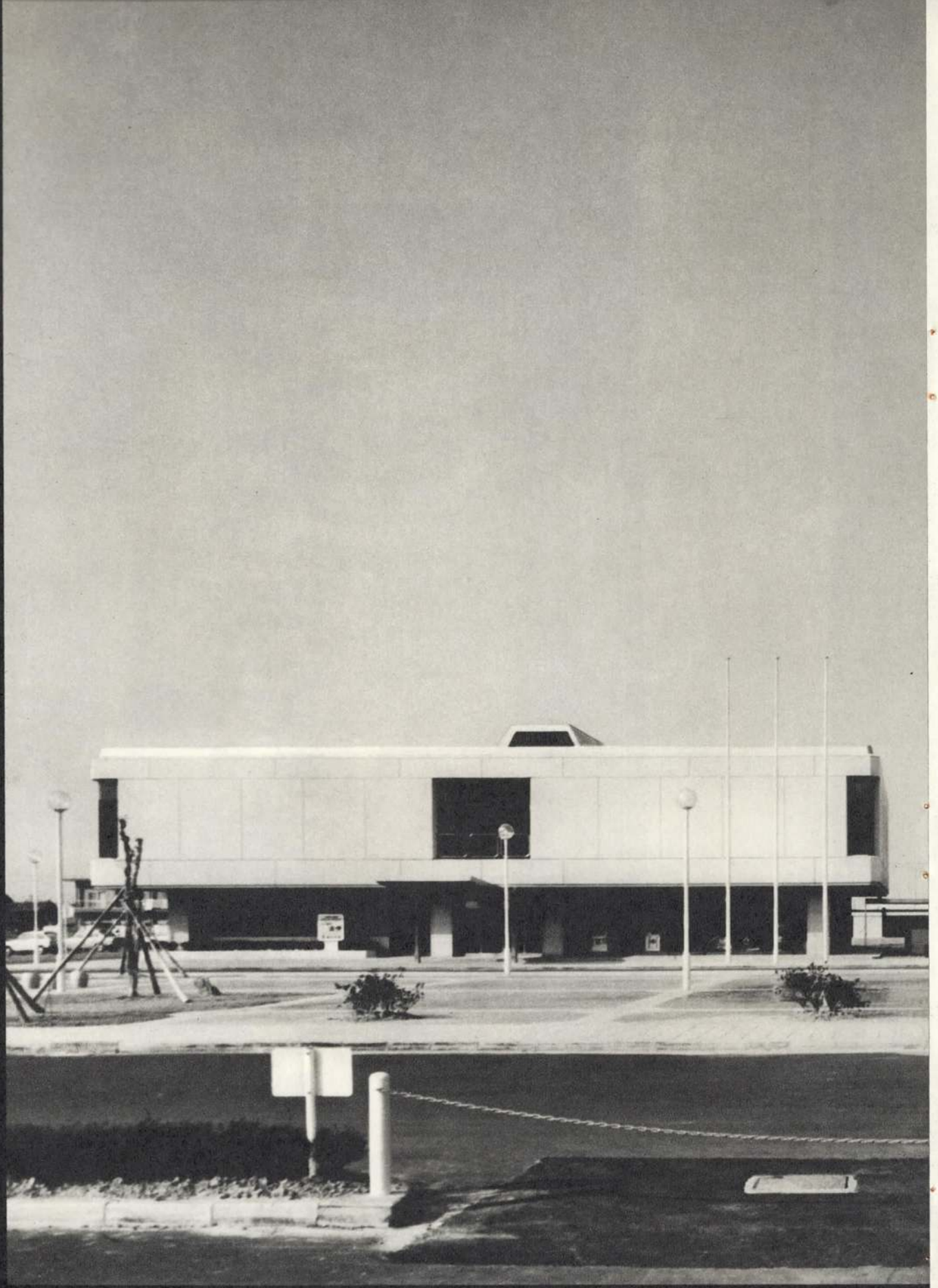
海外写真

写真と文
松井昭光

ソ連の街と人
5



モスクワのプーシキン広場はいつも賑やかだ。ゆきかう人の髪の色もいろいろだ。黒あり茶ありブロンドあり、花壇に映える緑と黄と赤はまたその多民族のカラーフルな姿をひきたてる。この広場の一隅にある映画館ロシヤ（一九六一年）は、ソ連の現代建築の曙を示す作品。



徳島県農協会館

設計監理　ＫＫ東畑建築事務所
施　　工　西松建設ＫＫ四国支店

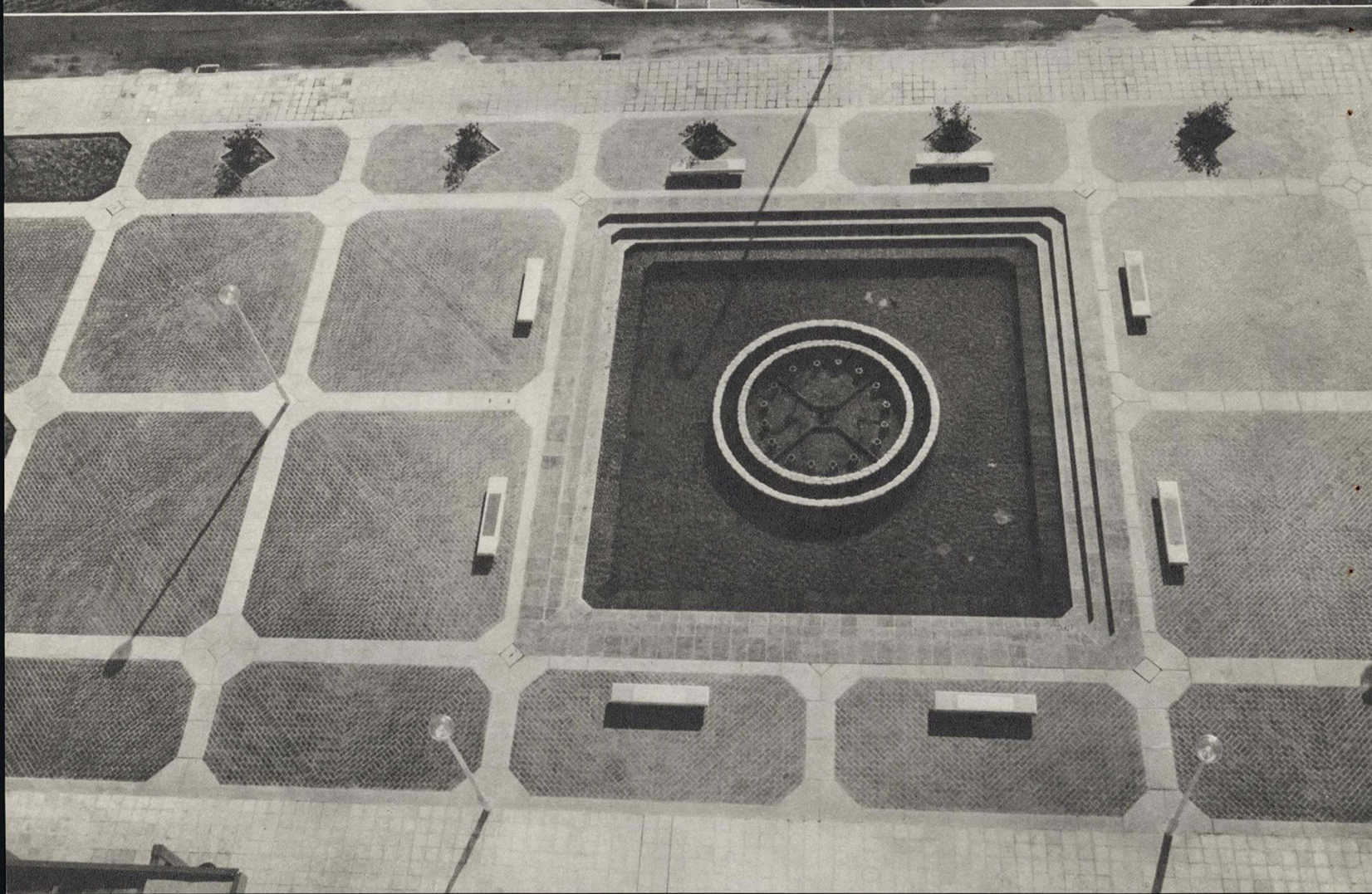


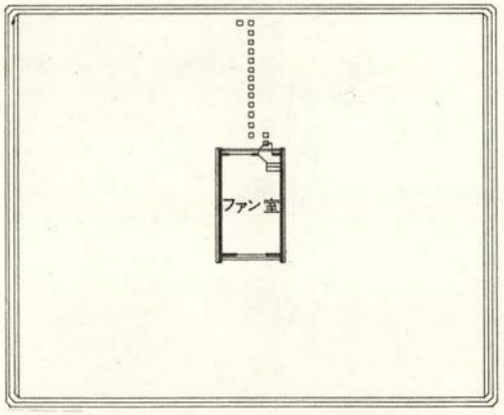
設計者のことば

敷地は市内とはいえ今後に開発が予想される地域の田畑約33,000m²を造成したもので、ここに徳島県下農協のセンターの核となるこの建物と漸時整備される諸施設が一団地として計画されている。全体計画は、敷地を7.2m角の平面格子で割りつけ、諸施設をはじめ庭、道路、駐車場を含めた配置を決定した。センターの核としてできる限りシンボリックに表現したい意図から、執務空間のみを八層に積み上げた高層棟とした。平面形は、センターコアシステムによる36m角の正方形とし、構造的には外殻構造を採用して四面同一の立面を構成し、四周からの見通しに対応するとともに、光と陰の変化による豊かな表情を求めた。執務空間は、四方からの十分な採光と室内に柱型、梁型を露わさないことによって均一な室内環境を生み出し、2.4m角で割りつけた平面格子に対応した照明、空調設備の配置により、間仕切壁の移動に自由を与え、執務の変化に応じ得るフレキシブルな空間とした。広く農民に開放される施設である低層棟は、高層棟と調和しつつ、親しみのもてるよう表現に努めた。

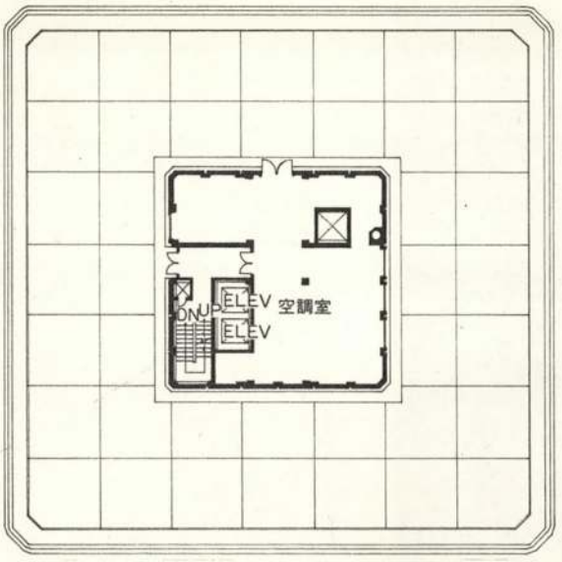
設計課長　土肥 耕一







別館屋上

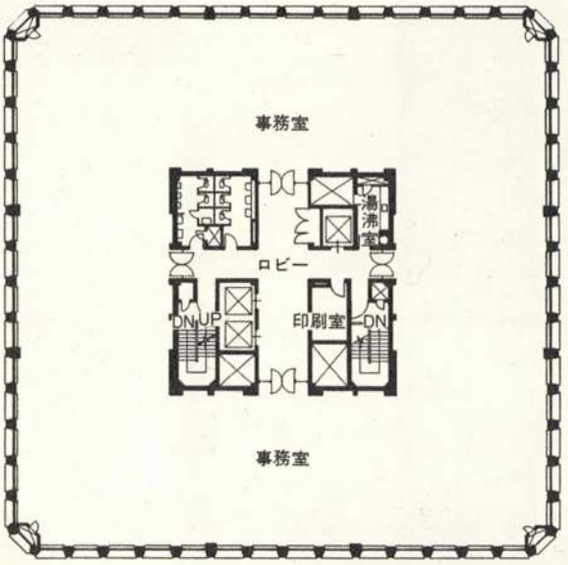


本館屋上

徳島県農協会館

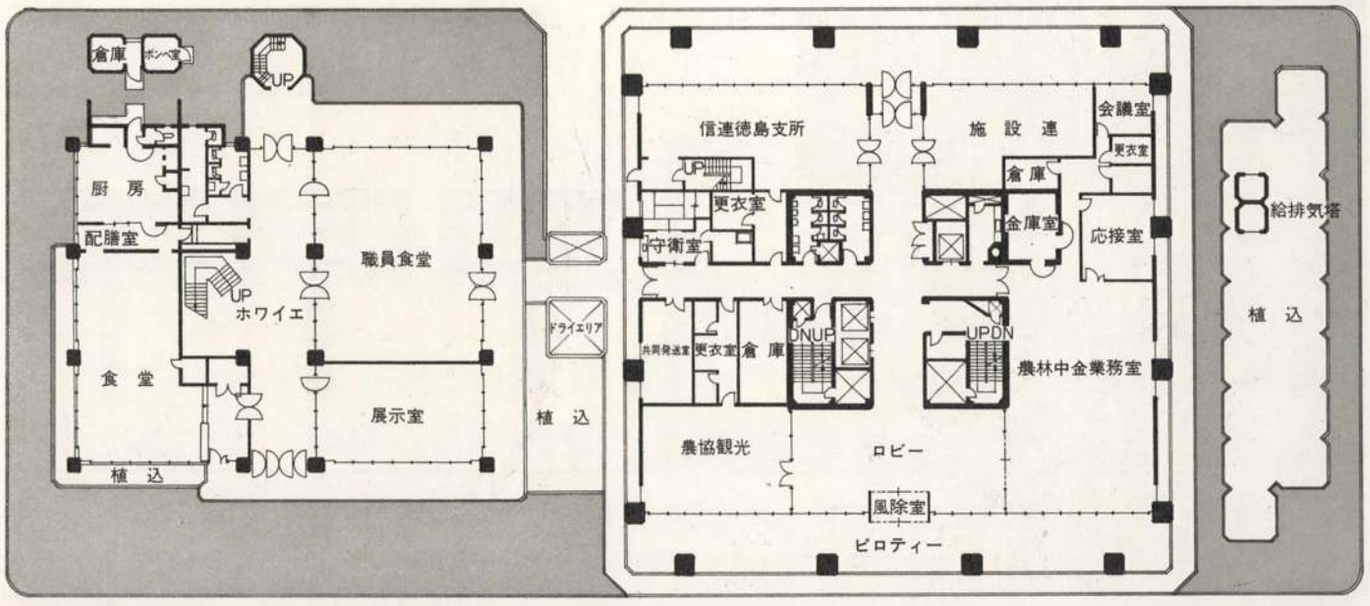
設計監理　ＫＫ東畑建築事務所
施　　工　西松建設ＫＫ四国支店
所 在 地　徳島市北佐古１番地
敷地面積　31,507m²

建物面積	本　　館	別　　館
建築面積	1,335m²	917m²
延 面 積	11,971m²	1,445m²
階　　数	地下１階 地上８階 塔屋２階	地上２階 塔屋１階
軒　　高	29.8m	9.3m
構　　造	ＲＣ造	ＲＣ造
工　　期	昭和44年10月 昭和45年12月	同　左
外　　部	磁器小口タイル	
仕 上 表	吹付タイル アルミ回転２重窓	同　左
内 部 床	ビニアスタイル	ビニールソフトタイル
巾　　木	プラスチック巾木 モルタルＶＰ塗	同　左
壁	槍　ＳＯＰ塗 モルタルペンキ塗り ビニールクロス貼り 練付ベニヤ貼り	同　左
天　　井	吸音岩綿板貼り ミクライト呼付	同　左



本館基準階平面図

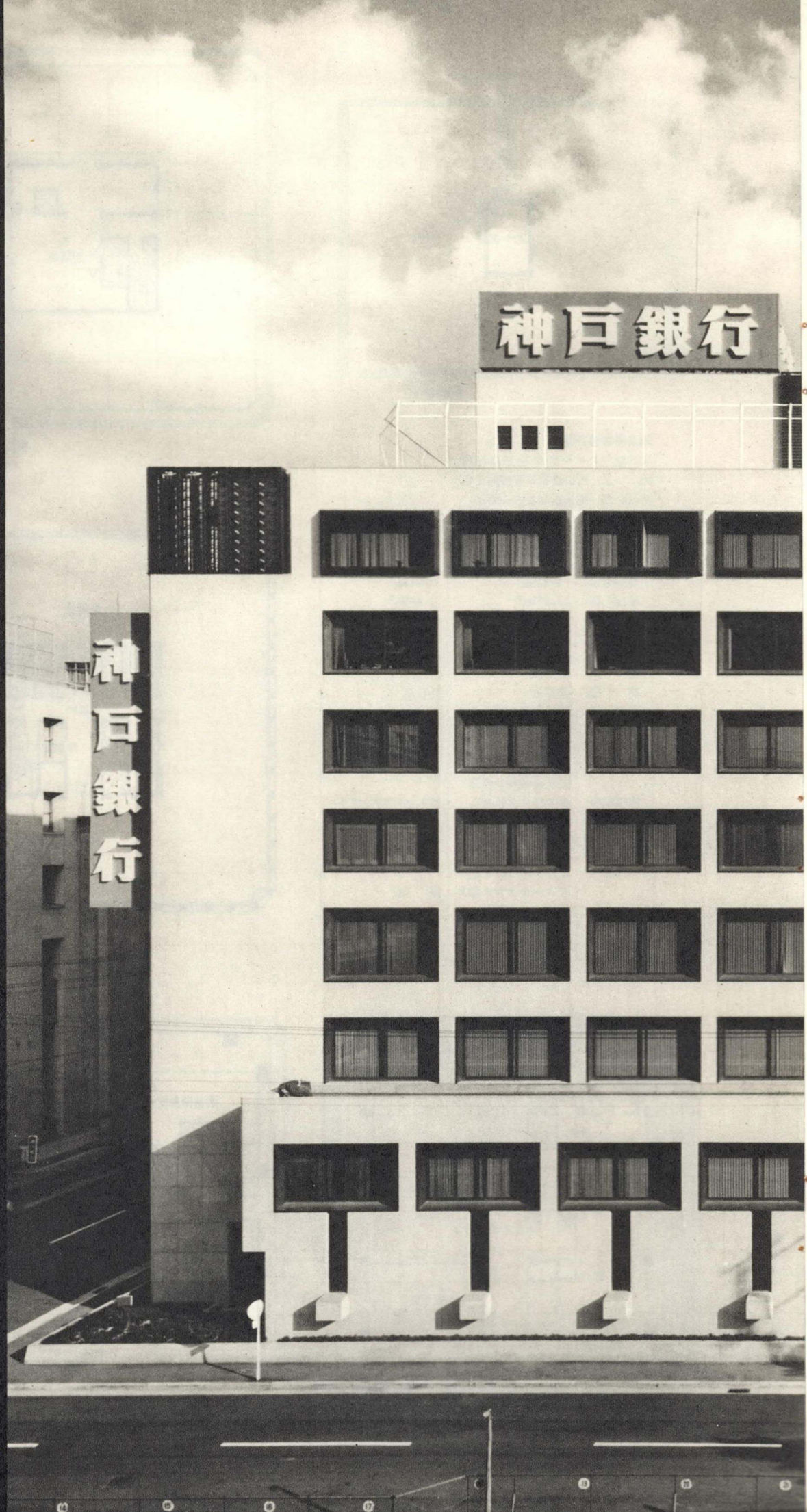
1：500



本館別館一階平面図

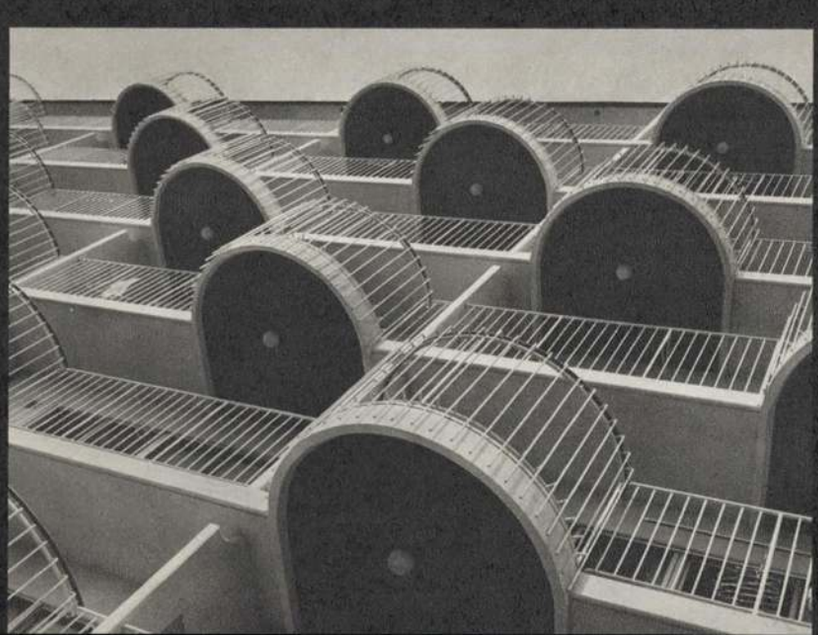
神戸銀行本店事務センター

設計監理　ＫＫ安井建築設計事務所
施　　工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　神戸市生田区播磨町21番地
建築面積　1,525.61m²
延 面 積　13,870.45m²
構造規模　鉄骨鉄筋コンクリート
　　地上８階、地下２階、塔屋２階
竣　　工　昭和45年８月




神戸銀行





イトーピア武庫之荘

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所在地　兵庫県尼崎市武庫之荘３丁目１番地
構造　鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
階数　地上７階
敷地面積　2,253.43㎡
建築面積　1,333.16㎡
延床面積　7,803.03㎡
分譲戸数　70戸
工期　（着工）昭和45年５月　（竣工）昭和46年２月

特集・企画と設計のプロセス

●「設計組織」を考えていくにあたって、どうしても欠かすことのできないのが、「企画」の機能と組織である。もうひとつの「実施設計」の機能と組織については、別の機会に論じることにして、ここでは、「企画」の機能の重要性とその組織形態について考察することにした。社会が複合化し、複合建築や地域開発の要求が複合化していくにつれ、「企画」の機能と組織形態も単純なものでなく複合化されてくるであろうが、その企画と設計とのかかわりあい、そのプロセスを追求してみようとしたものである。

総論●設計から企画へのプロセス／**巽和夫**

各論●官公庁における現行の企画設計方式／**三品哲夫**

企画会議方式―委員会について／**光安義光**

住宅公団の標準発注方式と団地設計／**青山克己**

開発プロジェクトと統合組織／**山中孔**

地域経済の展開に対応する開発方式／**山下隆**

設計から企画へのプロセス

巽　和夫

1. 設計から計画へ

建築教育においては，カリキュラムの上で設計製図に非常に多くの時間を与えている。これは工学部の他の学科からは奇異にみえるらしい。工学教育の改革において，専門分野の必修科目を基礎学（例えば機械工学では熱力学，流体力学，材料力学）にしぼっていこうとする全体の動きのなかで，ひとり建築のみが，技能教育ともおぼしき設計製図に多くの時間を割き，そのうえ，科目をしぼることも困難だと主張しているのだから，奇異にみえるのも止むを得ないかも知れない。そもそも建築学を工学の枠のなかにはめこむこと自体が，無理なのではあるが，その議論はともかくとして，建築設計が，機械などの工業製品と比較して特殊的であり，建築とならび称されることの多い土木施設と比較しても，かなりちがうことも確かのようである。

建築設計においては，設計図の作成それ自体が，設計行為の主要な過程であり，設計の質は設計者の個人的な技倆に大きく左右される。その技倆は，長年にわたる設計製図のトレーニングによって練磨されるのである。技倆の高さは，ある程度はトレーニングの時間の関数であるといってよいから，可能な限り，設計製図の時間を多くとり，教育年限を延長したいという希望を，設計教育担当者は常に抱いている。

しかし，建築家としての修業は，生涯を通じて終ることがないものだ，といった一般的な意味においてではなく，学校における基礎的な設計教育に時間がかかるというのは，あまり自慢できる話ではない。もし，建築設計理論が確立しているのであれば，その理論を教えることによって，技能的なトレーニングは，うんと軽減されるはずだからである。現在のところ，設計の理論化は，まだ低い水準にあるといわざるを得ない。もちろん，どのように理論化が進んだとしても，具体的な設計決定には，広い幅と多くの選択肢が用意されているであろうし，まして設計の造形的な個別性に高い価値が認められている建築においては，設計過程での設計図作成の重要性を大きく減ずることはないとは思われるが。

建築設計の理論化の程度は，まだ満足すべきものではないとはいえ，急速な進歩を遂げている。建築設計は，建築利用者の利用上の要求を建築空間に組織だてる部分と，空間組織を建築物として実体化する部分とに分けることができる。これらのうち，前者については，戦前の住宅のすまい方の研究から始まり，戦後は対象が教育施設，医療施設等，各種の公共施設に拡げられ，用途別建築型や地域施設の利用要求，利用方式，平面構成，施設規模の研究として発展してきている。後者については，研究の発展は，最近のことに属する。空間の実体化は，構法，材料，寸法によって行なわれるが，構法は一般構造からビルディング・エレメント論へ，材料は材料設計法に，寸法はモデュラーコーディネーションとして，それぞれ体系化が進められつつある。

こうした建築設計における理論化の重要な意義は，それぞれの理論が独自の法則に沿って発展し，その成果が建築設計の水準を向上させることであり，経験的で技能的な建築設計の客観化，普遍化を計るところにあろう。設計に論理的な部分ができると，その部分は設計図作成とは切離されて，「計画」として機能することになる。例えば，平面構成の設計において，拠るべき理論がない場合には，過去の実例を参考にして，実際に図形を画いて試行錯誤を繰返しながら，設計を進めるほかはないが，平面構成理論は，図面の作成に先立って，平面構成に概念的な解を与えることができる。これが「計画」というものである。設計分野における理論化は「設計計画」を誕生させたが，同様にして，構法，材料，寸法における理論化は，次第に「構法計画」「材料計画」「寸法計画」を可能にしていくであろう。

構造や設備の分野では，早くから理論化や技術化が進みながら，最近まで「構造計画」や「設備計画」の形として育たなかった。それにはそれだけの理由がある。

構造設計は，機能的な要求に基づいて構成された建築物が与えられ，その安全性の検討と安全性を保証するための設計に限定されていた。設備設計は，空間構成や構造が決定された後，設備をはめ込んでいくという考え方で，永らく「附帯設備」と呼びならわされていたように，明らかに従属的な立場に置かれていた。しかし，今日，構造においては，技術の進歩によって出現した代替的な構造方法の選択や，空間構成への構造技術の側からの提案が可能になり，設備については，建築に対する性能要求を空間の効率的な利用要求の向上によって，建築費にしめる設備費の割合は飛躍的に上昇し，単なる設備機器のレイアウトではなく，建築空間設計の基本にまで関与する必要が生まれてきている。構造計画と設備計画は，現在では常識化するまでになっている。

これらのほかに，今後，計画技術として発展していくと予想されるものとして，「コストプラニング」が挙げられる。建築費は，これまで「積算」という実務として，設計の費用的結果を単純に集計整理するに止まっていたが，これを費用の配分計画として，技術化することが進められている。建築を営利目的に利用する立場においては，建築費は建築経営にかかわる要素であるから，コストプランニングは単に建築設計における計画技術であるに止まらず，後に述べる「企画」の問題でもあるわけである。

以上，建築設計における計画化について述べてきたところを整理すると次のごとくである。

1. 建築設計過程は，設計図作成という行為を主体とする一体的な段階から，要求把握，空間構成，構造設計，材料・寸法設計，設備設計，積算といった細かい設計部門に分断され，専門化をとげ，それぞれ一定の理論的発展をみている。
2. このことによって，各専門設計部門は計画技術化を実現し，各設計部門が支配と従属の関係において，時間的順序にならぶのではなく，いわば同時的で対等の関係に位置づけられるようになっている。
3. 現在単なる実務でしかない設計部門も，研究が進み，理論化されてくれば，計画技術化する可能性がある。
4. 今後，建築設計に求められる研究は，各専門設計部門の理論化をいっそう深化し拡充することとともに，同次元にならぶそれぞれ独自の論理をもつ諸専門計画をどのように総合化するかという設計方法論を確立することであろう。

2. 生産が設計に与える影響

建築においては，一般にまず設計が行なわれ，ついでその設計に基づいて施工が進められる。施工は設計を与えられた条件として受取り，設計通り忠実に実現するのが仕事であるとされている。施工は設計に従属的であるといえる。生産組織についてみても，設計主体と施工主体とは別であることが多い。従来，このシステムで大きな不都合がなかったのは，次の理由による。

1. 建築は一品注文生産であって，特定の建築要求に合致させる必要と，個性的な表現が好まれるところから，個別性がとくに重視される。つまり，「どんな物をつくるか」が極度に優先される。
2. 施工は，体系性のない実務であって，独自の理論を持たない。設計に対する適応性に富んでいる。これは，裏返していえば，施工が設計と分離されており，設計へのフレキシブルな適応が常に求められていることからくる性格でもある。このことは，施工側に開かれている基礎工事については多くの施工者が特許工法を持っている事実からもうかがえる。
3. これまでのどのような設計も，大きな技術開発をともなうことなしに施工が可能であった。これも裏返していえば，設計が意識的かどうかは別として，在来的な施工を前提として行なってきたからに

ほかならない。設計は，目的としての建築物それ自身を決定するだけでなく，施工方法をも大半決定づけてしまう力を持っているからである。

しかしながら，設計と施工のこのような関係は，次の2つのタイプのプロジェクトにおいて変化を余儀なくされている。

第1のタイプは，在来的な施工を前提とした設計の許容範囲を越えた内容が求められる場合である。この場合，設計も施工も未知であって，ともに開発を必要とするのであり，設計が施工を一方的に規定する関係ではなく，新しい実現の可能性を追求して，相互に交流し合う形になる。施工は，もはやバラバラな実務の寄せ集めではなく，論理的な体系性を持ち始める。施工が設計を受けてスタートするのではなく，「施工計画」のような形で計画技術化され，設計と同次元で交流するところがここで重要な点である。このタイプのプロジェクトの典型例は，三井霞ケ関ビルである。このわが国最初の超高層ビル建設に当っては，数々の技術開発が行なわれた。材料については，厚型H型鋼，人工軽量骨材，施工については，地下堀削工法，鉄骨建方工事，揚重機械設備，抗打機械の開発が，また生産過程全体にわたっては，標準化・単純化・専門化，プレハブ化，コンテナリゼーションが進められた。これらのなかには，設計とのつながりの薄いものもあるが，その多くは，設計上の決定に重要な影響を与えている。

第2のタイプは，建築，とくに住宅の工業生産にともなうものである。住宅の工業生産は，一品現場生産におけるオープンでフレキシブルな生産方法と異って，適当な工場設備を必要とし，工業製品の生産方法のルールに従わざるを得ない。コンクリート・プレハブは，在来の壁構造をほぼそのまま壁板や床板に分解したものであり，板の製造設備もシンプルなものである。しかし，このようにシンプルなプレハブ化を実現するだけでも，板の製造と現場組立てにはそれなりの技術的特性が生ずるし，その特性は住宅およびコンクリート板の設計に反映されなければならないのである。住宅のプレハブリケーションが，在来工法によって規定された在来的な住宅概念から離れて，生産面で独自の発展方向をとるとするならば，設計は，生産方法や生産設備にいっそう強い影響を受けざるを得ないであろう。

工業設計においては，設計の働きの面から，機能設計，意匠設計，生産設計の分類が行なわれている。機能設計とは，製品の目的にかなった性能をつくりだすための材料・構造および運動の決定であり，意匠設計は，製品に意匠的な形態を与える設計であり，また生産設計は，機能設計の内容をもっとも経済的にしかも容易に生産できるように調整するものであるとされている。建築設計においては，基本設計，実施設計という設計段階分類や，前節で述べたような建築設計（狭義），構造設計，設備設計などの専門別分類があるが，機能・意匠・生産という機能別分類はないといえる。これは，建築設計が機械設計などとは異って，例えば，機能と意匠を分離することがかえってむつかしいといったところに原因があるだろう。機能設計と意匠設計とは，建築設計に相当する内容を含んでいるが，生産設計は建築設計には見出せないものである。今後，開発が活発に進められると予想される工業化住宅のシステム設計は，工業設計と類似するところも多いから，工業設計方法の住宅への応用が試みられなければなるまい。

生産が設計に強い影響を与えるプロジェクトは，これまでのところ，そう多くはない。新規の大規模な技術開発を伴うような大プロジェクトや工業化住宅に限られているといってよい。大多数の建築は，設計情報として得られる範囲のなかで設計が進められている。先進的なプロジェクトが開発した生産情報は，やがて設計情報として還元され，設計者の設計選択の幅を拡大することになるだろう。生産が設計におよぼす影響の形態，範囲，大きさが今後どのような発展をみせるかは，すこぶる興味が持たれるところである。

3. 計画から企画へ

建築家からみた最近の建築主の変化として挙げられるものに，建築企画段階への建築家の協力要請があるといわれる。「企画」が「計画」と区別される点は，「計画」があくまで建築設計段階の問題であるのに対して，「企画」はそれ以前の，建築主が建築物を利用しての何らかの企業経営目的を達成するための計画を意味している。年間に建設される建築物のうち，営利目的をもって企画されるものは，住宅・非住宅合せて約半数と推定される。それらのなかでも，建築物が生産手段として企画される工場建築と，スペースの賃貸・分譲経営の対象として企画される事務所建築とは代表的なものである。工場建築は，生産工程に規定されるレイアウトに従属的であり，事務所建築は，もっぱら経営計算に基づいて企画が行なわれる。企画は，公共建築のような非営利的な建築においても存在する。しかし，営利建築の場合とは企画の内容は自ら異っている。

アメリカの場合について紹介されているところによると*，工場の場合は，インダストリアル・エンジニヤとよばれる企画の専門家がおり，投資の対象としての生産体制・作業工程の研究から，工場全体の配置計画まで担当する。事務所の場合は，コンサルティング・エンジニヤで事務能率という立場から企画をたて，机の配列から規模の算定まで取扱う。公共建築物の場合は，企画の専門家ではなく，施設に関係する各界の専門家からなる臨時に編成される企画委員会が活動し，建築家もこれに参加する。インダストリアル・エンジニヤあるいはコンサルタント・エンジニヤとよばれる企画の専門家は，ほとんど建築の出身者ではなく，建築主から直接，企画立案を依頼され，建築主側に立って，その委任代理人のような立場で建築家と折衝することが多いといわれる。

いっぽう，アメリカの建築家協会は，企画業務が建築家の重要な業務になりつつあるとして，その啓蒙にのり出している。通常の設計監理業務（Basic Service）に対して，別表に示すような総合業務（Comprehensive Service）を提唱している。アメリカの建築家は，わが国とは異ってもっぱら「総合」の教育しか受けておらず，建築家の職能もかなり幅の限定されたものであるはずであるが，総合建築業務には，多くの分析的な業務が含まれているばかりでなく，促進業務のような従来の建築家業務とは異質なものも見受けられる。このことは，アメリカにおいて，①建築企画業務の需要が増えてきており，②建築の高度工業化によって設計業務が相対的に減少する可能性があり，③企画の領域にまで職能を拡げなければ，パッケージディール

総合建築業務の概要

I　プロジェクト分析業務
- A．実現性検討
- B．財政分析
- C．立地・敷地分析
- D．オペレーショナルプログラミング
- E．建築プログラミング

II　促進業務
- A．土地建物買収
- B．プロジェクトの財源確保
- C．促進的設計と計画
- D．広　　報
- E．コミュニケーション

III 設計・計画業務
- A．オペレーショナルな設計・計画
- B．建築の設計・計画

IV 建設業務
- A．入札・契約
- B．監理・監督
- C．工費計算
- D．建設マネージメント
- E．建設後業務

V　支援業務
- A．支援設計業務
- B．特別コンサルタント業務

VI 関連業務
- A．建築教育
- B．産業コンサルテーション
- C．研究・試験
- D．製品設計
- E．建築グラフィック
- F．プレファブリケーション

AIA：Comprehensive Architectural Services による。

等による侵しょくの恐れがある，などの事情からきていることを推測させる。

ところで，わが国においても，建築企画業務が重要になってきており，建築家の参加が求められるようになってきているのは，いったいどのような理由によるのであろうか。

第1の理由として，プロジェクトの大型化と複雑化が挙げられよう。大規模プロジェクトには関係する主体が多く，それらの間の調整が必要であり，また必然的に長期間にわたるから，計画はプログラミングを内部に組込んだ動態的なものとなる。ニュータウン開発は，こうした大規模プロジェクトの代表的なものである。そのなかで，例えば，住宅建設戸数の時間的な配分についてみても，宅地経営や共同施設経営の観点からは，短期に集中することが望ましく，人口構成の適正な形成とか，居住者の所得の成長に見合った住宅規模と質の向上を実現するという観点からは，むしろ長期にわたることが望ましい，といったことがある。さらに，ニュータウンのプロジェクトを住宅産業システム開発の機会としてとらえるのであれば，ニュータウン開発は住宅産業計画をも含むこととなり，企画はいっそう複雑化せざるを得ない**。

第2に，単体の建築経営も都市とのかかわり合いを避けられなくなっていることである。高密化しつつある都市においては，建築活動は都市環境に重大な影響をおよぼすのであり，いっぽうビル経営の側にとっても，単体として自分の敷地内だけの条件分析だけでは，建築企画の意志決定が行なえなくなっている***。営利を目的とする不動産の利用は増加していると思われるが，遊休土地の利用方法や遊休資金の不動産投資の方法については，専門家の協力を得なくては困難になっている。

第3に，上記とも関連するが，社会・経済の制度や機構が複雑化し流動化しているから，それらを有効に利用するためにも専門家の助力を必要とする。例えば，利用するのに複雑な条件と手続きを要する補助金や融資の制度を利用し，あるいは，税制を理解して税負担を軽減しようとするためには，やはり一定の知識と経験を持つ専門家をわずらわさなければならない。

第4に，建築生産の工業化と技術革新の影響が指摘されよう。工業化と技術革新は，生産方法に多くのバリエーションをもたらし，選択の幅を拡大することによって，設計に大きな影響を与えているが，影響は設計のみに止まらない。超高層ビルの実現は，従来のビル経営に新しい可能性を拓く。工業化や技術革新をも企画の内容に含みうるのは，大規模プロジェクトにして始めてできることであるが，同時に工業化や技術革新の急速な発展が，そもそもこうした企画に向かわせる背景となっている。工業化や技術革新は，超高層ビルのような建築企画のみならず，生産企画の需要をも生みだした。プレハブ住宅がそのよい例である。ここでは住宅が商品化され，大量の生産・販売が行なわれなければならないから，需要計画，商品化計画，生産計画，販売計画など，製造販売業で用いられている計画原理を大幅に導入する必要にせまられている。

以上述べてきたところから，建築生産をめぐって，企画がますます重要な意味を持ちつつあること，それとともに，企画の性格が多様化しつつあることが理解されよう。企画の性格を整理してみると，従来の建築企画のほかに，社会的企画（ニュータウン，再開発など），産業的企画（住宅産業など），生産的企画（プレハブ住宅生産など），などが新しいものである。建築生産は，単体の個別企画のなかに終始することは許されなくなっており，好むかどうかを問わず，社会的・戦略的な企画に巻込まれざるを得なくなっている。企画スケールが巨大であるだけに，企画がその最終的な結果としての建築物を通じて，需要者，利用者，住民に与える影響は非常に大きいものがある。社会的・戦略的な企画は，需要者，利用者，住民の立場からの何らかのチェックを受けるべきであろうし，さらに積極的には，住民の立場から，地域的な建築企画を進めることが望まれてこよう。地方自治体の建築企画は，現在のところ，限られた種類と数の行政施設について行なわれているに過ぎないが，将来は，住民の広汎な生活空間要求を発掘し，これを建築物に具体化していく仕事へ発展させられなければならない。

編集部からは，「企画と設計のプロセス」というテーマをいただいたが，筆者は，この問題を，設計から計画へ，さらに企画へと重心が移動していくプロセスとしてとらえ直して書いてみた次第である。

註）* 穂積信夫「海外の計画者について」建築雑誌 1963.3
** 古川修「工事計画と建築生産」建築と社会 1970.9
*** 研究協議会「都市再開発の中のビル経営」建築雑誌 1971.2

（たつみ かずお 京都大学教授・工博）

官公庁における現行の企画設計方式

三　品　哲　夫

1. はじめに

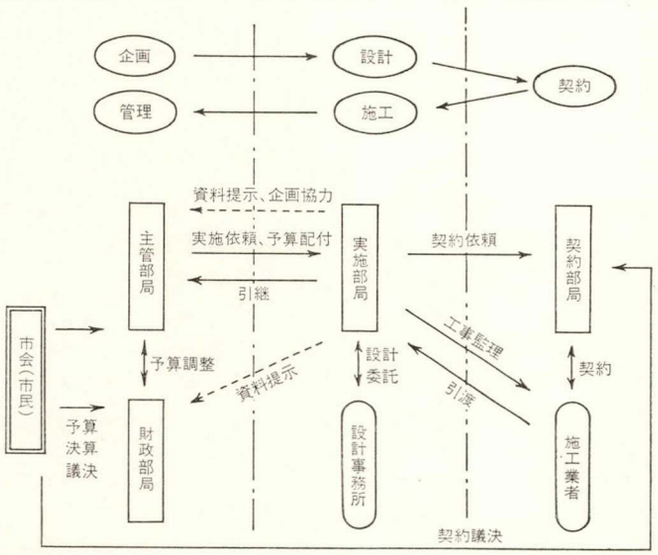
標題に就ての筆者へのご依頼の主旨は，官公庁での建築企画立案から設計に至るまでのノーマルなもしくはティピカルなフォームを紹介することのほかに，設計事務所がその実施設計を委託された場合の役所側との相互関係に就ての諸問題に触れることも期待されてのことと考える。

これに関しては，本誌1970年8月号で採り上げられた「建築家の課題と責任」に通じる問題でもあり，また，設計組織論としても種々論議の対象となるべきものであるが，官公庁側からみれば，その技術職員の責任または職分の問題でもある。個々の技術者としてではなく，グループとしての官公庁の技術職員のシェアの問題は，対外的には委託設計事務所との設計責任分担をめぐっての建築界全般にかかわる問題点を有するほかに，対内的に，施主ともいうべき市民社会――直接的には構想立案部局（主管部局と称している）――に対する行政責任の問題を包蔵している。以下，これらに関して紹介を兼ねていささか私見を述べることとしたい。

2. 現行の企画設計のフロー

大阪市の営繕事業の場合を例にとれば，その計画立案から予算措置を経て設計施工に至るまでの大体の流れは，図に示すとおりである。あえてこの図の解説をする要もないので省略させていただくが，住宅事業の場合は，図における“主管部局”と“実施部局”とが同一であると思っていただければよく，また，他の官公庁においてもこれと大同小異であろうと思われる。

いうまでもなく，官公庁における技術職員は図の“実施部局”にほとんど所属しているが，この図をご覧戴いて直ちに判ることは，企画部門と実施部門との責任が官公庁の機構としては現在は分立されていることである。換言すれば，技術職員をかかえている実施部局は，事業部局（主管部局）での行政目的に基づき構想立案された事業計画に対し，技術的な提案または資料提示することはあっても，その事業計画を技術的に実現する責を負ってはいるものの，事業実施についての企画（予算を含め）は既定のものとして先決されている性格のものである。ここに行政目的の中に占める技術の在り方についての第一の問題が生ずる。これは，一般営繕事業のみならず，学校，住宅建設事業においても同質である。



第二の問題は，実施部局内における問題であるが，設計委託を行なった場合の官公庁の技術側に対する設計事務所の位置づけの点である。前図で見る限り，委託を受けた設計事務所は実施部局への補助機関としての性格を有しているわけであるが，これを建築界全般の問題として眺めた場合，公共施設事業に対する民間建築界の占める立場はそのようなものであるかどうかという疑問も生ずるであろう。

いう迄もなく，公共施設は公共の利益に資するための施設，すなわち市民社会のための施設である。したがって，一般建築界において論議されるところの施主に対する建築家の責任というものは，公共建築においては，官公庁に所属する技術職員もこれに協力する民間技術者も，帰するところは市民社会に対して負われるべきであるとするならば，これらの問題はすべて，「行政」というものの正しい理解に立って考えられねばならないであろう。

この意味で，私達官公庁に所属する技術者も，民間の建築技術者の方々も，公共建築における企画設計方式について同一基盤に立ってその在り方を考えるべきであり，これは役所対企業あるいは事務屋対技術屋という角度での問題ではないと思うのである。

3. 官公庁の建築企画業務

公共建物を企画する段階において，従来のいわゆる役人が使いまたは市民に使わせるための立場から，市民社会が使いもしくは市民の生活環境を改善向上するための建物という立場に改めねばならないことは，現在では観念的には常識化している。しかし実際には，このような行政目的が明確に事務的，技術的に総合されて意識されることは難しく，ともすれば事業母体（主管部局）において事務的に想定された構想なるものを実施部局で技術的に具体化するという現在の行政機構においては，この二者間の断層は，建築計画作業を物的ないしは純工学的計画の立場に止め置いて，社会的または人間的な立場（誰が，何のために，どのように使われるか）でその建物の計画目的を考える目を失わしめる結果をもたらしがちになる。

公共建物が一般の経済活動上の建物とは異なる使命とライフを持つ重要な都市施設，地域施設として都市的スケールで総合的にその計画が持たれなければならないだけに，私達官公庁の技術職員は公務員としても建築技術者としても大いに反省自覚しなければならないと考えるものである。ここで，いささか内輪めいたことではあるが，大阪市における建築計画業務として今後精力的に努力を傾けねばならないと考えている事項を列記してみることにする。

(1) 公共施設の立地，規模などについての総合的な計画策定をたて得る体制を確立すること。たとえば，住宅団地計画と道路，公園，下水などの施設および近隣施設計画との関係，都市再開発事業における住宅計画の在り方，市街地の高度利用または施設共同化のための方策

(2) 諸施設の適正規模，水準，機能，工費などに関する基礎的資料を充実すること。各施設の機能実態および維持管理状況の客観的は握，市民生活環境水準の確保，改善のための具体的方策

(3) 建築生産近代化，合理化のための生産基盤との総合的，有機的連けいを図ること。とくに住宅，学校などの設計標準化の充実，部材規格化工場生産の飛躍的増大による公共建築生産近代化のための方策

4. 官公庁の建築設計業務

予算および基本計画が確定すると，建築工事担当部局としての技術的作業の段階に入るわけであるが，官公庁における設計業務においては昨今は次に述べるような種々の問題をかかえている。

(1) 一部の大官公庁を除いては，前に述べた基本計画に関する専門部門を持たないために，建築企画として行政的に十分に消化しきれずに設計段階に入るものが多い。

(2) 官公庁の事業は通常単年度予算としてその執行を義務づけられており（2年度以上にわたる場合には債務負担額として予算上議会の議決を要する），十分な設計期間が与えられていない。

(3) 都市の再開発整備の推進と相まって，都市施設としても建築機能の複雑化，高度化の傾向が進み，かつ，設計作業としても，従来の蓄積された技術のみでは十分でなく，市民施設としての新しい設計姿勢と機能追究が要求されている。

(4) 事業量は各官公庁とも年々急増の傾向を示しているにもかかわらず，技術人員の充足は質的，量的に必ずしも十分ではない。

かつては建築界をリードしたといわれる官公庁の設計技術陣も，このような状況下ではその水準の向上を期待することはなかなか難しく，他方，民間施工業界での著しい技術開発，設計コンサルタントの進出をみるにおよんでは，官公庁の設計組織の在り方についても一大転機を迫られているといってもよいであろう。

とくに設計事務所との関係は当面の第一の問題であるが，これは後述に譲ることとして，第二点は，人員不足，業務量増加に対処するための省力化，業務合理化のための方策である。住宅，学校などの比較的規格化しやすいものの標準化から始まり，設計基準の整備，部材の規格化が各官公庁において進められている段階であるが，ここで問題になるのは，部材生産基盤側からみた場合，各官公庁単位のみでの規格化では決して生産近代化に到達しないので広域的取組み方が必要であるということと，他方，安易な規格化の推進は設計の沈滞化，固定化を招き，逆行の懸念があるということである。

5. 設計委託に関する問題点

次の表は，昭和45年度における京阪神府県市の営繕工事量と，そのうち外部委託に係るものの工事量とを対比したものである。

	営繕工事費（件数）	左のうち委託したものの工事費(件数)	
大阪府	184.8億円（350件）	設計 77.1億円	工事 59.6億円
兵庫県	101.7（202）	設計工事	47.4(59)
京都府	41.3（43）	設計 9.8(5)	工事 20.6(26)
大阪市	110.1（232）		48.2(27)
神戸市	53.8（304）		19.5(40)

（注）昭和44年度繰越額及び，昭和46年度以降債務負担額を含む工事費には，学校工事を含み住宅関係工事を除く

これによると，平均して工事費について30～40%程度を外部委託しているが，件数についての割合を上廻っているのは大規模工事の外注される率の高いことによる。

今後は監理委託，設計委託ともに年々急増するであろうことはほぼ間違いのないところである。このような実態になると，発生時点から従来設計補助機関として考えられてきた設計委託というものを官公庁の設計業務方式自体の問題として考えてみなければならない。

(1) まず第一に，設計責任の問題である。かしが発見された場合の補償義務については，各官公庁とも設計委託契約書には明記してはいるが，これを適用した例は未だになく，また一方，官公庁側としても地方自治法上設計委託業務に伴なう検査責任が課せられており，必ずしも全面的に受託者側の設計責任を追うことも難しいわけであり，その結果，設計委託を行なってもそのチェックに要する時間と労力は相当な量に達する。この点が設計委託料の算定方法についても基本的に官公庁側が意を用いているところであるが，いずれにしてもはなはだスマートさを欠いていることは否めない。しかし，これは建築家に対する保証制度が備わっていないことにも因を有するものであり，将来は，設計事務所側の技術的責任意識を全面的に前提とした委託方式というものが要請されてくる方向にあるのではないかと考える。

(2) 第二の問題は，委託契約の方式についてである。どの官公庁でも内部的に選定委員会を設けて選定された設計事務所と特名随意契約を行なっているが，官公庁の契約としては，随意契約は競争性を持たないもの，または当該契約相手側と契約することがその官公庁に有利となる場合に限られるというのが地方自治法上の原則であるために，従来の契約方法について一部の批判が出ているのは事実であり，すでに指名競争入札制度に変更したところもある位である。さらに最近のように設計事務所が数多くなると，何らかの対処を要する時期にきているようであるが，もともと設計委託についてはアーキテクトとしてメンタルワークに依存するものと，ドラフターとして単なるハンドワークのみを委託するものとがあり，この後者については「競争性がない」とはいい難いので，将来としては，設計委託の性格によって二者を分離した新しい契約方式が必要ではないかと考えている。

(3) 第三点は，実施設計のみを委託する場合，すでに用意された基本設計または設計基準に対する受託者側の受取り方の問題である。一般に基本設計は官公庁側で行なうという方針が採られているようであるが，受託者側からみた場合，これに対して卒直に批判をし，また代案を提示する必要を感じたとき，無批判に提示されたものをう呑みすることは問題であるが，むしろこれは官公庁側に与えられるべき課題であろう。官公庁施設の基本設計が建築工学的または自然科学的要素のみからではなく，これらを含めた行政需要に対する解答として提示されるべきものであるとするならば，これに立脚した受託者側からの提言は役所側も卒直にこれを受け入れねばならないであろう。受託者側に必要とされるのは，施主の一員として市民社会意識に基づいて設計業務に参画するという姿勢ではなかろうか。

6. 官公庁における技術職員の立場

過去における官公庁の技術職員は，従来のいわゆる設計事務所と同じ性格のものが役所内にかかえられていたという形であったと思われるが，そこに建築タレントとしての独特のタイプが作られ，技術的にも業界をリードする役割を受持っていた時代もあったと考えられる。ところが，現在はまず (A)行政目的に奉仕するための技術知識を有する行政官であることが要請され，あわせて (B)一技術家，専門家としての信頼もしくは期待の対象として事務職員に対置されている。この(B)の面は，その裏に民間技術に対する一種の不信感を伴なっているともいえるが，最近のように業務が多様化，多量化し，また民間専門技術が高度化するにつれ，官公庁内での技術職員の立場としては(A)の面が(B)に比し非常に濃くなってきたといえるようである。

このようになると，官公庁の技術者の辿るべき道は行政官としての計画と検査に集約されてくるわけであり，したがって民間コンサルタントとのシェアの問題もかなり明確になってくると思われるが，この場合従来のような「委託」という範疇を超えて公共業務に「参画」するという性格になってくるであろう。さらに最近は建築界の都市的意識の向上に伴ない，地域開発，都市的プロジェクトに積極的に参画し提案をするという例も生じてくると，なおさらのことわれわれ官公庁の技術者は何をすべきやということになるわけである。

官公庁の内部には未だ技術水準の低下の防止，タレントの養成を望む声も残っており，今や公共事業のプロジェクターないしはプロジェクトリーダーとしての途を採るべきか，またはタレントとしてエンプロイー化すべきかの選択を迫られているといえよう。いずれにしても，これは技術者個々の問題としてではなく，技術グループとして考えなければならないことである。

7. おわりに

以上，現在の官公庁における建築企画設計業務を通じて発生している諸問題を挙げたわけであるが，これらは要するに，役所側と民間側との社会的責任分担意識が確立されなければその回答は得られないであろうし，その時点で建築家としての課題と責任の問題も明らかにされるであろう。

単に施主と企業との関係においてではなく，建築家としてそれぞれその所属するグループにありながらも，共通の問題として考えてみたいものであるが，いずれにしても，官公庁側は都市的プロジェクターとしての事業計画と執行の責任を負い，民間技術者は，それに対する技術資料の提供とともにその実施面において技術的に責務を受持つというのが，今後の方向ではなかろうかと私は考えるものである。

（みしな てつお 大阪市建築局建築部企画課長）

兵庫県における企画会議方式 —委員会について

光 安 義 光

近年，建築物の機能は高密度を要求されていることは，社会構造の発展に伴っている事実である。ここには，建築物のみの解決で終結できず，それを取巻く諸問題，科学，情報，交通，人間など各要素による環境の交錯する現象の整理と追求から発展する社会を想定しなければならない。

このような状態の中で，官庁が企画を推進し，法的事項などを含めて，解明していく方式として，○○審議会，△△建設委員会を設けるのである。実例として2，3をあげて説明をしよう。

☆兵庫県庁舎

建設に対しては，知事のし問委員として，建築専門家で置塩，尾崎，村野，大江の著名建築家と伴神大教授で構成，それに建設事務所の顧問として，その界の専門教授，計画，都市計画，構造計画などそれぞれお願いし，かつ県会議員の各派幹事長と知事，副知事による連絡協議会を通して，実現へと進められ，10年の計画として定着されたわけである。

☆美 術 館

兵庫県立美術館建設の要望は数十年来続き，やっと実現することになり，昭和41年に委員会ができて45年10月に開館したのである。

「兵庫県立美術館建設委員会要綱」を作り，趣旨，目的，構成，役員，会議，事務局，補則とから成り，これを41．5．25より施行したものである。

委員について列記すると次のごとくなる。

委員氏名	備考
阪本 勝	委員長，学識経験者，前知事
中林寅一	副委員長，県会議員
朝倉斯道	学識経験者
浅田長平	神戸商工会議所会頭
安東聖空	書作家
今泉篤男	国立近代美術館長（京都）
小磯良平	画家，東京芸大教授
小林芳夫	兵庫県教育委員長
坂井時忠	兵庫県副知事
宮崎辰雄	神戸市助役
村野藤吾	日本芸術院会員
望月信成	美術評論家

事務局として，兵庫県教育長の下に，次長，幹事，係員の12人で，資料の収集，事務手続きを行なうものである。

本委員会の審議は前後7回，また敷地に関する小委員会は5回開催された。その間，委員は2班に分れ7カ所の美術館の視察を行ない，慎重に審議された結果を委員長は纏め報告書とし，42．7．20提出されたのである。その中の主な部分を述べると次のごとくなる。

1. 性格について

本美術館は，近代美術館として次のような性格をもち，郷土色豊かな，特色ある美術館であることが望ましい。

（1）明治中期以降の絵画，彫刻，工芸，書，写真，デザインなどの美術作品を主体とした，いわゆる近代美術館とする。

（2）作品展示については，収蔵品を計画的に常時展示する「常設展示」と，借用作品および美術団体または一般個人の作品を計画的に展示する「企画展示」の二本だてとする。

（3）美術に関する資料の収集，作品の保存，調査研究，普及活動などを行なう。

2. 規模・構造などについて

本県の現在および将来を見通し，諸般の要望にこたえ得るかなりの規模であるとともに，近代的な諸設備を完備して，利用しやすい美術館であることが望ましい。とくに，下記の諸点にじゅうぶんの配慮を希望する。

（1）展示場は，館内，館外（屋外展示場）を通じて，じゅうぶんの広さと，行き届いた配慮が必要である。とくに，採光については格段の研究を望む。

（2）収蔵庫，荷解場，陳列予備室，修理工作室など，作品の保管ならびに取扱いに要する設備を完備することが必要である。

（3）資料室，研究室，講堂など研究，普及活動などに必要な施設，設備にもじゅうぶんの配慮を望みたい。

（4）運営上必要な事務室（館長室，事務室，応接室その他）機械室，休憩室などの配慮を望みたい。

（5）駐車場をじゅうぶんに考慮するとともに，周囲の環境を生かし，全体として来館者の円滑な動線処理ができるよう配慮すべきである。

（6）周辺については，美術館にふさわしい環境整備に努力されたい。

3. 建設地について

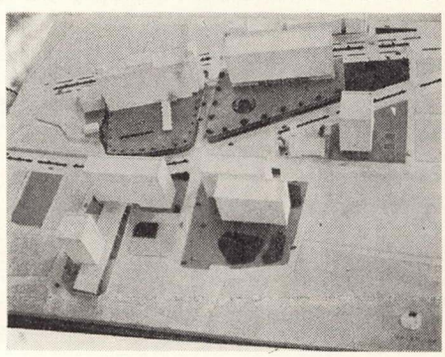
（1）候補地（略）

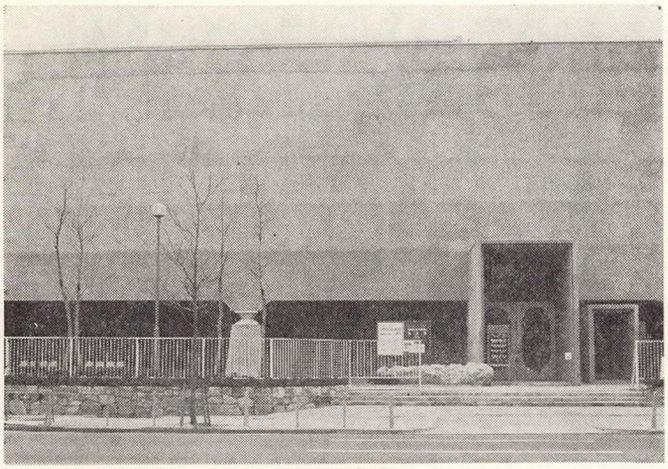
（2）選定地（略）

附，所要室面積表（試案）（略）

以 上

建物の構造，規模，性格について非常に真剣に討議が重ねられ，全国府県の中で，最後，最新の展示場となることを希望されたのである。各





兵庫県立近代美術館
設計—村野藤吾，兵庫県建築部営繕課，和光建築事務所
施工—戸田建設株式会社
写真—門内秀裕

委員の顔触れも，それぞれ充分な資格を具えた方々が，終始快く熱心に参加され，事務局の幹事からも意見が開陳され，交流が行なわれた。

建築の性格づけは設計を進める事務局としては，非常に重要であり，幹事の意見も検討をしてもらい，その間に各委員のイメージも浮ぼりにされてきたのである。

現代における芸術作品の分野は多面，多岐であり，重量物，ハプニング期待のもの，電気利用，構築物などとはなはだ異様である。

展示についても，その目的意図は？ となると，企画に際し，その思想，意識が市民に訴えるものが必要であり，作品以外に，今のこの展示が意義があるとするのである。

位置となると，特別なところをというより，市民の生活構造，生活時間帯の中に組込める位置であることが望ましい。たとえば，サラリーマンが昼休みとか，帰途にちょっと立寄れる所，主婦がショッピングの途中に気易く憩える空間である所，子供が遊園地の往復になじめるような，お金をとられぬ芸術広場であればと，市民の日常生活との関連の中でとらえようとしたのである。

その他，使用動線について，盗難予防，公募展，個展，講演，講習会等々身近かな事柄にまで及び，将来計画に対する予測にあわせて，他の博物館，資料館，図書館など文化的都市施設との関係づけを想定し，前記報告書と次のような基本計画案が作製されたのである。目次について列記を試みると，

Ⅰ　計画の基本方針
Ⅱ　運営の基本構想
　⑴名称　⑵登録　⑶事業　⑷運営
Ⅲ　建設の基本計画
　⑴建設の場所および敷地　⑵建築工事—（略設計案）　⑶造園計画
Ⅳ　運営に必要な主な諸規則案
　⑴美術館設置および運営に関する条例（案）
　⑵美術館運営委員会に関する規則（案）
　⑶美術館処務規則（案）

このような各作業の終了から，予算が計上され，県営繕課によって，実施設計が進められ完工したものである。

兵庫県在住ということから，とくに村野藤吾先生の個人的協力を，お願いしましたが，基本計画から，工事中の監理まで，何かと細かなご配慮をいただき，感謝している旨を附言します。

☆図　書　館

美術館と同様に他府県には以前から設置され，兵庫県にもすでにあると思われているものに図書館がある。

図書館のない全国唯一の大県に兵庫県があるなどとは意想外であろう。かくして，今，兵庫県教育委員会の文化課が窓口となり，「県立図書館等調査委員会」が設けられ，44年来討議がすすめられているのだが，その答申書は非常に進歩的姿勢をうかがい知るのである。

昭和44年７月31日以来（委員長）小倉敬二，赤井千磐，栗原嘉一郎，小林桂助，阪本清雄，佐谷弘，柴田実，滝川博司，津田叶次，中村祐吉三田美代子，毛利久の委員により下記の報告書が提出された。

ま　え　が　き

知識産業時代，情報化時代を迎えた人間生活は，それぞれの選択的立場から，個性を生かした創造的な方向に進みつゝあり，知識の重要性は日をおって増大を示している。このような時代を背景とする今日の公共図書館は，社会教育のための場としての活動を軸として，ますます多様化していく地域住民の知識流通の欲求に対し，適確な資料と，豊富な情報を提供するなど新たな機能が強く期待されだした。

そこで，本県でも，個人生活および社会生活の価値転換が予想される70年代，さらにきたるべき新しい世紀を見通して，社会的要求の質・量両面の変化に対応しうる図書館を設置することが急務であるとの基本的考え方にたつにいたった。

1.　県立図書館の性格

新しい時代の県立図書館を性格づける最大の要件は市町立等の第一線図書館との間に役割の区分を明確にし，さらに県下のライブラリー・システム（図書館網）を確立することによって，全県下にわたる広域サービスと，相互協力体制のセンターとしての役割を果しうることにあると考えられる。

兵庫県立の図書館としても，これらの要因を具備するとともに，参考調査センターとして，積極的な経済社会開発のための合理的な情報提供を行なうために，出版物のみならず，幅広い図書館資料を整備しなければならない。

また，資料保存センターの立場からは，先人から伝承された文化財ともいうべき，歴史的な文献および資料の整備にも，最新の資料と同様に大いに意を注ぐことが肝要である。さらに，近代的図書館としては，文化的活動の場としての機能についても，あわせて考えなければならない。

もっとも，これらの機能については，立地条件などにより多少の柔軟性を要するであろう。

2.　当面着手すべき事項

いうまでもなく，上記の性格は基本的なもので，どこまでも完成時における目標であって，必ずしも開館と同時に発揮できるものではないので，慎重な年次計画にもとづいて，徐々に，かつ着実に目標に達するような適切な時間的配慮が必要である。

当面は，まず参考調査センターとしての機能を果たしうるよう，資料の収集と人員の確保に重点をおくべきである。

なお，将来は県下数ブロックに対して，地方館の設置も考慮すべきであるが，とりあえず，現在の移動公民館をして，引き続き県下全域を対象に，読書普及を中心とした図書館活動を行ない，県立図書館の分館あるいは配本所の機能を果たさせることが望ましい。

3.　実施にあたって留意すべき事項

（１）用地と位置

できるだけ行政や経済の中心地に近い所で，交通や通信の便がよく，しかも将来の拡張を考慮にいれた広さを必要とする。

（２）建設の規模

広範にわたる資料を収容保管する資料スペースと，高度なレファレンス・ワークを行なうための業務用スペースをじゅうぶんに取り，県全域サービスに即応できる体制を整えることが必要である。上記の点からみてすくなくとも，次の諸面を実現しうるだけの規模でなければならない。そのためには10,000㎡以上の延面積を必要とする。

ア　量，質両面について，相当数の資料収集，収容が可能であること
イ　主題別資料室制の採用
ウ　参考事務（レファレンス・ワーク）の強力な展開
エ　相互貸借，総合目録の作成，および複写サービスの実施

オ　視聴覚資料，特殊器機の収集と利用態勢の確立
カ　研修，文化活動の実施

（3）資料の整備

本県の場合は，他の府県が古い図書館を廃して，しだいに新館を建築する努力を行なっているのとは違って，まったく新規に建設するものであるから，参考調査業務のための基本的な図書館資料を，早急に相当数収集することが必要である。

とくに，参考調査資料としての行政資料，郷土関係資料，視聴覚資料などの整備をはかるべきである。

なお，資料の整備には多くの熟達した専門職員と，かなりの日時を必要とするから，建築計画と併行しながら，着実な準備を別途に進めるべきである。

（4）準備室の設置

県立図書館を建築するにあたっては，本答申をもとに，さらに細部にわたる各般の調査を実施し，綿密な計画をたてることが必要であると考えるが，設置を促進するためにも，すみやかに設立準備室を設けて，具体的な一歩を踏み出されるよう強く要望するものである。

なお，躍進兵庫を象徴する新しい県立図書館の構想について，早急に具体化し，県民にＰＲする必要がある。

以上報告がされたが，ここで「図書館の図書館」としての性格，情報時代の先取りを形にしようとする意欲を知るのである。設計担当としては，新たな刺激を受け，批判に堪える作品をと希うものである。

読書の形態には，人の生長，生活の中で種々変化している。受験生，高学年，成人のうちでも学者，議員，一般サラリーマン，あるいは幼稚園児などその環境に応じ様々である。机に向かうのみが読書形式ではない。

視聴覚方式が生まれたように，改めて考察する必要がある。レファランスの方法もコンピューターに連結された時代にはいりつつあることを考えると，電話によるオンライン・システムも考慮せざるを得ないのである。

図書館調査委員会は45年，46年と継続討議されることになった。

現委員を知らせる。

小　倉　敬　二	兵庫県社会文化協会理事
大　月　ルリ子	鴨の子文庫主
栗　原　嘉一郎	大阪市立大学教授
小　泉　徳　一	神戸経済同友会代表幹事
小　林　桂　助	小林桂株式会社社長
阪　本　清　雄	兵庫県社会教育委員，作家
佐　谷　　弘	兵庫県商工会議所連合会事務理事
志　智　嘉九郎	園田学園女子大教授
柴　田　　実	京都大学名誉教授
中　村　祐　吉	日本図書協会顧問
三　田　美代子	甲南大学講師
三　輪　和　敏	神戸大学教授
毛　利　　久	神戸大学教授

☆　兵庫県では，新たな発想が始まると同時に，その性格づけに，学識経験者の意見を充分汲みあげる努力をしていることは非常に良いと思う。設計する者にとっても洗脳される面も多々ある。今後この方式は内容的に変化が起ると考えられる。既成社会理念と新興理念との隔差が生ずるであろう。それを埋めるには共通空間(建築による具体的案)による，共通言語を早く出し，その上に議論を積重ねるのが良いと思うのである。

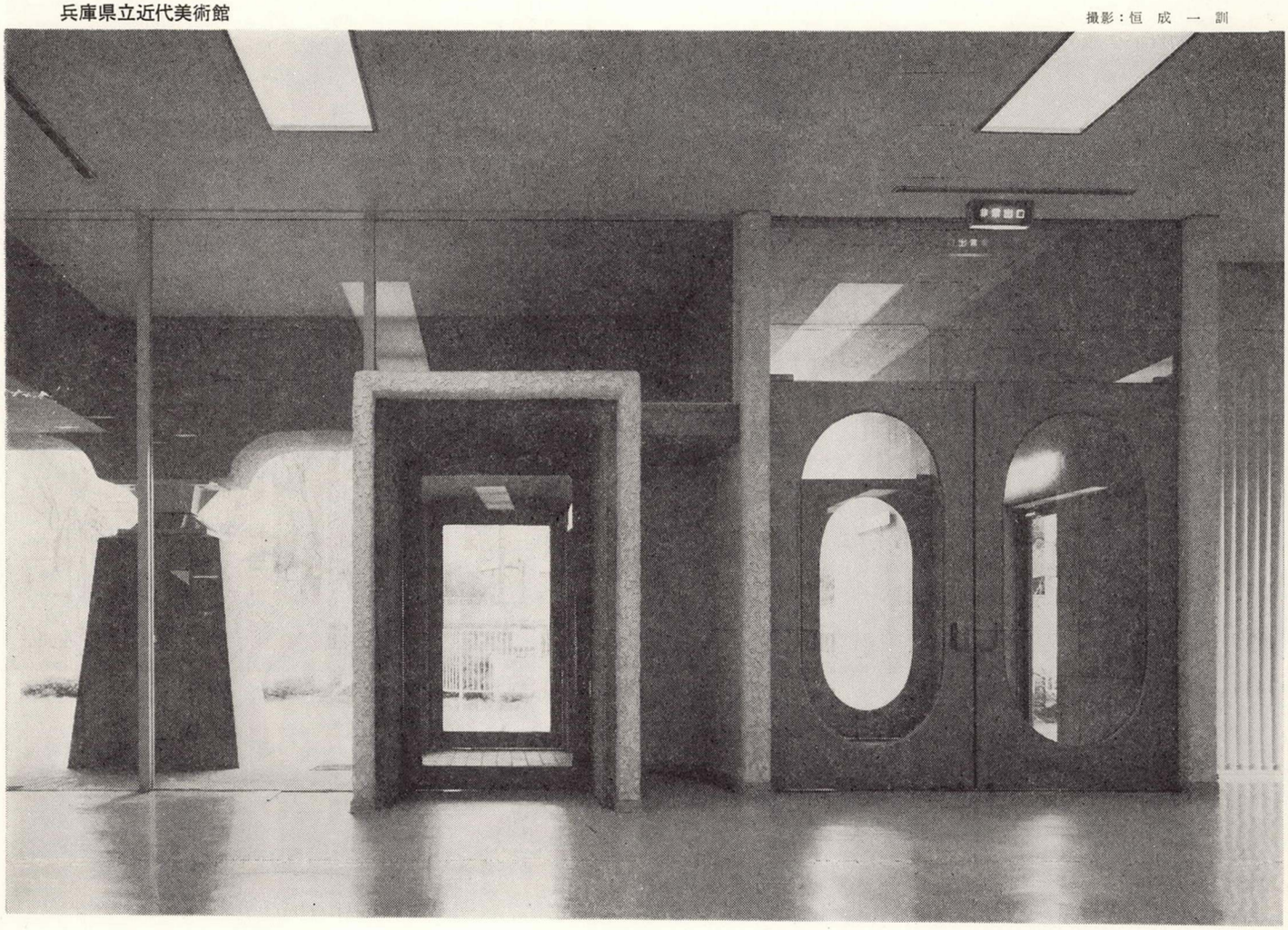
他に進行中または代表的な会は，子供のための専門病院，リハビリーテーションは実現し，三木福祉エリアは慎重に討論されている。万博会場と同じ広さの山谷を，市民の新時代のレジャーに対応させようと企画しているものである。

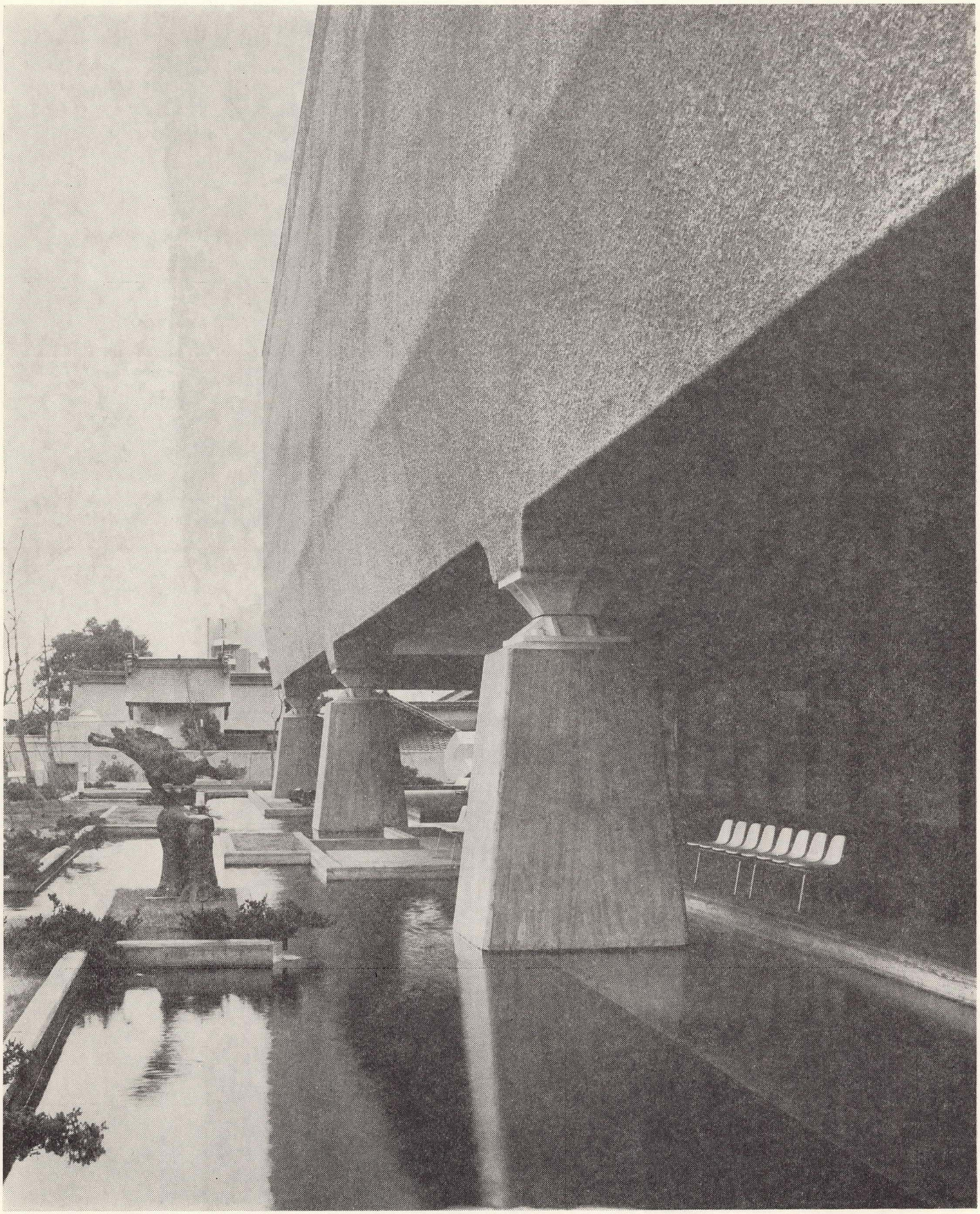
設計実務家のリードの時代は終ったのである。住民サイドの感覚が次を志向していることを強く認識するべきであろう。

（みつやす　よしみつ　建築家）

兵庫県立近代美術館

撮影：恒　成　一　訓





兵庫県立近代美術館

撮影：恒　成　一　訓

住宅公団の標準発注方式と団地設計

青山克己

1. まえがき

一般に住宅公団といえば「2DK」と「団地」を連想されますが，住宅公団では他に「都市再開発事業」「各種用地の造成」などの事業を行なっています。したがいまして，本稿の「テーマ」に対しては「2DK」と「団地」からなる「団地建設」を対象にとりあげたいと思います。そしてその内容としてはベースとなる住宅公団の沿革を紹介し，

・標準発注方式については……発注形態，工事別発注時期，発注に使用する設計図書の種類などについて

・団地の設計については……団地設計の主役となる，配置設計，住宅設計を中心にして紹介したいと考えます。なお，「市街地住宅」の発注方式も「団地住宅」の場合と同様の「システム」をとっております。

2. 住宅公団建設部門業務の沿革

2－1 住宅公団建設部門業務の紹介：住宅公団においては，下記業務を各部担当して行なっています。

㋑ 住宅の建設と賃貸・分譲……建築基準法上の耐火構造の住宅を「一団地」として建設する「団地住宅」で，その住宅の種類には，賃貸住宅・普通分譲住宅・特別分譲住宅・特定分譲住宅などがあります。

㋺ 利便施設の建設と賃貸・分譲……団地居住者の利便に供する各種の生活環境施設で，それらの賃貸または分譲を行ないます。

施設の経営（または運営）主体別種類

i 国……郵便局，直轄管理河川

ii 地方公共団体……小中学校，保育所，公立幼稚園，巡査派出所，市役所出張所，市町村道，上下水道，都市公園，河川，ごみ処理施設，市営交通機関（バス）

iii 公益事業団体……電気，ガス，電話，国鉄交通機関（鉄道・バス・駅舎等）

iv 民間団体……私立幼稚園，医療施設，民間交通機関（鉄道・バス・駅舎等）駐車場，店舗等商業施設

v 住宅公団……団地内道路，公園緑地，児童遊園，集会所，汚水処理施設等

㋩ 市街地住宅および併存施設の賃貸・分譲……住宅不足の著しい都市内の通勤などに便利な地域において，土地の高度利用を図ることによって住宅の供給を促進し，あわせて市街地の再開発に資するため健全な市街地の形成に必要な「諸施設とともに建設する集団住宅」で，これらには次の種類があります。

i 面開発市街地賃貸住宅および併存賃貸施設

ii 面開発市街地分譲住宅

iii 一般市街地住宅

iv 一般市街地住宅併存分譲施設

㋥ 各種用地の造成とその賃貸・分譲……各種の用途に供する用地を「1団地」として造成し，賃貸または分譲する事業で，その種類として

i 宅地造成

ii 工場等用地の造成

iii 土地区画整理事業

iv 新住宅市街地開発事業

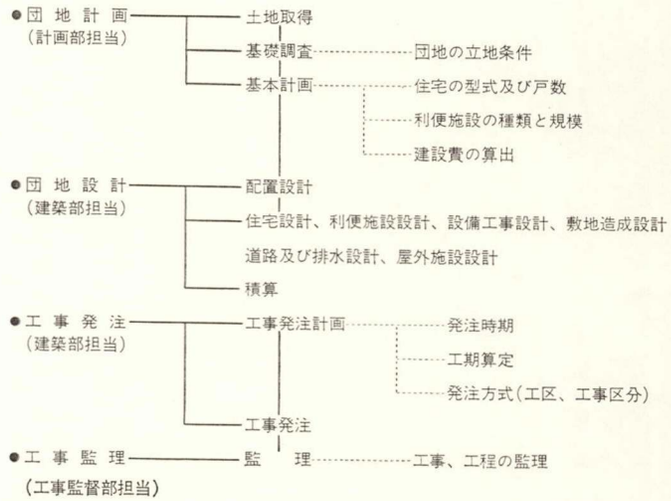
v 工業団地造成事業

vi 流通業務団地造成事業

vii 水面埋立事業

などがあります。

2－2 住宅団地建設業務の流れ：団地建設に至るまでの各業務の流れを追ってみますと，次の図－1のようになります。



図－1

3. 工事発注の標準的方式

工事の発注は，工事契約の手続を規制する法的根拠と当該年度住宅建設計画にもとづき建築工事を主体にして関連各工事の発注計画が立案されます。

3－1 発注形態：住宅公団の場合，他の公共機関すなわち，国，地方公共団体と同様に国の法律に準拠した住宅公団内規をつくり，それによって特定多数者の競争による「指名競争入札制度」で行なっております。

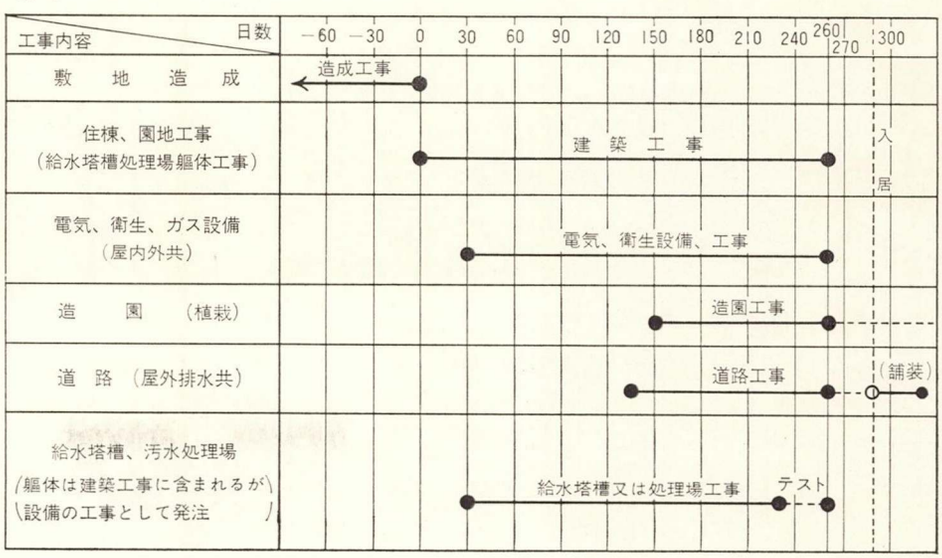
3－2 工事の種類および発注時期：建設工事の発注方式には「総合発注」と「分離発注」とがありますが，団地建設では「分離発注」方式を採用しております。また「1団地分」の建築および各設備工事は50戸～300戸程度の単位で「1工区」として分割し発注しておりますが，敷地造成工事など「工区」区分が不可能な場合は「1団地1工区」で発注することもあります。

工事別発注時期は，建築工事が完成し入居の時点においてすべての関連工事が完成するように発注計画がたてられます。ただし，造園（植栽）工事は植栽の季節的条件から入居後になる場合があります。

中層住宅団地建設の標準的な工事種類別発注時期を表にしますと**表－1**のようになります。

3－3 工事発注に使用する標準設計図書：工事の発注に使用する設計図書としては，各団地とも，規模に大小はありましても，工事内容には

表－1



表－2　設計図書の構成と名称

	使用分類	設計図名称	主な内容	工事種別 建築	土木	電気	衛生	造園
設計図	各団地個有設計図	表紙	工事名称	○	○	○	○	○
		工事種目表	工事内容	○	○	○	○	○
		特記仕様	団地固有条件	○	○	○	○	○
		配置図	工区割	○	○	○	○	○
	共通設計図	標準設計図	型別全国標準図	○	—	○	○	—
		特殊設計図	上記以外	○	—	○	○	—
		利便施設設計図	集会所・店舗等	○	—	○	○	—
	共通詳細図集 (ディテールシール)	公共住宅標準詳細設計図		○	○	○	○	○
		公共住宅標準詳細部品集		○	—	—	—	—
		土木工事設計標準図集		—	○	—	—	—
		公団住宅電気設備共通詳細設計図集		—	—	○	—	—
		衛生設備共通詳細設計図集		—	—	—	○	—
		造園施設標準設計図集		○	—	—	—	○

仕様書	特別共通仕様書……支所別、全工事記載
	共通仕様書……全支所共通、全工事記載

大きな相違点がありませんので，図面仕様書の標準化，共通化を図り，設計と工事監理における効率化と均質化を行なっております。（**表－2** 参照）

4.　団地設計

団地の設計は，公団発足当初においては土地の規模により，わずか200戸前後の小規模な設計から始まり，1,000戸～1,500戸の団地は非常に大きな団地として驚きの目をもって迎えられましたが，配置設計の技法も公営住宅から引継いだというものの，ごく自然発生的なもので，充分とはいえないものでありました。しかし住宅建設戸数の増大とともに，世にいう「ダンチ族」出現のもとをなし，設計業の問題意識としての理解と努力が「グルーピング」「コミュニティ」「道路パターン」などにも明確なる思想の流れとして現われるようになった。

しかしながら当初から現在に至る思想の流れによる外部空間の変化は「田園都市」のイメージを推し進めるものであり，太陽と緑を謳歌する新しい町として期待されましたが，開発規模の拡大，土地の高騰などによる社会的，技術的条件の変化が予想以上に急激に進み，それらに応じて新しい課題が絶えず提起されております。

4－1　配置設計：団地計画によって決められた条件（型別戸数および各種利便施設の種類・規模）を設計条件として配置設計を行ないますが，団地設計の基本的要素となるもので，その団地の「物理的」「心理的」性格が決定される最も重要なものであります。

設計の要素として

i　近隣住区の構成……段階構成住区理論により，幼児のプレイロットを核とした150戸前後のグルーピングから，団地の規模により構成している。
ii　団地内利便施設の配置
iii　動線計画……通勤，通学，買物などの道路計画
iv　歩行者専用道路と団地中心施設との関連付
v　戸外空間の構成
vi　団地の景観構成
vii　敷地の造成計画

等配慮して設計しております。

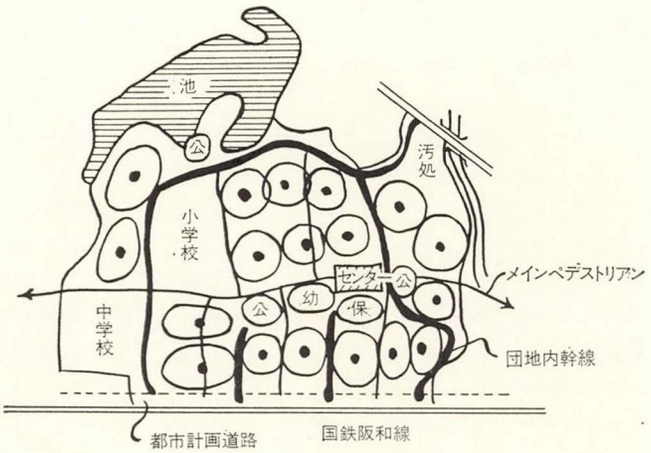
表－3　土地利用比率表

土地利用区分	比率	土地利用区分	比率
住宅用地	53.9%	児童遊園用地	1.3%
学校用地	13.3	都市計画街路用地	2.7
保育所・幼稚園用地	1.9	団地道路用地	7.4
店舗・マーケット用地	2.3	歩行者専用路用地	4.6
汚水処理場用地	1.7	水路用地	1.9
プレイ・ロット用地	4.0	不利用地	4.3

容積率表

敷地面積	37.2ha	建築床面積	19.5ha	容積率	58.86%

住宅型別	戸数	施設名称	延床面積
66－5N－$\frac{2DK}{3DK}$－改2	360戸	集会所	625m²
66－5N－2DK－2－改2	80〃	管理事務所	33〃
65－5N－3K－3－改2	1,540〃	管理作業所	42〃
67－5N－3DK－改2	720〃	郵便局	120〃
特690－5$\frac{E}{W}$－2LDK	140〃	診療所	500〃
66－5N－2DK－PC－改3	210〃	保育所	750〃
特710－5N－2LDK－施	128〃	幼稚園	1,120〃
70－5N－3K－M.F	270〃	スーパー・マーケット	1,300〃
合計	3,448戸	店舗（15店）	750〃



図－2　機能パターン図

なお，最近の配置設計の実例を紹介します。（**表－3**，**図－2**，3 参照）

4－2　住宅設計：団地の住宅は「標準設計」（全支所共通）の住宅を使用しておりますが，とくに敷地の立地条件により，その団地のための住宅（これを標準設計に対して特殊設計という）を設計する場合もあります。したがって，標準設計型と特殊設計型の2類型をもっています。

標準設計住宅については，その歴史的な由来から説明したいと思います。

昭和30年，住宅公団設立当初には中層耐火共同住宅として公営住宅に2K型の標準設計がありましたが，住宅公団はこれを母体として「浴室」と「ダイニングキッチン（D・K）」とにより「食寝分離」の2DK型を開発し，これを中心に建設してきました。これにより公団住宅の代名詞としての「2DK」が一般に認識されました。

また標準設計を必要とした背景には，より良い住宅を，より廉く，より多く供給するという公団の使命が設計作業の合理化を要求することになりました。以来，標準設計の取捨選択を繰返して，現在，次の通り集約されています。

在来工法……賃貸住宅　11種
　　分譲住宅　6種

量産工法……ＰＣ工法　７種（賃貸，分譲共）
　　ＭＦ工法　８種
があります，なおこのほかに「準標準設計」として
・南北軸型……東西面に住宅の開口部があるもの
・丘陵地対応型……丘陵地の斜面に沿って住棟の桁行方向が階段状になったもの
・特殊基礎用型……地盤条件の悪い所に建てるもの
などが使用されています。

標準設計の今後の方向としては，住宅の量産工法としてのプレハブ工法が社会的に強く要請されているとともに，社会情勢（経済成長にもとづく）も従来の２ＤＫ型を母体とした住宅のプラン発想に再考を求められつつあり，現在，住宅公団では新しい住宅を調査研究しております。

一方では，大量建設によるメリットを工業化，量産化に求めて，工法と部品を多く開発してきました。

i　ＰＣ工法の開発……昭和40年より実用化され，43年より大々的に使用され，現在では建設戸数の17.9%位に達している。
ii　ＭＦ工法の開発……昭和38年より実用化され，現在では建設戸数の８%位に達している。
iii　ステンレス流し台……昭和33年より採用
iv　スチールサッシ……昭和34年より部分使用をはじめ，38年より全面的に採用
v　アルミサッシ……昭和37年より部分使用
vi　ホーロー製浴槽とバランスド・フリュー釜……昭和40年より採用

その他，換気ファン，吊戸棚，面付シリンダー錠などがあり，これら開発部品は「公共住宅用規格部品」として広く使用されています。

以上，標準設計に対するメリットは多いのですが，他面，標準設計の存在は若い設計者にとっては設計に対するチャンスと意欲が失なわれる心配もあります。最近の民間ディベロッパーのめざましい躍進と住宅関連産業の華やかさは非常な刺激となっており，社会の発展からとり残されないよう，目を未来に見開いて常に新しい問題ととり組んでいます。

４－３　土木設計：敷地の造成設計，擁壁・橋渠等構築物の設計，道路・通路の設計，下水道（雑排敷地道路の排水）の設計などがあります。住宅公団の設計要領によるが，地元市町村への移管道路などは，その移管先市町村の規準にもとづき設計しています。

４－４　設備設計：電気設備設計は，関電の電力供給規定によりますが，住宅の容量（現在30Ａ）などは住宅公団の設計要領によっています。給水設備設計の管径などは，住宅公団の設計要領によっていますが，給水塔槽のリザーブタンク容量などは，住宅公団の設計要領を基準にして，地元市町村の算定規準に応じて修正しています。

４－５　園地設計：幼児を対象にした「プレイロット」と中供達を対象にした「ボール投げ」「ボール蹴り」などのできる「児童公園」とに分離して設けるようにしています。

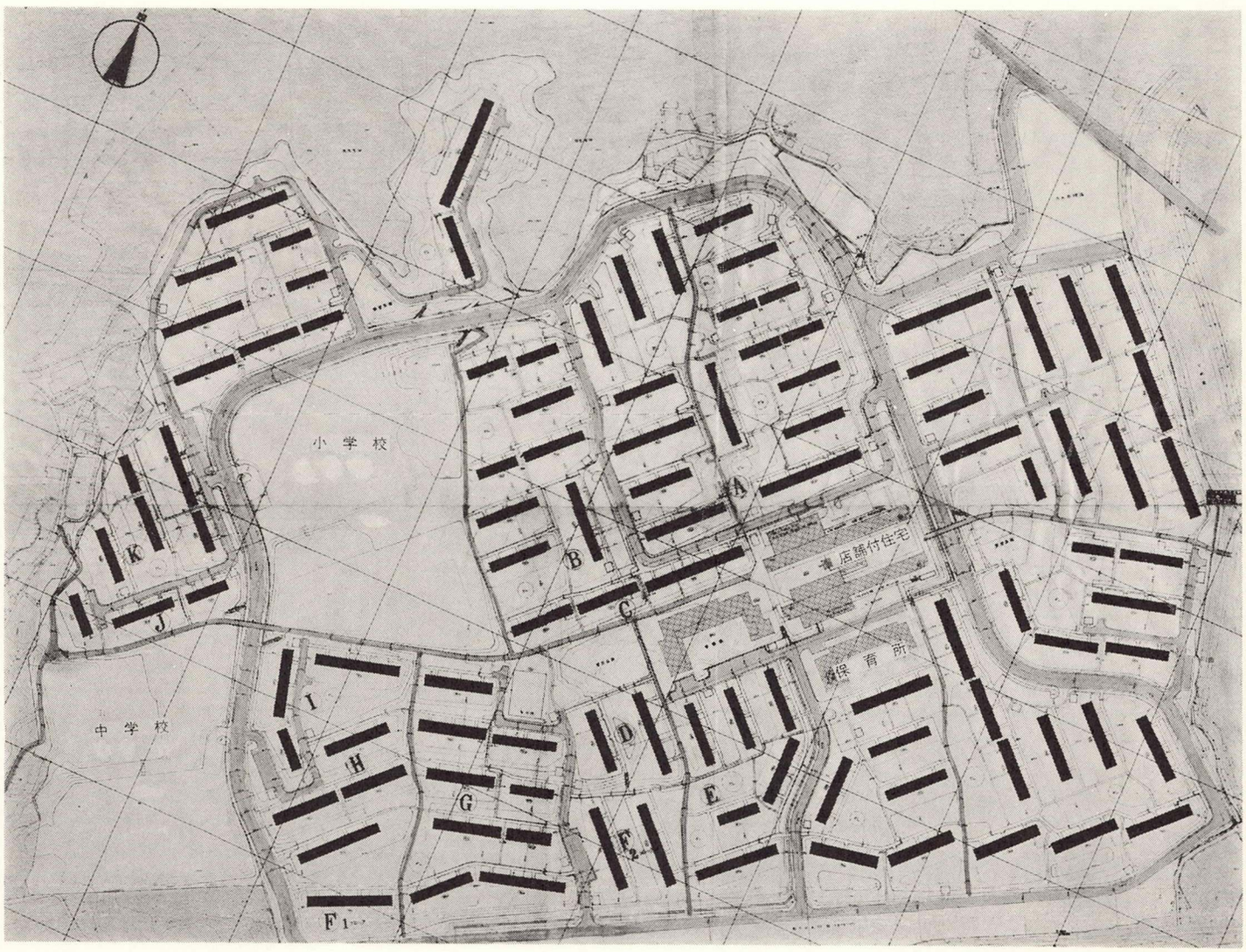
４－６　造園設計：通常，造園設計といえば，子供の遊び場と植栽設計とで屋外の空間構成および景観構成をする設計を指すのですが，一応，園地設計と分離して植栽を設計しております。

5. おわりに

以上，非常に概略的で申しわけございませんが，紙数の制約もあり，住宅公団における「団地建設」の計画から設計・発注に至るまでのプロセスが，線的とはいえ，一応ご理解願えたことと思います。

（あおやま　かつみ　日本住宅公団大阪支所設計課長）

図－３　新家団地配置図



開発プロジェクトと統合組織

その基本的な考え方について

山中　孔

まえがき

建築は必然ともいえる社会的要請がそのベースにあってはじめて生まれる。

現代の社会の変化の激しさについては多くの論が展開されているが，まさに多様化，複雑化，大型化，巨大化，高度化，高速化の時代であり，多目的性，多価値性，多選択性をもつ高密度の複合建築が都市の中に大きくクローズアップしてきている。

このような社会変化はもはやこれまでのものとは質的にも量的にも異なった段階のものであり，これに即応する建築の分野にも，新しい考え方，進め方，まとめ方が強く要請されているといえよう。

§1　プログラムの提示

建築の計画の分野でいままで原則的な方式であるといわれてきたものがある。建築が企画された場合，大部分のやり方は，建築主において土地が設定され，建物の用途，規模，予算などが整備され，建物の一つのイメージを設定したうえで建築士が設計にとりかかるケースであった。建築主にそのプログラムのない場合，建築士の方からそれを責めた場合すらあった。また十分検討されつくしていないプログラムに基づいて設計し，施工されて完成したときに，企画段階より参画しておればもっとよい建物になったであろう，などという発言も行なわれていた。

§2　企画への参加

近年では建築主の方でもプログラムの重要性が認識され，在来のやり方では変化の激しい，競争の厳しい現代社会の中では十分なものが期待できないとして，この企画の段階で専門家の協力，参画が強く要請されるようになってきた。土地の選択にしてもその立地の将来性・地質などの基礎条件，建物の内容・規模についても需要予測を含めた可能な限りの調査・比較検討を行ない，収支計画もあわせて，企画・計画の段階が重要視されている。

§3　統合組織

これらの社会的要請に応えてゆくためには，従来の体制のままでは十分でない。新しい考え方に基づく新しい組織が必要となってくる。設計の分野にしぼってみても，計画，制作，構造，設備，意匠の機能別の組織を横断的に有機的に一つの建物にまとめあげる統合組織が生まれ，マトリックス型と呼ばれている。

建築の分野においても，これに企画，調査，研究，技術，材料，施工，工費，管理などの要素を加えて，統合する必要度が高まりつつある。

建築主の高度な要請に応えようとするなれば，工学的分野だけでなく，医学，農学，経済学，社会学，心理学，芸術，広報などあらゆる分野にかかわりをもつこととなり，これらを何らかのかたちで統合する必要性について強い認識をもち，その具体化についてルールづけを行なっておく必要がある。

これらの各方面の専門的職能が一つの方向づけをもって統合されてゆくためには，その目標とするプロジェクトがはっきりとしており，その組織を運営するマネージャーの力量によるといっても過言ではなかろう。

§4　長期大型開発プロジェクト

1.　統合組織によるプロジェクトの遂行は，社会の変化に即応して建築の質を向上し高性能のものとするために有効な手法であるといえる。しかし長期大型開発プロジェクトのためには，これに加えて新しい一つの方式を導入しておくことが必要であろう。

2.　長期大型プロジェクトとは一応つぎのようなものと想定しておく。

1）施行期間が長期にわたるもの
　10年〜20年以上
2）施行区分が数期にわたるもの
　10〜20期以上
3）規模がスーパーブロック的なもの
　5〜10ヘクタール以上
4）複合した用途をもつもの
　5〜10種以上
5）将来にわたって周辺の地域に強いアクティビティをもつもの

3.　一般のプロジェクトでは，規模の大小，用途の複合化はあっても，時間系としてこれをみた場合，1〜2年と比較的短期であり，将来周辺に波及効果を与えるとしても，計画自体は完成と同時に一応ピリオドがうたれるものといえよう。計画はその進め方として将来のある一時点の一断面をあらゆる可能な計画手法によって予測し，一つの想定を行ない，条件を設定して，この目標のもとに企画，計画，設計，技術，施工などが一連のものとし実施される。静態的なプロジェクトといえる。

4.　長期大型開発プロジェクトは動態的にとらえられなければならない。生態としてみつめなければならない。

この方式を“生態方式”と呼ぶことにし，その具体的内容を述べることにする。

1）マスタープラン
　基本構想としてマスタープランが必要であることはいうまでもないが，これの設定にあたっては，逐年段階的に実施が予想されるプロジェクトをサブプロジェクトと呼び，これらのサブプロジェクトをベースとして構想がたてられる。この場合マスタープランはあくまでも一つの目標に基づいてたてられた構想であり，逐年検討され変更されてゆくべき性格のもので，固定的なものであってはならない。
2）サブプロジェクト
　マスタープランを構成しているサブプロジェクトは当然複数であり，実施の時期も，当面実施のものから将来のものまでを包含している。当面実施のサブプロジェクトはマスタープランの構想に基づいて実施される。
3）評価と修正
　当面実施されたサブプロジェクトの成果は，その時点における新しい価値基準によって評価され，その結果はマスタープランに影響を与えてマスタープランは修正される。
4）サイクル
　修正されたマスタープランの先導によって次のサブプロジェクトが実施され，その成果が評価される。この実施，評価，修正のサイクルは時間系にのって，そして新しい価値基準をつくりながら進められる。

5) フレキシビリティ

サブプロジェクトをそれぞれの単位の中で実施してゆく場合，とくに留意されねばならない条件はフレキシビリティである。サブプロジェクト遂行のための条件設定に当って余りに固定的にきめてしまうと次のステップにいった場合これが大きい制約条件になりかねない。他のサブプロジェクトに関連性のある部分ではできるだけルーズにオープンにしておく必要がある。もちろんいかなる変化にも対応ということは難しいが，マスタープランの修正によって起こるであろう範囲は少なくともカバーしたい。

5. マスタープランそのものが常に新しい条件や変化に対応しつつ修正，変更されて，常に生き生きとしたものとして成長してゆき，これの先導によって当面のプロジェクトが実施され，その段階で必ずその成果が評価され，フィードバックして新しい条件となる。このようなサイクルで開発が進められてゆくのが最も望ましく，新しい可能性を生みだす手法といえる。

6. このプロジェクト方式“生態方式”とでも呼べる方式を具体的に進めるために考慮しておかねばならないいくつかの問題点がある。

1) マスタープランの修正

マスタープランの修正が行なわれないと生態としてプロジェクトが動かなくなる。この重要度については論をまたないが，実施してゆくことは難しい要素がある。これを解決する条件としてはマスタープランにもられた内容を整理しておく必要がある。情報の分類でありその数量化である。ドキュメンテーションの技術を導入により客観性のあるものに整理しておけば，マスタープランの修正にあたって威力を発揮するであろう。

2) 価値基準の変化

多様化，多目的の高度選択社会においてはその価値基準に大きい差が生まれやすい。オペレーションリサーチなどの計画手法により，その時点における基準を客観性のあるものにしておく必要がある。

3) サブプロジェクトの選択

複数のサブプロジェクトのどれを採択するかは，重要事項の一つである。もちろん外的な制約条件によることも大きいが，プロジェクト全般に与える影響力の大きさ，誘発力の大きさ，波及効果の大きさなどがその尺度となると考えられる。

4) 実施条件の整理

サブプロジェクトを実施する場合その前提条件を整理しておかねばならないことはマスタープランの場合と同様である。

5) アクティビティの育成

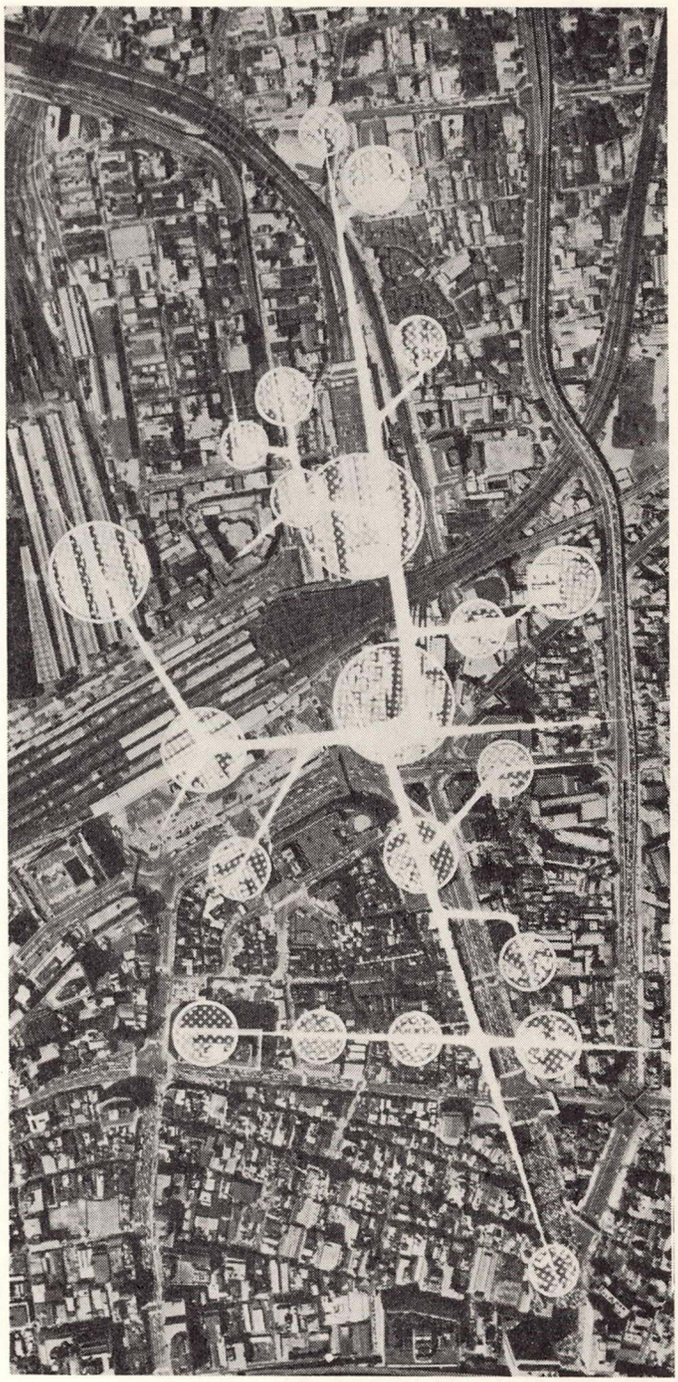
プロジェクトは常に外向きに強いアクティビティが保持できる状態になければならない。このアクティビティこそがこの開発プロジェクトの原動力となるものである。

§5 計画の組織

1. この“生態方式”と呼ぶ考え方はなにも長期大型開発プロジェクトにのみ必要な手法ではなかろう。一般プロジェクトにおいても，機能別のたて割り方式でない統合組織を完全に機能させるためには，“生態方式”の考え方まで視野を拡げておく必要があろう。

2. この統合組織の運営には，これをシステマティックに管理するため，インテグレーターと少数のアシスタントが必要であろう。マスタープランのもつその思想，その本旨を正しく理解し，プロジェクトの上に適確に反映させまとめあげるインテグレーターの役割は，具体的にはプランの分析，実施のためのプログラム，メンバーの選定，そしてそれらの協力の上に一つの完成された表現にまとめ統一することであろう。

3. このインテグレーターは必ずしも一つの分野の専門家である必要もなく，それよりもむしろ広い社会常識，分析力，理解力，判断力，総合力をもった人材が望まれる。平凡な人間に非凡な仕事をさせるのが組織であるともいわれているが，その組織に適格な人材が得られればそのプロジェクトは成功したといってよい。



開発拠点とアクティビティ

あ と が き

民間でプロジェクトを遂行する場合，法制上にも問題点は多い。行政面も横断的にプロジェクト中心に統合されているかといえば，ここにも大きい問題点を発見する。

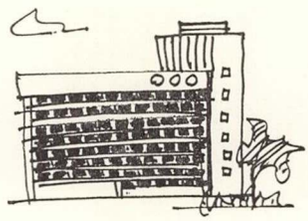
問題点は多い。しかしこれらを現段階でそれぞれの解決を見出だしたとしても，それは現時点で静的にとらえればのことであり，動的に考えてゆかねばならない現代では一つの危険なしとしない。

現実に目前には果さねばならないプロジェクトが進行しつつある。これらを具体的に進めてゆくためには，机上の議論に終始することなく，プロジェクト中心のプロジェクト主義に徹し，“生態方式”をふまえた統合組織で，毎日毎日のつみ重ねの実績のうえに問題点を一つ一つその時点で解決してゆくことであろう。このためにも，将来を見通した，今後起こりうる変化の可能性にも対応できる，深く考え抜く力をふまえたソフトな思考こそ最も強く望まれるものであろう。

（やまなか　とおる　KK竹中工務店大阪本店設計部長）

地域経済の展開に対応する開発方式

山下　隆



激動の時代

経済社会をとりまく環境は，近年においてその変化速度が加速化していることから，その急激な変化の巨大なエネルギーが経済社会に与えるインパクトは，体質の質的な変化にまでおよびつつあり，そのことから，単に従前のすう勢を延長したものの考え方では変化に対応できないおそれがでてきたのである。

そこで新たなる視点から，変化の過程で生じつつある新しい兆しを，来るべき未来社会との関連においてどのように意義づけ，どのような問題意識をもつかがきわめて重要となるのである。

最近における変化のなかで注目を要することは，情報が主導する経済社会構造に転換しようとしていることであり，いいかえれば知的創造活動を主軸とする知識社会への移行である。そのことは経済活動における知識，技術がきわめて重要な位置づけをされると同時に，経済発展の主たる牽引力となってきたことにほかならない。

たとえば，情報自体が無形価値としての経済的価値をもつ情報産業(知識産業)が形成，展開されようとしており，他方では，従前からの有形物の生産においても，実用的な価値よりも物に付加するデザイン，柄などの情報，知識価値がより重要な意味をもつようになり，また，部品数でラジオ・カメラ・ミシン・自転車などの10の２乗から，テレビの10の３乗，自動車・高級工作機械の10の４乗，大型コンピューターの10の５乗，宇宙ロケットの10の６乗というように，年代の経過に応じての部品数の増加は，従前の単純労働による価値の付加から，システム，設計，研究開発などの頭脳労働力による価値の付加に移行していることである。

このように知的創造力が開花する社会への移行期にあること，いいかえれば量の変化から質の変化への転換という激動期に直面したことをまず認識する必要があろう。

地域経済の展開方向

わが国の経済全体が新しい社会への移行という激動期の渦中にあるのと同時に，地域空間的に経済機能の立地の再編成が展開されようとしているのである。

もともと経済の諸機能は，外部経済の利益を求めて一定の集積量をもつ地域へ指向するもので，大集積地を核として，その影響圏域内からの経済機能の吸引作用が起こり，圏域の中心核に吸いこまれるように経済機能の地域移動が展開され，吸引する側では集積が集積をよぶ集積の累積的拡大のメカニズムの展開から，やがては大都市にみられるような公害発生，交通渋滞，交通事故の多発，地価高騰，住宅難などの過密の弊害にまで進行するものである。これに対して吸引される側では，過疎，地域格差などの問題を発生させているのである。

このように地域経済の発展形態は，特定の大集積地に資本，労働，技術などの経済力の傾斜を伴いつつ，地域的な不均等発展をしてきたところにこれまでの特色があったが，それが最近では，地域的な展開パターンに若干の変化を起こしはじめたのである。

すなわち，広域経済圏の中枢都市である東京，大阪では過密問題から，集積の利益よりも集積の不利益が目立ちはじめるようになり，そこで大都市機能のうち，必ずしも大都市内に存在する必要性を強くもたない機能は，大都市から脱出して大都市の周辺地域，および，さらにより遠い地域への移転傾向があらわれているのである。

たとえば，工業生産の拡大にあたり，大都市内部では工場拡張のための用地がほとんどないことや，地価の高騰が企業の採算ベースを上廻るようになったこと，さらに公害苦情のおそれなどの要素がからみ，地方への工場立地展開という大都市内部からの押し出しの要因と，他方では高速道路，通信網の整備の進捗によって地域間の時間距離が短縮され，しかも，比較的に安い地価とまとまりのある用地を得やすいという大都市外部からの遠心力要因とが相乗的に重なって，生産機能は広域的に展開する傾向がでてきた。

また，生産，流通，消費の各セクターのうちで，生産では大量生産，消費では大型スーパーなどの大量販売システムが形成されてきたのに対し，生産と消費の各セクターを結びつける流通のセクターでの構造の近代化が遅れていることが問題となっているのである。

これまで流通機能は大都市内部に集中していたのが，交通渋滞による効率の低下から，流通機能のうち倉庫，トラックターミナル，配送センター，ストックポイントなどの物的流通機能を大都市外部の周辺地域への移転により，大都市機能の純化を図らなければならないようになったのである。事実，近年では大都市周辺の高速道路沿いに物的流通機能が著しいテンポで立地展開をはじめている。

このような展開のなかで，次の課題はこれらの個別の物的流通機能をできるかぎり集約化した大型の流通センターとして，個々の機能集積いわゆるシステム化による複合機能化を図ることと，トラック，鉄道，海運，航空機による各個別運輸体系の接点での結びつけ，組み合わせによる一貫した円滑性を図るために複合ターミナルの建設の必要性があり，すでに具体化の段階に入っているのである。

さらに人口の移動であるが，大都市の生活環境の悪化や核家族化の進展から，居住機能が急速に大都市の周辺地域に移っており，大都市の人口停滞から，さらに絶対数での微減現象，それにかわって周辺地域での

著しい人口増という人口のドーナツ化現象が一層顕著になってきたのである。

このような人口分布の変動を反映して，小売商業機能も，大型スーパー，ショッピングセンターなどが人口の急増地域での展開が著しく，また，ボーリング場やレクリエーションセンター，総合運動場などレジャー・レクリエーション機能も一部移動をはじめているのである。

これまでみたように，大都市から外延的に移動をはじめた機能は，工業生産機能，物的流通機能，小売機能などの現場的機能と居住機能であるのに対し，逆に大都市への集中をさらに強める機能は，本社，本店などの管理機能や情報関連機能，流通のうちの取引決済機能などである。

大都市の中心部にみられるようなビジネス街区での超高層ビル化による土地利用の立体化は，情報主導型社会への移行から，情報関連機能や創造的，管理的機能の集積による，情報都市への体質転換がはじまったことの象徴として受けとめられるであろう。

このような大都市およびその周辺地域での地域的機能の再編成が進行しはじめたのと同時に，注目を要するのは，札幌，仙台，広島，福岡などのような地方経済圏の中核都市や，それに準ずる県庁所在都市で，経済機能の若干の集積傾向をみせていることである。

人口，工業生産機能，商業機能などの集積傾向であるが，とくに強くあらわれはじめたのは卸売機能であって，これは大都市に所在する大手卸商，総合商社，メーカーなどによる積極的な支店，出張所の開設による販売拠点づくりを反映しているもので，ここにも各都市機能相互の重層的つながりが新しい視点から形成されはじめているのである。

このような地域的な機能の再編成のダイナミックな動き，すなわち，民間エネルギーの指向する方向に対応した各地域別の開発プロジェクトでなければ，空転に終りその効果が期せられなくなる。

開発のシステム化

すでに述べたような基本的な開発パターンをふまえつつ，ここに留意しなければならないことは，住民の価値観が所得上昇を背景に変りつつあるということであり，経済的貧困の時代から物質的豊富の時代への移行は，発想方式自体が豊かなる社会からの発想に転換しなければならないのである。

すなわち，これまでの個人的需要から社会的需要へ移行するとともに，高級しゃし的な需要でしかも価値観の多様化による個性的需要へという需要の変化における二つの基本的方向を配慮しなければならないのである。

たとえば住宅についてみると，単に住めればよいというのではなく，住宅を含めて快適な生活環境という欲求の高まりで，公園，道路，医療，ショッピングなどの総合的な整備がなされないと満足されなくなり，ここに各機能の有機的な組み合わせによる，総合的，体系的なシステム的開発が必要となってくるのである。

やや小単位の住居分野をとりだしてみても，たとえば，住宅のインテリアでは，カーテン，カーペット，応接セット，照明器具などで，これまでは各商品を個別に求め取り揃えていたのが，部屋全体としてのフィーリングを求める傾向から，これらの個別の商品を全体としてのデザイン，色彩，配置の観点からシステム的に配慮しなければならないというように，大なるものから小さいものにいたるまで，すべての分野でシステム的思考が求められ，個別機能の有機的集積による，より効用の大きい機能創出が課題となってきているのである。

このような傾向は，たとえば，新全国総合開発計画で想定しているように，個人所得が昭和60年では現在のアメリカの水準程度にまで上昇するということを勘案しても，より高度な総合的機能を求める方向はますます強まっていくことになり，そのことから10年，15年後の質的な変化に即した先取りの開発方式でなければならないのである。

地域別の変化に対応する開発方式

これまでに述べたようなことから，地域別の開発パターンとしては，今後の交通・通信のネットワークづくりの方法いかんによる影響が大きいが，おおむね4種類ぐらいに分類できるであろう。

第1には大都市における開発で，これはむしろ，ことの性質上から再開発であり，土地の高度利用，つまり高層ビル，高層住宅のような立体的空間利用と，地下商店街や地下鉄網のような地下の空間利用による土地利用の効率化で，情報の高密度化に対応する情報関連の経済機能の強化と，人的交流，輸送の体系整備が主要課題となろう。

第2には大都市の周辺地域における開発で，大都市への通勤者のための居住機能として快適な生活環境の整備という総合的開発と，交通体系の整備，また，大都市の消費需要にもとづく物資・貨物の集荷，保管，仕分け，配送のための物的流通機能の体系整備であり，さらに大都市圏に集積する技術や工業関連部門との関連における高度加工的生産機能の整備が重点的に行なわれなければならないのである。

第3には地方の中核都市やそれに準ずる県庁の所在地都市では，大都市の過密問題の再現するのを避けるためにも，あらかじめ先行的な総合的開発を実施するとともに，文化的，社会的機能の強化に特段の配慮を加えて情報・人材の集積，情報の創出力を高めることに努力しないと，今後の情報化社会で大都市の影響力に組みこまれて地域的特性をそう失するおそれがある。

第4には地方の農村地域でいわゆる過疎問題に悩む地域であるが，大規模工業基地，大畜産団地，食糧供給基地，自然景観をいかした観光基地など地域の特性に応じた大規模開発プロジェクト方式が必要となろう。

このような地域別の開発パターンを描いても，開発を推進していくための手法が次の問題となるのである。

第1には開発の主体の問題であるが，今後の地域開発はかなりスケールの大きいものとなることが必要であり，そこで国または地方公共団体の総合的開発計画と民間のもつエネルギーや効率的運営方式をそう入した第3のセクターともいうべき主体の設立が望ましいのではないかと考えられる。

第2には官民協同の地域開発研究のプロジェクトを設け，地域開発のシステム的な研究が必要となるであろう。いわばあらゆる分野の知的能力の結集が要請されるのである。

第3には地域開発のためのばく大な資金をどのようにして確保するかということである。

景気変動に左右されないで量，質両面で安定的に地域開発が拡大されていくためには，地域開発つまり社会開発の専門金融機関を設けて，金融のパイプを太くすることである。

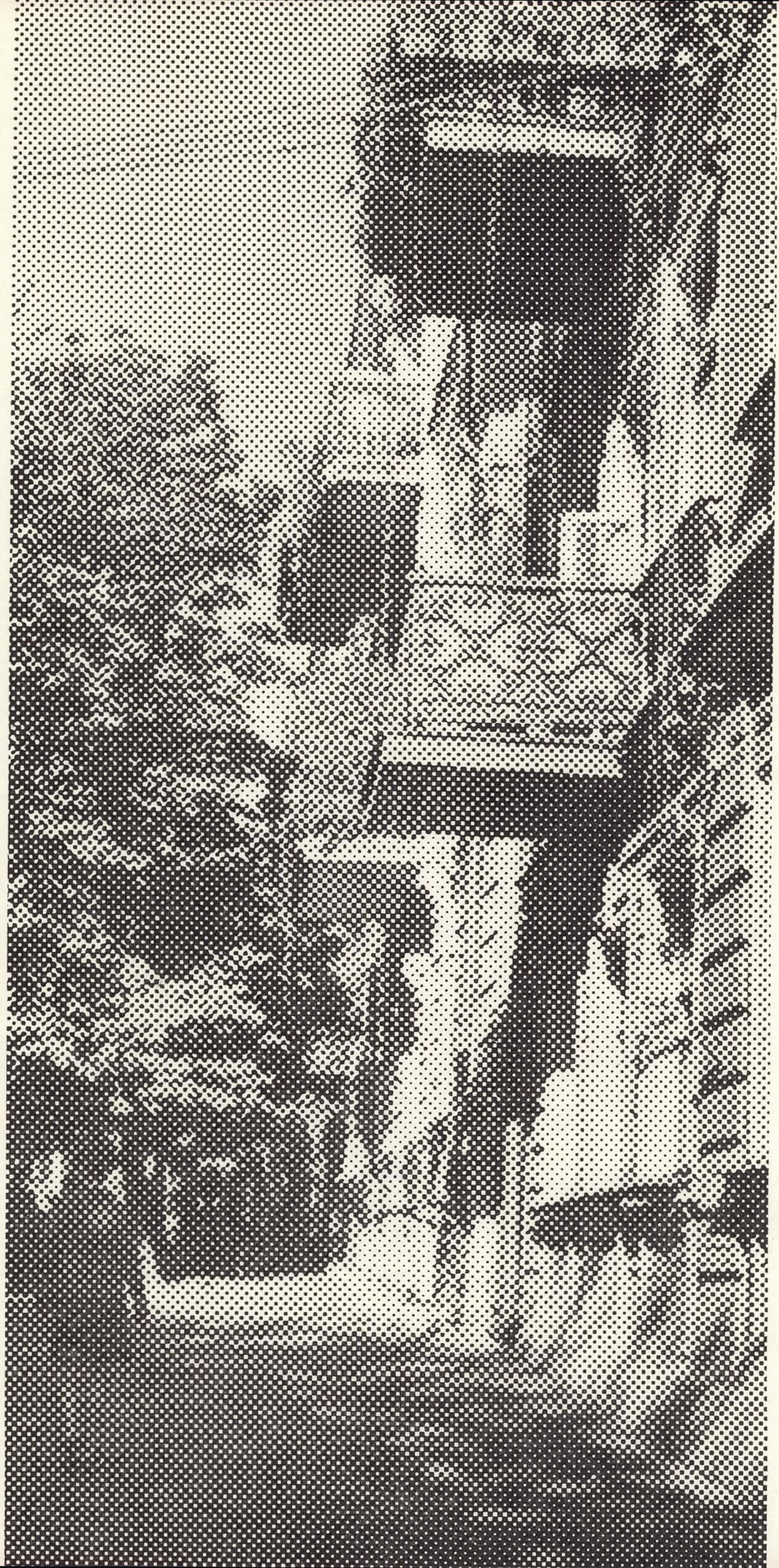
その場合の調達原資としては，銀行などの預金，金融債，財政投融資金，社債，政府保証債などが考えられ，地域開発，社会開発のための専門金融機関をどのような方法で設立するかについては，現在，建設省で次のような5案で検討されている。

① 開銀を改組した社会開発金融機関
② 開銀から社会開発金融部門を分離，または新しい専門銀行の創設
③ 政府資金，民間資金を混合した商工金型の専門銀行
④ 民間を中心に特殊な長期信用銀行
⑤ 長期信用銀行をそのまま社会開発金融の専門機関とする

このようななかで，先にも述べたように，政府資金だけでなく，民間資金の大幅な導入を図る大型の専門金融機関の創設が必要であり，各分野から結集された大型のエネルギーで大規模な開発を実施しないと，未来の大型にして多様な需要に対応できないであろう。

そして，これまでの産業基盤整備への努力を今後とも継続強化するとともに，立遅れの著しい生活基盤整備に抜本的な対策が求められている。人間のための快適な生活環境づくりを基盤とする豊かな生活の実現をめざす開発が，地域開発の基本的理念であり，そのような理念に立脚して，社会経済のさまざまのシステムが相互に有機的に関連づけられるよう，充分な配慮のもとに諸施設の建設がなされるべきであろう。

（やました　たかし　大阪府立商工経済研究所地域経済調査課長）



日本建築協会 月間の動き

□昭和46年3月分□

定時評議員会

29日　4時～5時半　於会館集会室
出席者　小川，星正副議長ほか19名
委任状　64名　計　85名
理事　福田，岡橋，小林理事
議事(1)評議員会議長及び副議長互選の件
(2)会長補選の件
(3)副会長2名選任の件
(4)理事21名選任の件
(5)役員重任承認の件
(6)名誉会長推挙の件
(7)昭和46年度収支予算承認の件
なお評議員会閉会後会館建設借入金の内52万円の償還抽せんを行った。（本年度償還金額102万円の内50万円を日本建築学会へ償還）

評議員懇談会(技術部門)

18日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　星評議員ほか19名
評議員会副議長ならびに会長，副会長(1名)技術部門選出9理事候補者推せんに関して懇談

理事会

25日　4時～5時　於会館集会室
出席者　東畑，横尾正副会長ほか9理事
議事(1)昭和46年度収支予算承認の件
(2)事務局職員採用の件
(3)常務理事重任承認の件
(4)入退会者承認の件
(5)報告事項

会計理事会

3日　正午～2時　於会館集会室
出席者　山田主幹ほか2名
昭和46年度収支予算案の審議

編集委員会

「都市と港湾」特集編集幹事会

4日　3時～5時　於会館集会室
出席者　水谷，細川，坂井各特別幹事
垂水幹事ほか1名
議事　7月号＝都市と港湾特集企画並びに執筆者について

委員会

8日　4時～6時　於会館集会室
出席者　鳥田委員長，安田理事ほか6名
議事(1)4月号＝都市生活とみどり特集経過報告
(2)5月号＝企画と設計のプロセス特集経過報告
(3)6月号＝解体工学特集経過報告
(4)7月号＝都市と港湾特集企画
(5)8月号以降の企画
(6)シリーズもの
(7)編集委員委嘱の件
(8)そのほか

作品作風小委員会

16日　6時～8時　於会館集会室
出席者　近藤主査ほか4名
議事　5月号作品の決定

事業委員会

見学会小委員会

4日　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　山野副委員長，金子幹事ほか1名
議事(1)2月に実施した見学会の報告
(2)3月～5月の見学会の企画について
(3)明年度6月以降の見学会案について
(4)明年度小委員会の人選について
(5)そのほか

各種説明会小委員会

5日　5時～6時　於サンエインスクラブ
出席者　近藤副委員長，三宅幹事ほか3名
議事(1)第2回「住宅の電気・ガス熱源によるセントラルヒーテイングについて」の説明会の報告及び反省
(2)明年度の人選について
(3)そのほか

展示会小委員会

9日　6時～7時半　於会館3階会議室
出席者　窪田副委員長，木原幹事ほか2名
議事(1)第9回展示写真について
(2)第10回以降の展示写真の企画について
(3)明年度の人選について
(4)そのほか

若い会員の集い小委員会

9日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　上田副委員長，佐藤幹事ほか5名
議事(1)次年度委員について
(2)次年度副委員長，幹事について
(3)若い会員の集いの目的，運営について
(4)そのほか

委員会

11日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　北垣，窪田，三品，正副委員長，佐々木，佐藤，三宅，木原各幹事ほか4名
議事(1)各小委員会の事業報告
(2)3月～5月の事業企画について
(3)明年度の事業企画について
(4)委員会の組織改組について
(5)明年度委員の人選について
(6)そのほか

若い会員の集い幹事会

17日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　上田副委員長ほか4名
議事(1)事業方針について
(2)運営のための内規について
(3)そのほか

住宅委員会

住宅スライド小委員会

4日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　岩本主査ほか4名
議事　スライドの作成などについて

住宅展小委員会

15日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　湯浅主査ほか2名
議事　第8回「よろず相談住宅展」の会場計画

住宅資料小委員会

16日　5時半～7時半　於会館集会室
出席者　佐孝主査ほか4名
議事(1)住宅資料の選別について
(2)そのほか

委員会

22日　6時～8時　於会館集会室
出席者　岡橋委員長ほか15名
議事(1)第8回「よろず相談住宅展」について
(2)住宅資料及びスライド小委員会の報告
(3)次年度の委員について
(4)そのほか

教育委員会

委員会

18日　正午～1時半　於会館集会室
出席者　橋本，岩下，辛木正副委員長ほか4名
議事(1)本年度の事業報告について
(2)次年度委員会の申送り事項について
(3)次年度委員会の構成について
(4)そのほか

建材委員会

委員会

23日　3時～5時　於会館集会室
出席者　堀内委員長ほか8名
内外木材工業2名
山陽木材防腐2名
議事(1)集成材について
(2)次年度の委員について
(3)そのほか

建築データシート編集委員会

委員会

25日　6時～8時　於会館集会室
出席者　中原，松村正副委員長ほか11名
議事(1)新建築データシートの構想について
(2)建築データシートの収支報告について
(3)建築データシートの合本について
(4)そのほか

見　学　会

泉北高速鉄道と泉北ニュータウンの開発情況見学会

6日　12時50分～5時

参加者　55名

近畿大学創立45年記念事業として完成した新建築の見学会（本館・図書館・記念会館〈体育館〉・クラブセンター）

10日　12時半～5時

参加者　45名

(1)本館・図書館

設計監理　(株)富家建築事務所
近畿大学営繕課

施　工　(株)松　村　組

(2)記念会館〈体育館〉

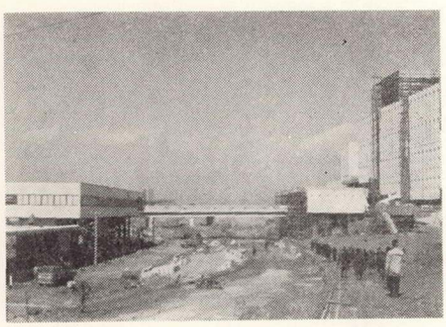
設計監理　(株)安井建築設計事務所
近畿大学営繕課

施　工　(株)大　林　組

(3)クラブセンター

設計監理　(株)安井建築設計事務所
近畿大学営繕課

施　工　(株)大　林　組



泉北ニュータウンセンター附近



近畿大学見学会

サントリー本社ビル新築工事の見学会

（本会，大阪府建築士会，日本建築学会近畿支部　共催）

19日　3時～5時

参加者　90名

設計監理　(株)安井建築設計事務所

施　工　(株)竹中工務店

説　明　会

実務に直結した建築工事別説明会（第2回）

「住宅の電気・ガス熱源によるセントラルヒーティングについて」

5日　1時半～5時

於大阪科学技術センター

聴講者　168名

住宅の電気・ガス熱源によるセントラルヒーティングについて

(株) 安井建築設計事務所取締役社長
佐　野　正　一氏

住宅における電気によるエアコンディショニングについて

関西電力（株）臨時社屋建設室副調査役
宮　田　敏　雄氏

電気による住宅用冷暖房機器について

三菱電機（株）大阪商品営業所技術専門係長
薮　内　一　郎氏

住宅のガス・セントラルヒーティングについて

大阪瓦斯（株）営業開発部課長
柿　原　　武氏

大阪瓦斯（株）営業開発部係長
山　本　長　司氏

創立記念日の集い

記念講話・映画と祝賀パーティ

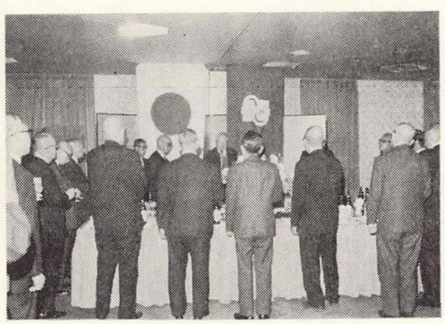
30日　2時～4時半

於大阪コクサイホテル

出席者　70名

名誉会長，名誉正会員，支部長および友好団体，日刊建設新聞の代表をお招きして創立記念日の集いを開催。大阪市公園部長加藤一男氏の「都市と緑」についての講話を伺い，続いて大阪市ご提供の町を緑に（大阪城森林公園）第2部の映画を上映後祝賀パーティを開催した。

創立記念日祝賀パーティー



記念講話



3会事業委員長打合会

18日　正午～2時

於日本建築学会近畿支部

出席者　矢野士会，山田学会委員長ほか事務局員5名

議事　4月以降の共催事業について打合せ

3会役員春季懇親会

31日　5時半～7時

於大阪商工会議所ニューコクサイ

出席者　東畑会長ほか31名

3月の入会者（敬称略）

〔個人会員　34名〕

青木洋子	五味　彰	部坂常彦
秋吉正敏	佐々木善美	前畠　功
稲田利明	末原親司	松田康男
市山峰隆	鈴木康夫	松本幸雄
上原俊一郎	竹中正和	丸杉誠一
大久保信行	谷　博幸	三久保善正
金田　環	津田郁三	三柳　実
川原琢磨	長沢　毅	目黒　博
神田哲秀	浪越　満	山田哲雄
木次　勲	野田昌幸	山野哲太郎
北浜　茂	東田利昭	
北間秋夫	福井　啓	

〔准会員　14名〕（氏名省略）

2級建築士試験の3年打切り制実施

2級建築士試験の方法は昭和34年から5年循環制でありましたが，滋賀，大阪，兵庫，奈良和歌山の各府県では昭和46年の試験より3年打切り制に変更されます。

3年打切り制とは，試験科目のうち1科目以上の合格点を得たときから引き続きの2回の試験において残りの科目に合格点を得た者が合格者となります。初回を含め3回の試験において5科目の合格点を得なかった者は，その後の試験を受けるときは，初回と同様に全科目を受験することになります。

また昨年（昭和45年）までに受験をし1科目以上の合格点を得て現在科目免除をうけている者については，昭和49年の試験まで従来と同様の取扱いをおこないます。

なお詳細については下記のところでおたずねください。

滋賀県土木部建築課　0775（24）1121
大阪府建築部市街地建築課　06（941）0351
兵庫県建築部建築指導課　078（34）7711
奈良県土木部建築課　0742（22）1101
和歌山県土木部建築課　0734（23）6111

プラスチックサッシュについて

日本建築協会建材委員会（担当：武　藤　倫　男）

すでにわが国においても，プラスチックサッシュは所々方々で試作されているようだが，陽の目を見るものは少ない。ただ一つ，ダイケンサッシ㈱による『プラスチール・サッシュ』だけが，昨年商品としてデビューした。このあたりで，われわれとしてもプラスチックサッシュを（小児病的な新建材恐怖症に打負かされずに）考えてみる必要がある。幸い外国における情況の一端を知ることができたので，ここで報告してみよう。

米国においては，木製サッシュが最高（ブロンズ，ステンレスは措いて）らしく，プラスチック製は未だ伸びていないようである。英国では規格がきびしい（スチールサッシュは亜鉛どぶづけでないと認可されないようだ）らしく，アルミサッシュでも通常品は住宅用にも使えないらしい。木製に代ってPVC（塩化ビニール）や，FRPのサッシュが，省力化上有用と判定されて出現しだしたようである。プラスチックサッシュの最も盛んな国は西ドイツのようである（文献の限りでは）。前出のプラスチールも源をたどれば西ドイツらしい。一両年前，西ドイツにおけるプラスチックサッシュに関する文献（Bauen mit Kunststoffen）を入手したので，その一部を紹介しよう。

それによると，数10種類のプラスチックサッシュが公開（すなわち市販）されている。49種の中，11種がFRPによるもの，他はPVCによるものである。その中10種についてそのセクションその他を引用する（**第1表**）。PVCによるものは，押出成型（多分）で自由な断面が得られるため，実に自由な断面を作っている。アルミ引抜材が先行しているためそれを模倣している部分も多い。しかし剛性を得るため，大変苦労をしていて，ほとんどがアルミまたは鉄をコア材として使ったり，内挿したりして補強している。または主体を木にして，加工の面倒くさいところをプラスチックに依存したりしているようなものも多い。FRP

第1表　図面は次頁参照

断面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a.使用材料/芯材	PVC(硬)	PVC(硬)	Solvic-Premix (PVC?)	PVC(硬)	PVC/型鋼	樹脂鋳造/金属(ポリエステル?)	FRP	PVC(硬)	PVC(硬)／木	FRP／ウレタンフォーム
b.材料厚さ(mm)	2	2	3	2.5	2～2.5　1.5～4	芯によって相違	2～5	3	1.5	2～4
c.重さ(kg)建具(枠共)周囲延m当り	1.0	約0.8	1.67	1～1.2	0.7～1.3（芯不含）	5	0.8～1.5	1.3	1.44	1.75
d.熱貫流率(Kcal/m²h°C)	2.4	0.4～0.6	——	約2.0	2.3	3.86	——	2.2～2.45	1.9	0.9
e.標準大きさ(cm/cm)	DIN－18050 その他は注文	注文による	120/135 その他は注文	DIN－18050 その他は注文	DIN－18050 その他は注文	DIN－18050	DIN－18050 20以上注文に応じる	76/101 ～201/151 すべて注文	DIN－18050	DIN－18050
f.標準色	白、明灰	白	白（明灰）	白、明灰(暗灰)	白,明灰,暗灰 その他は注文	何でも可	白、アイボリー 銀灰、褐、ベージュ	白、明灰、暗灰	白（灰）	照会に応ず
g.窓種類	内倒、辷出 回転、開き その他	内倒、辷出 回転、開き	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
h.ガラス	一重および絶縁ガラス	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
i.用途	住宅、商業用 工業用	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
j.価格(DM/Stck) 50以下	140.—	280.— (ガラス共)	260.—	185.—	195.—	—	230.—	224.—	98(＋10～50%)	290.—
50以上	130.—		250.—	175.—	185.—	150.—	222.—	220.—	98.—	280.—

a. 大きさのDIN－18050はドイツ連邦規格。
b. 価格はシングルガラスマド138.5cm×138.5cm一枚当り。上は50セット以下、下は50セット以上。

第2表

	PVC(硬)	FRP	木（ドイツ松平均値）	鋼（DIN. ST-37）	アルミニウム
密度(gr/cm³)	1.38	約1.8	0.5	7.8	2.7
圧縮強度(kg/cm²)	800～900	1500～1800	＝400 ⊥ 40	2200～2400	700～1100
曲げ強度(kg/cm²)	820	1300～1500	870	3700～4500	700～1800
引張強度(kg/cm²)	480	1000～1400	＝700 ⊥ 25	3700～4500	700～2500
E－Module (10^5kg/cm²)	0.24	1～1.2	＝1.2 ⊥0.046	21	7
線膨張係数 (°C×10^{-3}mm/m)	100	16	＝3.6 ⊥ 64	12	23
耐熱使用限界(°C)	約40	約130	約130	200～300	150～200
吸水率（%）	——	約0.2	35～50	——	——

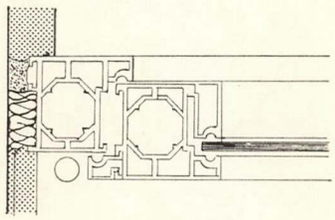
第3表



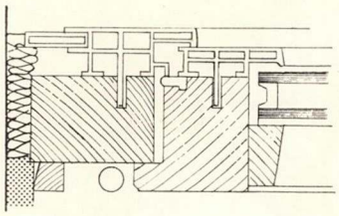
1DM≒100円

サッシュ断面図（番号は第1表の図面番号に対応する）

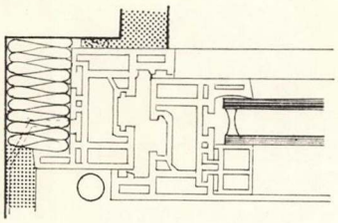
1. AVASYSTEM1001



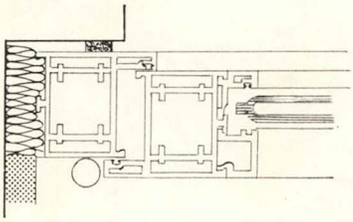
2. DIAPAL



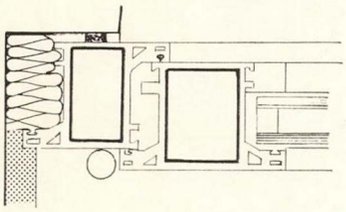
3. ILLERPLASTIC



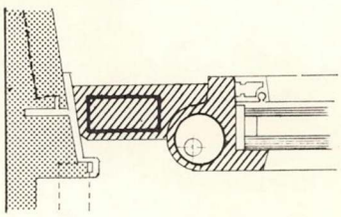
4. KMT-HART-PVC



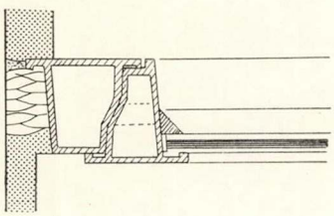
5. KMT MIT STAHLTRÄGERROHR



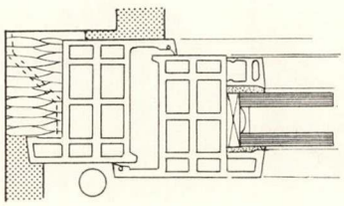
6. KN-FENSTER



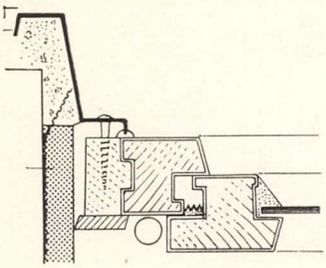
7. ROSTOFREE



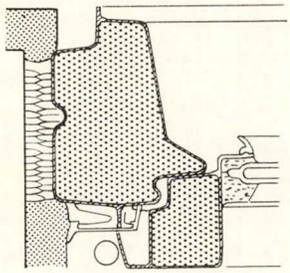
8. POLYCELLA



9. MONZAPLAST



10. SYKOTHERM



のものは，剛性はかなり高いので，これらの断面では，他材の補強なしにやっているのが多いが，成型については未だ量産化が進んでいない材料であるので，工業化についてはまだまだ問題多く，これからの素材のようである。断面にプラスチックフォームを充填するタイプは，熱貫流抵抗を狙ったものらしいが，窓としてのK—バリューはガラス面で定まってしまうところが大きく，二重ガラスにしなくては全く問題外のことである。

これらのサッシュ材料(在来品を含む)についての，性能比較が，あるカタログ（西ドイツFRPサッシュ）に記載されていたのでそのまま借りてきたのが**第2表**である。プラスチックのよさは，軽量，強度，吸水の低さ，また表にはないが，熱抵抗性大，成型性のよさによる型の自在性および価格の相対的低さ，耐蝕性にあり，耐火性，剛性においてきわめて劣る。価格は，一般的にいえばメンテナンスなどを考えれば，それほど高いとはいえないはずである。耐火性については，使用場所を撰択することできわめて有用となる。剛性については，耐風圧の点で逃げようがない場合が多い。FRPのごとく現在のプラスチック(厳密にはコンポジットの1つ)では最も高い値を示しているものでさえ，モデュラスはアルミの5分の1がせいいっぱいである。住宅用の1間×1間または1間×2間などのような大きな窓，しかも100㎜，せいぜい120㎜の見込みの中での引違い窓となると，断面の設計はきわめて難しい。やはり鉄芯が必要になるようである。欧米におけるプラスチックサッシュは，先の例にあるごとく開き，回転が主で，少なくとも引違いは見られない。見込みが大きいため可能性は充分といえる。その他，気候，インテリアなど理由から建具というものに対する彼我の考え方も異なる点が多いのも，その存在価値を相違させているようである。この辺をよく理解して，われらの条件に合ったサッシュが作られてくるはずであろう。

次に，プラスチックサッシュの価格であるが，種々の条件さえ整えば，手軽に入手し得るはずであるが，即座にはそのようにいかないようである。参考のため，再び西ドイツの例によれば**第3表**のごとくである。これは，1968年の価格分布で，対抗品に関する仕様の想像もつきかねるが，わが国におけるより重厚なものとして間違いなかろう。68年における西ドイツのプラスチックサッシュの市場占有率は3％ということであり，その後すくすく伸びているようであるからもう1割を越えているだろうし，そうなれば価格も下っているものと思う。因みにプラスチックの原材料は当時西ドイツにおいて，下記のようである。

硬質PVC	1.50〜2.00	DM/kg
不飽和ポリエステル樹脂	1.30〜2.40	〃
ガラス繊維	4.00	〃

日本と比べて，やや高い目であるが，大きく相違するものでなさそうである。

合成樹脂サッシの先駆者として あらゆる評価に耳を傾けています。

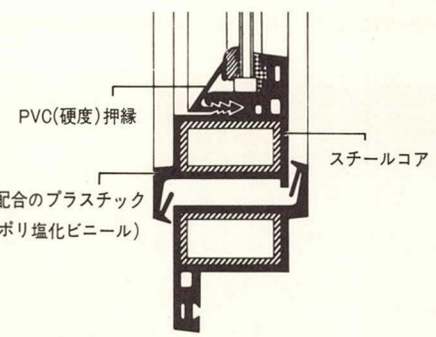


日本初めての合成樹脂サッシ「プラスチール」——私達は、サッシの素材をスチール・アルミのみならず、ひろく合成樹脂に求め、その製品化を実現しました。そしていま合成樹脂サッシの先駆者として、責任と使命感に燃えプラスチールの普及活動を力強く進めると共にその過程にあって、この革新的なプラスチールに投げかけられるさまざまな評価に、私達は、専門的な見地から謙虚に耳を傾け、新たに始まろうとしている合成樹脂サッシ時代への幕明けのため、ひたむきに努力を重ねています。

建築界待望の合成樹脂サッシ
画期的な建築素材として注目を集めています。

- ■「ASTQR・PLASTEEL社」から技術導入
- ■カーテンウォール、各種サッシ・ドア、ストアフロント、手すりなど用途は豊富
- ■強度・気密性・水密性・遮音性などサッシの条件をすべて満たしています。
- ■特に、潮風・公害対策に理想的——醸造所・化学工場・給水所・温泉場・海辺の建物等に最適!!

＊プラスチールに関する疑問点は、質問券を添付のうえ、下記の住所にお問い合せ下さい。



住友商事株式会社
大阪 大阪市東区北浜5－15
建材課 〒541 TEL (06) 203－1221(大代表)
東京 東京都千代田区一ツ橋2番2号
物資建材課 〒100 TEL (03) 217－7286～9

ダイケンサッシ株式会社
大阪支社 大阪市東区南本町5－14
〒541 TEL (06) 252－1881(大代表)
東京支社 東京都千代田区岩本町1－11－2
〒100 TEL (03) 861－9421(大代表)

質問券

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル5階 502号室）
直通電話　大阪（364）2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5（電話㉒2923）

OKUYAMA KAKOGYO WATER-PROOF OAM

新工法！
プレノテクト吹付工法

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

コーパータイト

8対2の防水（冷工法）　デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

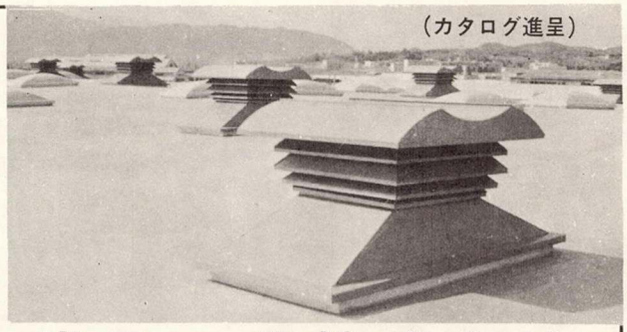
本　社　東京都中央区銀座8－4－11　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り2-3-1　電話(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811)3660・3104
札幌出張所　札幌市北三条東四丁目　電話(231)7511

特許　岩元式ベンチレーター
（電動式並固定型各種）

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強制換気扇付）
新型　換気塔 SFスーパー　（特殊装置による風量増幅 換気扇の能力を倍増する）
最新型　採光排気塔（風光）スーパーライン特殊増幅装置付

スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式

（カタログ進呈）



岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電話（981）～0618

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町2－7　電話(434)6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町375　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

冷暖房　各種サッシ
給排水、衛生水道　環境衛生施設
電気　荷役運搬機械
厨房　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202)代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳
本店　大阪市西区江戸堀1－60　電話(441)8231大代
支店　東京・名古屋・福岡
営業所　札幌・仙台・金沢・神戸・広島
出張所　京都・岡山・高松・熊本・横浜
新潟・富山・福井・豊田

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市都島区都島本通4－10－30　電話(922)6251(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話(667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4945(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 5892

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃空調

本社　大阪市北区富田町16番地　電話(363)大代表1371
支店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292)代表7751
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話(47)代表4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話(76)代表3795
出張所　名古屋・富山・神戸・福井・京都・松江

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊫(572)7411代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22　㊫(203)3721代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊫(211)1535代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島　出張所－北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話 大阪(443)5041～5番

東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話 東京(270)7411番(代表)
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌(22)5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話 金沢(21)2074
福井出張所　福井市御幸2の1　電話 福井(24)2436
高松出張所　高松市2番丁9　電話 高松(21)5195
岡山出張所　岡山市大供380の1　電話 岡山(24)5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪(06)761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話 東京(03)262－3241～4番

創業 大正二年
暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京都千代田区丸の内2の2　丸ビル676号
電話 212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル616号
電話 443代 3361
札幌店　札幌市北十条西18丁目36番地　電話 61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄3の5番29号　千代田ビル514号
電話 261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町48番地　電話 681(代)1781

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話(364)6661(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話(211)8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話(21)4491
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話(971)3621

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町1丁目57
電話 (351) (代表) 2808
本社 東京都文京区本郷1丁目12－5
電話 (814) (代表) 5151
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備 ・ 設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331 大阪市西区江戸堀通2の2

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

髙砂熱学

大阪支店 大阪市北区梅田8番地(新阪急ビル8階)
電話 大阪 (312) 4521 (代表)
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生 設備 設計施工

不二熱學工業株式會社

本店 大阪市南区順慶町2－50 電話 261－2436㈹
東京支店 東京都大田区西馬込1－2－1 電話 773－1231㈹
営業所 銀座・浜松・京都・神戸・福岡

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25 (新大ビル)
電話 大阪 (344) 1512 (大代)
本社 東京都中央区日本橋本石町4－2 (三井第二別館)
支店東京・名古屋 出張所 九州
工場 埼玉県北足立郡・東京都足立区

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀1丁目62 電話(443) 代表8161～9
支店 名古屋市中村区水主町1の12 電話(541)0966(551)1655
出張所 東京都港区赤坂2丁目3～12 赤坂ピークビル5階 電話 (583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1 電話 (34) 1778・4386

MODAIR
空気調和設備 設計施工
換気・除塵設備

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目 TEL(443) 8071
本社 東京都中央区京橋2丁目9 TEL(562) 1351
支店 名古屋・福岡

空気調和装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店 大阪市東区高麗橋5－45 (興銀ビル別館)
電 大阪 代 (202) 7745番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の8
電 東京 代 (901) 3191番
空調事業部 東京都港区西麻布4-15-23(第5興和ビル)
電 東京 代 (409) 0151番
支店 名古屋・仙台

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社 京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話㊿7431～3
大津出張所 大津市打出浜13－15 電話 0775 ㉒9738
津営業所 津市栄町2－111 電話⑧3610

Carrier
冷暖房はキャリア
CARRIER

東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所 大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661～5

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11 電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作

日本エレベータ工業株式会社

代表取締役 長尾正大

本社 大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル) (351) 4927代
大阪営業所 (351) 4927代 サービス事業所 (328) 0364代
東京営業所 (822) 0995代 工場 (328) 0363代

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町1丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都新宿区戸塚1－95－7
電話(200)5911代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)1361
営業所　京都市右京区西京極郡三反田町11の5
TEL　代表　(311)1185

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役会長　西村庄市
取締役社長　小林四郎

本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06)452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06)462－1301(代)

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所(2)2607・4259

電気工事設計施工

株式会社　三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話㊫3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話㊫1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村　勝
取締役社長　立石行男

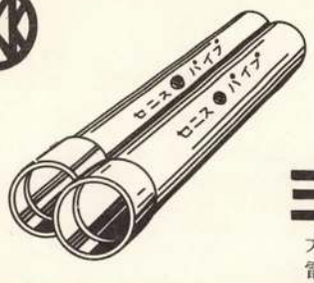
本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

株式会社　ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール

株式会社
三幸商會

大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　4031

奉仕感謝の店

タイル工事施工

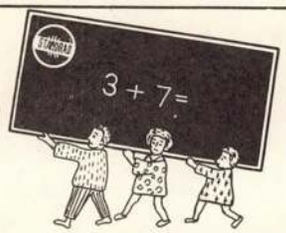
特許申請中・完全滑止タイル

サンエス
SSS　タイル新発売

（カタログ進呈）

株式会社 **川岸窯業商店**

大阪市西区靱本町２丁目９８　　靱本町電停前
電話　大阪　(532)　０４６１～４番



Standard　Board&Slate

フタバ黒板

大阪市東住吉区桑津町三丁目１０１番地　電話大阪(717)4561～2

営業品目

● カネボウゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付

合同特許建材工業株式会社

本社営業所・大阪市東住吉区駒川町３－54　電話(702)代7814～6
特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート



源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。

株式会社 **吉田芳雄商店**

本　店 大阪市北区旅篭町18 電話(361)3450・(364)2345
源八橋店 大阪市北区天満橋筋4―78 電話(358)1790・1838

株式会社 矢橋大理石商店

大阪支店

大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話　大阪　(202)　4905

FUTABAYA　DECORATORS, LTD.
建築物・船舶等の造作工事及び
室内装飾工事の設計施工
建具、パネル、家具、各種木工品の製作
内外装飾織物、窓掛、敷物、壁紙類一式
（創業大正７年）

二葉屋装備工業 株式会社

取締役社長　若林繁吉

大阪府知事建設登録
(る)第16216号

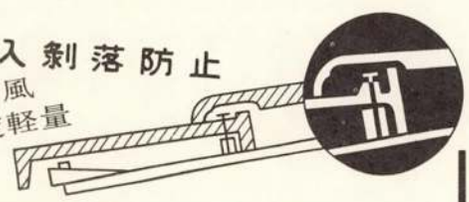
大阪市大淀区本庄川崎町２の６
電話・大阪(371) 3321～3・3630

社寺数奇屋用瓦……**大仏瓦**
内外装用窯変美術タイル……**大仏タイル**

(株) 大仏

本　社	京都市東区山今熊野大仏池田町９の９	075(541)3344(代)
大阪営業所	守口市佐多東町１丁目23アマダビル	06 (901)0156
名古屋営業所	名古屋市守山区大字小幡山脇27	052 (792)1321
東京営業所	東京都渋谷区上原１丁目29の４	03 (467)1641
工　場	京都清水・山城・瀬戸	

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

３寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目26番地　電話(64)2550

青写真とマイクロフィルム

株式会社
内外写真

製図・トレース・複写写真

本　　社 大阪市北区堂島北町１６ TEL (345)9055(代表)
本町営業所 大阪市東区本町4-27御堂ビル TEL (252) ３９０６
横堀営業所 大阪市東区横堀２－３６ TEL (202) ５２６０

発明賞に輝く各種特許235件所有

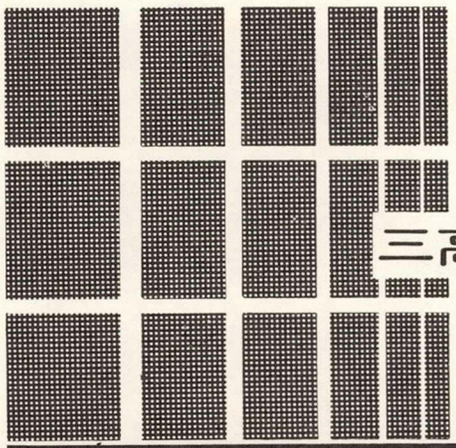
特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

KJK 株式会社 鈴木シヤタア商会
大阪市北区茶屋町33番地 電話大阪(06市外局番)371代表4151~6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番)21—2287



スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499) 8151 代表

近代建築の要求する

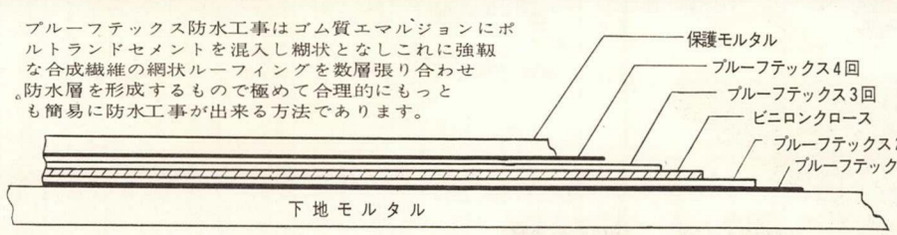
＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店 大阪市北区若松町30 電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場 東京都北区田端町1138 電話東京(893)5211～5

プルーフテックス防水工事

プルーフテックス防水工事はゴム質エマルジョンにポルトランドセメントを混入し糊状となしこれに強靱な合成繊維の網状ルーフィングを数層張り合わせ防水層を形成するもので極めて合理的にもっとも簡易に防水工事が出来る方法であります。



《特長》
1)防水性が優秀
2)接着力が強大
3)火気を要しない
4)耐摩耗性
5)物理的強度優秀

耐酸工事・防水工事専門店 耐酸化学工業株式会社
大阪市北区高垣町80番地
電話大阪(06)361・0178代

腐らない そして燃えない
法定不燃材 829号

ケミカラーオーシマメタル
新しい型の
ひふくてっぱん

屋根材、壁材・谷樋棟包水切に
スタンダードメタルの大島応用化学
東大阪市新庄(782)4171代

特許 内外式 意匠登録
電動ベンチレーター
屋上強制換気装置製作のパイオニア
50年の豊富な経験と技術、研究により
1．最高の換気率
2．スマートな外観
3．雨仕舞の完全
4．価格の低廉
5．直傭工による施工の完璧
6．行届いたアフターサービス
近畿コカコーラボトリング美原工場
NK型口径 900m /m (モートル 3HP) 40基
内外建材株式会社
本 社 大阪市西区江戸堀北通1－25(相生ビル) TEL(441) 3983～4・4396
工 場 大阪市城東区天王田町1の141 TEL(962) 1149
内外式コンチニアスベンチレーター
筒型ベンチレーター
内外式ガラス屋根
内外式連続採光換気装置
設計施工

Taniyama
送風機
株式会社 谷山鐵工所
営業品目
●LAF形 リミットロード送風機
●VAF形 可変式軸流送風機
●SAF形 ストリームライン送風機
●CAF形 (特許) 遠心式静音軸流送風機
本社工場/大阪市城東区野江東之町二丁目一番地
電話 大阪 (931) 代7803～9
東京出張所/東京都文京区湯島四丁目六番十七号
東京(814) 6651～3

シヤッターの総合メーカー
豊かな経験と
最新の技術…
東洋シヤッター
東洋シヤッター株式会社
本 社 大阪市東区谷町5－30 新野村ビル TEL(762)5861代
本 社 東京 (543) 2281・名古屋 (331) 6171・大阪 (352) 4571
営業所 横浜・滋賀・京都・神戸・福岡・他全国主要都市

全国で好評の……新興の内装壁材を！

新しい時代の新らしい壁
ヒル石基材の燃えぬ壁材

ダイシンコート

（特長）

耐火・耐水・耐アルカリ・防音・保温・吹付・塗付



革新塗料現る

①ソフトな感覚、優雅な味
②ペイント塗料に優る
③塗りかえ自由
④安価で塗りよい
⑤吹付施工も自由
⑥洗いも下地も自由

繊維塗料の

シンコソール

全国有名建材店又は当社へ

新

繊維壁材（通称）わたかべ

耐水、耐アルカリ性時代来る

漆喰差支なし
ドロマイドプラスター
セメントモルタル
下地
落ちない
塗り良い
塗面が強い
水に強く
（特長）

すゝき・かゞいすゞ・新四七錦王
香宝紋座

●カタログお送りします



（株）新興建材工業所
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL 大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元

新興壁材工業（株）
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪（672）１６６１～３

（株）九州新興建材工業所
福岡市上牟田八田町２６の１　TEL 福岡（41）５２２５～６

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

燃えない
われない
腐らない

長尺物・色彩自由・責任施工

品種　オリエンタルメタル（O.P.M）
オリエンタルスーパーメタル（S.P.M）
オリエンタルカラードメタル（C.P.M）
カラースーパーオリエンタルメタル（C.S.P.M）

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波

用途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
通風器・排気ダクト・モニター

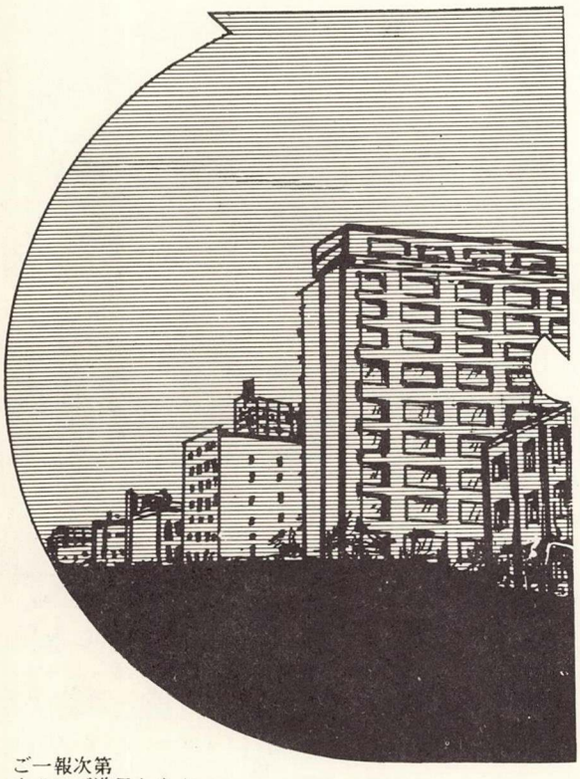
オリエンタルメタル製造株式会社

本社　兵庫県尼崎市昭和南通り3－26松本ビル　電話　大阪（412）5131代表
東京支社及工場　埼玉県蕨市塚越５丁目６番３２号　電話　蕨（42）3115～８
大阪支社及工場　兵庫県尼崎市長洲稲川新田４４　電話　大阪（488）1081代表
九州支店及工場　福岡県遠賀郡水巻町頃末　電話　八幡（69）2831～４
名古屋支店及工場　名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル　電話　名古屋(581)2781～4

カタログ御請求下さい。

モルタル・コンクリート用

マノール 防水剤



＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。

＊ＡＥ効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。

＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

その他マノール製品

急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤

エスコート（セメント起泡剤）・エアコール（場所打ち杭工法添加剤）

ご一報次第
カタログ進呈します

セメント混和剤・助材綜合メーカー

株式会社 油脂化工社

東京都品川区大井１－15－１　☎ 東京 (774) 4111代表

関東営業所	茨城県土浦市大町１２１３	☎ 土浦 (21) ５１８９
東北営業所	福島県福島市下野寺字遠原	☎ 福島 (34) ７１１１
盛岡営業所	岩手県盛岡市南大通３－12－50	☎ 盛岡 (24) ０２１３
大阪営業所	大阪市東成区東中本２－17－26	☎ 大阪 (971) ４７６５

新製品

特許セメント分散剤
コンクリート減水剤

● リグコン

特許 セメント分散剤 コンクリート減水剤
リグナール

建設大臣認定

● 三段ブロック

其の他コンクリート二次製品

● 宅地造成・分譲

指導　神戸大学土木工学部長
　　田中　茂教授
設計　日建設計工務株式会社
現在二団地設計中

● 耐火・防水外見板
　SPボード代理店

● 日本鋼管
　NKプレハブ代理店

● 高弾性目地材　エスシール＃31

● 防水材　エスシール＃21

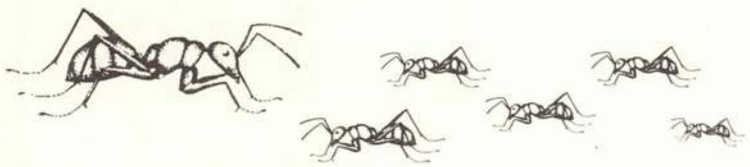
リグナール製造発売元

神戸枝料株式会社

本　社　神戸市葺合区熊内町２丁目８８番地
　電話０７８代表（２３）１４２１・６９５６
東京営業所　電話０３（２９４）６１６７・６１７７
福山出張所　電話　０８４９（５３）２　０　２　７

蟻の集団

誠実・勤勉、しかもファイトある蟻――それがわれわれです。



東パキスタン地下放送が沈黙
政府軍拠点を制圧
ニューデリー4月2日発

ほうれん草以外は安全
多摩カドミウム汚染地区の野菜

ホットパンツ流行
今秋流行見込が早くも爆発的

技術の結晶**ユニオンボード**施工体制の確立**アコニオン**高精度パネル**カルトン**全国的販売組織**アコニオン**
K＝0.86Kcal/m²h°c**ホローライト**耐火60分1021号**カルトン**曲げ破壊荷重500kg**KCパネル**全国的販売組織
ユニオンボードL＝0.034Kcal/mh°c
トによる特殊接着**KCパネル**K＝2.4
ートメーションシステム**ユニオンボ**
g**ホローライト**耐火30分0027・0028号
Kcal/m²h
カルトンL
造**ホローボ**
h°c**ベニオ**
ルトン遮音
イト内壁パ
8号**ユニオンボード**フロンテアスピリット**ベニオン**乾式構造**カルトン**オートメーションシステム**ホロー**
ボード曲げ破壊荷重500kg**ホローライト**防火55号・99号**ユニオンボード**曲げ破壊荷重500kg**アコニオン**L＝
0.097Kcal/mh°c**ホローボード**乾式構造**カルトン**技術の結晶**カネライトパネル**セメントペーストによる特殊
接着**ホローライト**K＝0.86Kcal/m²h°c**アコニオン**耐火60分1021号**ホローボード**工期大巾短縮**KCパネル**間
仕切**ユニオンボード**内壁**KCパネル**L＝0.034Kcal/mh°c**ホローライト**天井**ボーライト**遮音35db**アコニオン**
K＝2.41Kcal/m²h°c**ホローライト**内壁**ユニオンボード**耐火30分0027・0028号**ベニオン**L＝0.034Kcal/mh°c
KCパネル工期大巾短縮**カネライトパネル**全国的販売組織**カルトン**オートメーションシステム**ボーライト**外
壁**ホローボード**フロンテアスピリット**ベニオン**パイオニヤ**ホローボード**施工体制の確立**カルトン**野地**アコ**
ニオン耐火60分1021号**ホローライト**技術の結晶**ボーライト**L＝0.097Kcal/mh°c**ユニオンボード**フロンテア
アスピリット**ユニオンボード**野地**カルトン**高精度パネル**カネライトパネル**セメントペーストによる特殊接着
ホローライト防火55号・99号**KCパネル**外壁**ベニオン**乾式構造**カルトン**内壁**KCパネル**遮音35db**ベニオ**
ンK＝2.41Kcal/m²h°c**カルトン**間仕切**ホローボード**K＝0.86Kcal/m²h°c**ホローライト**オートメーションシ
ステム**ユニオンボード**施工体制の確立**カネライトパネル**外壁**ホローボード**耐火30分0027・0028号**アコニオン**
全国的販売組織**カルトン**野地**ボーライト**間仕切**KCパネル**防火55号・
ネルセメントペーストによる特殊接着**カルトン**高精度パネル**ベニオ**
1Kcal/m²h°c**ホローボード**L＝0.034Kcal/mh°c**ホローライト**技術の結晶
・内壁**ユニオンボード**乾式構造**KCパネル**遮音35db**ボーライト**L＝0.0
m²h°c**カネライトパネル**セメントペーストによる特殊接着**アコニオン**
ンテア**ホローボード**高精度パネル**ベニオン**L＝0.034Kcal/mh°c**ホロ**
ニヤ**カネライトパ**
ニオンK＝2.4
1021号**カルトン**
ーK＝0.86Kcal
オンボードフロ
織**カルトン**K＝
0.86Kcal/m²h°c**KCパネル**スピリット**アコニオン**耐火60分1021号オートメーションシステム**ホローボー**
ドK＝2.41Kcal/m²h°c**ホローライト**防火55号・99号**カルトン**工期大巾短縮**カネライトパネル**技術の結晶**ベ**
ニオン曲げ破壊荷重500kg**ボーライト**パイオニヤ**ユニオンボード**遮音35db**カルトン**外壁**KCパネル**乾式
構造**カネライトパネル**L＝0.097Kcal/mh°c**アコニオン**間仕切**ホローボード**内壁**ボーライト**野地**ユニオンボー**

ユニオンボードは我が社の技術の結晶です

サンドイッチパネルの総合メーカー JIS表示許可工場

旭化工板製造株式会社

本社・工場　尼崎市下坂部久々知前235
TEL　大阪(06)491－6781(代)

東京営業所　東京都台東区駒形2－3－5(駒形武蔵野ビル)
TEL　東京(03)842－9251(代)

名古屋出張所　名古屋市中区丸ノ内3－18－12(大興ビル)
TEL　名古屋(052)961－5940

福山出張所　福山市松浜町1－1－4(福山不動産ビル)
TEL　福山(0849)23－1491

鈴鹿工場　鈴鹿市三日市町1859
TEL　鈴鹿(0593)78－1165～6

上野工場　上野市山出字柏ケ坪100の1
TEL　上野(05952)3－0205～6

●資料ご希望の方はD係までお申込みください。

日本建築協会優良証明

セメント硬化促進増強防水剤

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

ウォータイトB号

合成樹脂系防水剤　スーパーウオータイト

合成ゴム系防水剤（クロロプレン系）　ウオータイトK

合成ゴム系防水剤（ポリウレタン系）　ウオータイトU

JIS合格品

御一報次第型録並仕様書進呈

ウォータイト式防水工事代行店

安藤工事	TEL福　岡	(28) 5207
川添商店	TEL鹿児島	(51) 0001
大三工業	TEL高　松	(51) 6811
伊東工業	TEL徳　島	(52) 6880
豊永建材	TEL広　島	(61) 6371
東邦防水	TEL札　幌	(82) 3133

株式会社 日本セメント防水剤製造所

大阪事務所	TEL大　阪	(941)2626・2628
宝塚市高台	TEL宝　塚	(86) 2 1 5 3
名古屋出張所	TEL名古屋	(331) 1 5 3 1
仙台出張所	TEL仙　台	(23) 0 7 2 1
東京出張所	TEL東　京	(431) 8 6 4 8

タイプ

TAIP工法

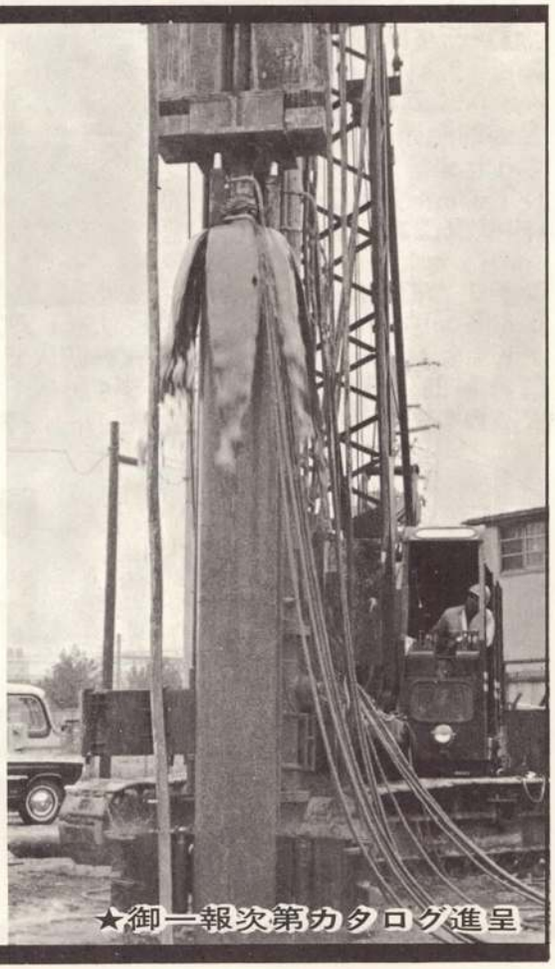
にはハンマー不要です

〈完全無音無振動既製杭工法〉

従来の既製杭を利用して杭打施工時の
振動・騒音を完全に追放しました!!

■主な特長

1. ネジ込力を杭押込力に変えるので完全無振動無騒音です。
2. 根入長さが長く安定した支持杭が施工出来ます。
3. スライムの沈積はありません。
4. 完全に支持層に岩着させるので大きな支持力が期待出来ます。
5. 何米でもヤトイ杭で納められ地下室のある建築に最適です。



★御一報次第カタログ進呈

TAKECHI 株式会社 武智工務所

■本　　社　大阪市東区高麗橋2の20(高麗新ビル)　TEL大阪(202)3233(代)
■名古屋支店　名古屋市中区錦1－3－2(殖産ビル)
■福岡支店　福岡市赤坂1－15－33(第二菊陽ビル)
■営業所　東京・静岡・富山・広島・熊本・鹿児島　■工場　大阪・名古屋・鹿児島



全く新しい床タイルです

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

協同組合員が責任をもって施工いたします

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

これからはピサロンの時代です

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの4F以上の各階通路、エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン

★規格＝333.3　×333.3　×2㎜　9枚／m²
　　333.3　×333.3　×3㎜　9枚／m²
★色数＝18色
★価格＝2㎜厚品　1,200円／m²（300m²以上）
　　3㎜厚品　1,800円／m²（300m²以上）
　　小部屋割増・階段40％高

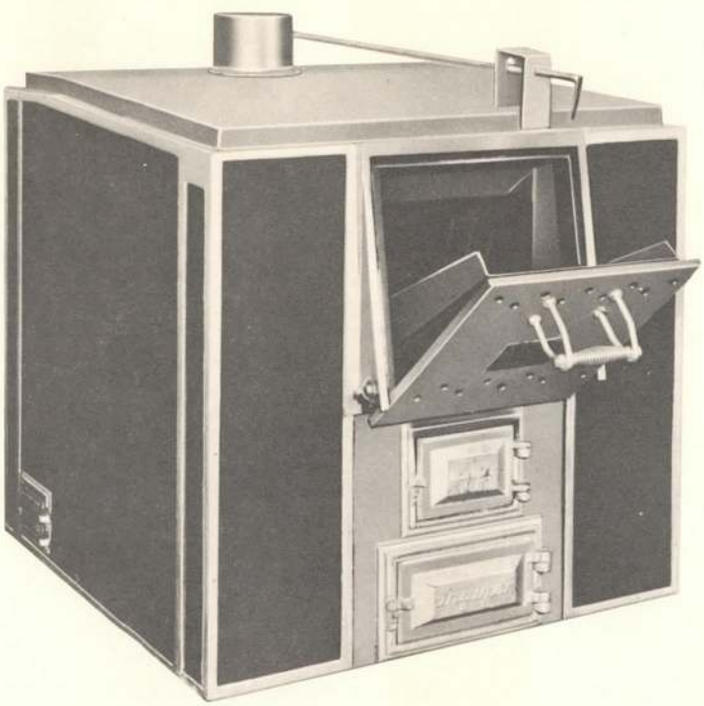
製造元＝田島応用化工株式会社
東京／東京都千代田区岩本町3の11
電話　(866) 6101
大阪／大阪市西区京町堀1の74
電話　(441) 5951

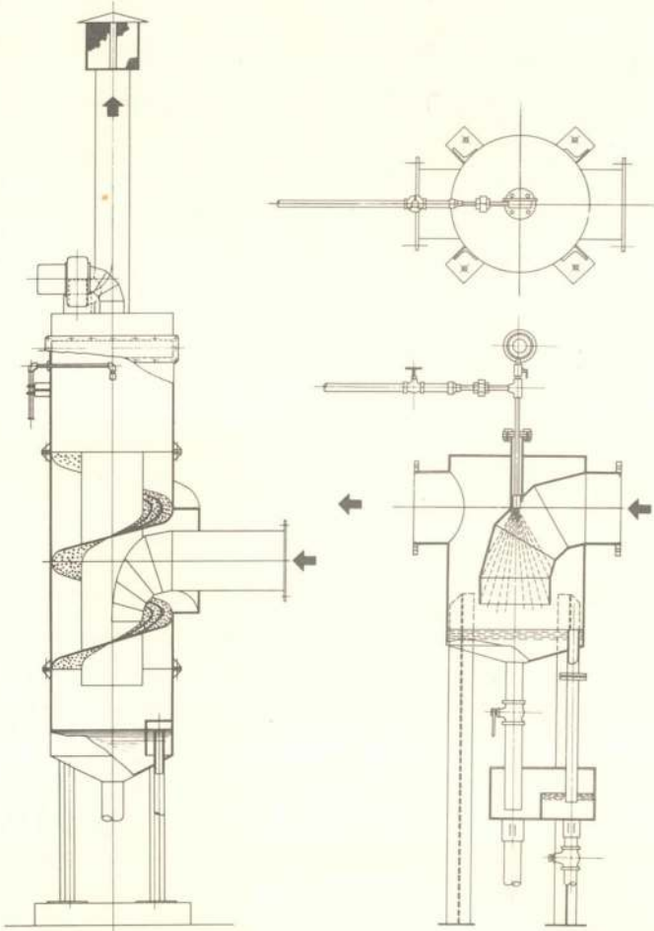
建築と社会 “ARCHITECTURE AND SOCIETY” 第52輯第5号
■昭和46年5月25日発行(毎月1回25日発行)・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

Inciner TYPE DUTCHER

煤煙除去機ダッチャー

においと煤煙をおとす





規格

型式	大きさ mm 外径	高さ	煙突接続管径 mm 入口	出口	給水 管径	所要水量 ℓ/min	排出 オーバーフロー管径	ドレーン管径	吸引ファン 三相 200V
DUTCHER－1	400 φ	600	200 φ	200 φ	15A (½B)	5	40A(1½B)	25A(1B)	
DUTCHER－2	450 φ	655	250 φ	250 φ	15A (½B)	5	40A(1½B)	25A(1B)	
DUTCHER－3	520 φ	815	300 φ	300 φ	15A (½B)	6	50A(2B)	32A(1¼B)	
DUTCHER－4	575 φ	920	350 φ	350 φ	15A (½B)	7	50A(2B)	32A(1¼B)	
DUTCHER－5	700 φ	999	400 φ	400 φ	15A (½B)	8	50A(2B)	32A(1¼B)	
DUTCHER－200	400 φ	2,100	200 φ	130 φ	15A (½B)	10	32A(1½B)	50A(2B)	400W
DUTCHER－350	700 φ	2,700	350 φ	200 φ	15A (½B)	12	32A(1½B)	50A(2B)	400W×2又は3

※注記．大きさのうち高さには支台を含んでおりません　※御使用状況により多少の仕様変更をすることがあります

総発売元 インシナー商事株式会社
製造元 インシナー工業株式会社

本社 東京都品川区東五反田2の8の7 電話 東京(441)2291－8
大阪支店 大阪市北区牛丸町55 東洋ビル 電話 大阪(372) 0481
名古屋営業所 名古屋市昭和区恵方町2－8 電話 名古屋(841) 5874
福岡営業所 福岡市春吉3丁目 春野ビル 電話 福岡 (76) 1880
修善寺工場 静岡県田方郡修善寺町牧之郷沖の原 電話 修善寺(72)0287-9

■ご入会のお申込は・社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3－37 電話大阪(06)231-9648・9649・9640 振替口座大阪39975番

定価 300円(送料共)